取扱説明書

マイクロコンポーネントMDシステム

型名 UX-W7DVD-S/-M
UX-W8DVD-S

• イラストはUX-W7DVD-Sのとき

リージョン番号*（ローカル番号）について

* リージョン番号は、国や地域ごとに割り当てられた番号です。

本機のリージョン番号は「2」です。DVDビデオの場合、リージョン番号表示に「ALL」または番号「2」が含まれているディスクに限り再生できます。

再生が可能なリージョン番号表示の例

ディスクのジャケットもご参照ください。

MDLP

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に4〜7ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

省エネ設計

省エネ回路により本体部は、
電源待機時　消費電力 0.9 W

LVT1097-002B
MK2

目　次

はじめに　ページ

準備　ページ

基本操作　ページ

ラジオを聞く　ページ

ディスクの再生　ページ

MDを聞く　ページ

テープを聞く　ページ

他の機器の音声を聞く　ページ

録音する　ページ

MDを編集する　ページ

タイマーを使う　ページ

オートスタンバイ機能を使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠ 注意

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

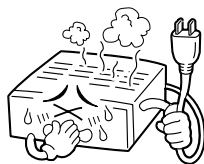
行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

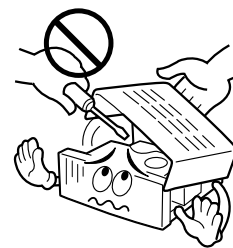
- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

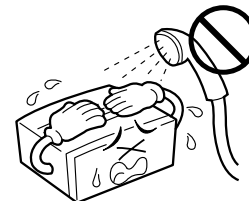
異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠ 警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは、根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。

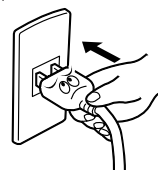
また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

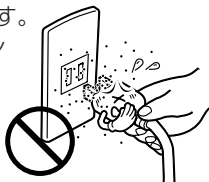
本機の上に水の入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する。

火災の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10 cm以上離す

置き場所に注意する。

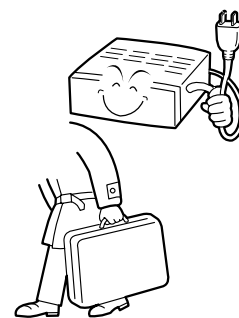
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

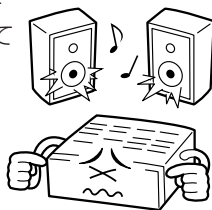
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

手を挟まれないよう注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

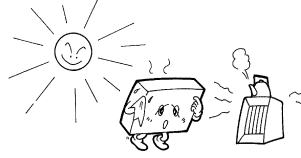
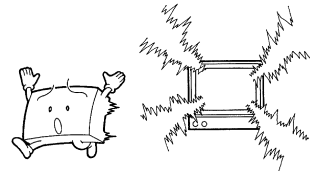
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

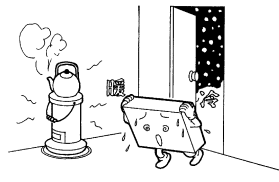
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意　ーはじめにお読みくださいー

本機やディスク、MD、テープの置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。
本機の使用環境温度は、3℃〜 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所

- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く

- テレビや他のアンプ、チューナーなどのすぐそば
- バランスの悪い不安定な所

- 極端に寒い所

- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間

- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

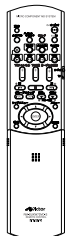
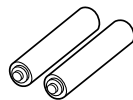
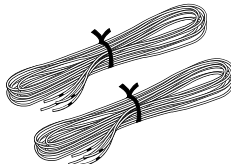
■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

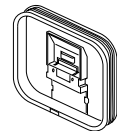
露がついたら

次のようなとき、本機のレンズに露（水滴）が付いて正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
  このようなときは、電源を「入」にしたまま約1〜2時間待ってから、ご使用ください。

付属品の確認

お使いになる前に、付属品をお確かめください。
不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン
RM-SUXW7DVD-S
（1個）

リモコン用
単3形乾電池
（動作確認用、2本）

スピーカーコード
（2本）

ビデオコード
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

FM簡易型アンテナ
（1本）

- この製品には付属品の他に、取扱説明書(本書)や保証書が添付されています。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では以下のディスクが再生できます。

ディスクの種類とマーク	詳　細
DVDビデオ	DVDビデオフォーマットで記録され、ファイナライズ処理されたDVD-R/RWディスクを含む
DVDオーディオ	―
スーパービデオCD/ビデオCD	ビデオCDフォーマット、スーパービデオCDフォーマットで記録され、ファイナライズ処理されたCD-R/RWディスクを含む
オーディオCD	オーディオCDフォーマットで記録され、ファイナライズ処理されたCD-R/RWディスクを含む

次のディスクも再生できます。

- ISO9660フォーマット(MP3ファイルなど音楽･映像ファイルを再生するとき)で記録されたCD-R/RWディスク
- 次のディスクは音声のみ再生できます。
  CD-G(グラフィック)、CD-EXTRA(エクストラ)、CD TEXT(テキスト)、およびMIX-MODE CD

ご注意

- ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読みとりに時間がかかることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCDなど)は再生できません。
- 2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換わるとき、映像や音声が乱れる場合がありますが、これは故障ではありません。
- ディスクに傷、汚れをつけないよう取り扱いにご注意ください。使用後はカートリッジに収納してください(詳細はディスクに付属の説明書などをご覧ください。)

お知らせ

- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生をしますので、操作したとおりに機能が働かないことがあります。このようなときは、テレビ画面に「⃠」表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。
誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。

- DVD-ROM
- DVD-RAM
- VRフォーマットで記録したDVD-RW
- CD-ROM　• SACD　• フォトCD

ご注意

- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CDロゴマーク

はじめに

ディスクについて （つづき）

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のTV方式（PALなど）のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。
ただし、ディスクによっては映像がコマ送りになったり、画面のアスペクト比（縦横比）が変わるなど正しく再生されないことがあります。

ご注意

- **NTSC方式以外のテレビ方式（PALなど）で収録されたディスクを再生するときは、正常なプログレッシブスキャン方式での映像はお楽しみいただけません。**

音声記録方式

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声には、次の5種類があります。

- ドルビーデジタル（Dolby Digital）
- DTS (Digital Theater System)
- リニアPCM
- MPEG（Moving Picture Expert Group）オーディオ
- MLP（Meridian Lossless Packing）

各フォーマットについては、用語集（➡ **112**ページ）をご覧ください。

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、MLP Lossless及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts 、DTSおよびDTS Digital Surroundは、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。

ディスクの構成

DVDビデオ

多くのDVDビデオは、**タイトルとチャプター（章）**と呼ばれる項目から構成されています。DVDメニューなどから、お好みのタイトルまたはチャプターを選んで再生することができます。

DVDオーディオ

多くのDVDオーディオは、**グループとトラック**と呼ばれる項目から構成されています。DVDメニューなどから、お好みのグループまたはトラックを選んで再生することができます。

お知らせ

- ＤＶＤオーディオにはキーナンバー（暗証番号）を入力すると再生ができる「ボーナストラック」と呼ばれるグループが収録されているものがあります。通常はこのグループの内容は事前に公表されていません。ボーナスグループの再生について詳しくは **39** ページをご覧ください。

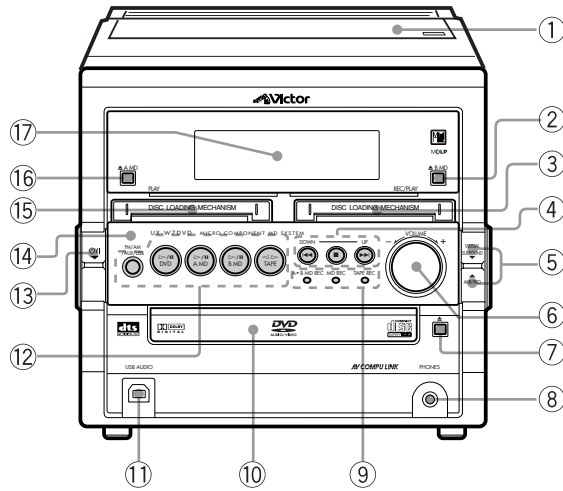
オーディオCD／ビデオCD／スーパービデオCD

これらのディスクは、**トラック**と呼ばれる番号付の項目から構成されています。お好みのトラック番号を選んで再生することができます。

お知らせ

- ディスクによっては「インデックス」と呼ばれる頭出しマークがトラックに記録されているものもあります。
  本機は、「インデックス」による頭出し機能には対応していません。

各部の名前 ー(　)内の数字のページに説明がありますー

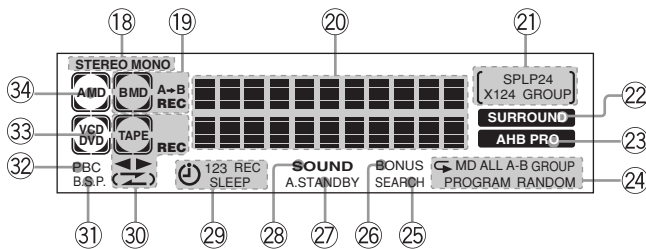
本　体

① カセットホルダーと⏏(テープ取り出し) (58)
② ⏏ B MD (取り出し) (52)
③ B MD挿入口 (51)
④ ⏮ (DOWN)、⏭ (UP)
- ラジオ (25, 26)
- ディスク (31, 47, 49)
- A MD/B MD (52)
- テープ (59)

■ (停止)
- ディスク (30)
- A MD/B MD (52)
- テープ (59)

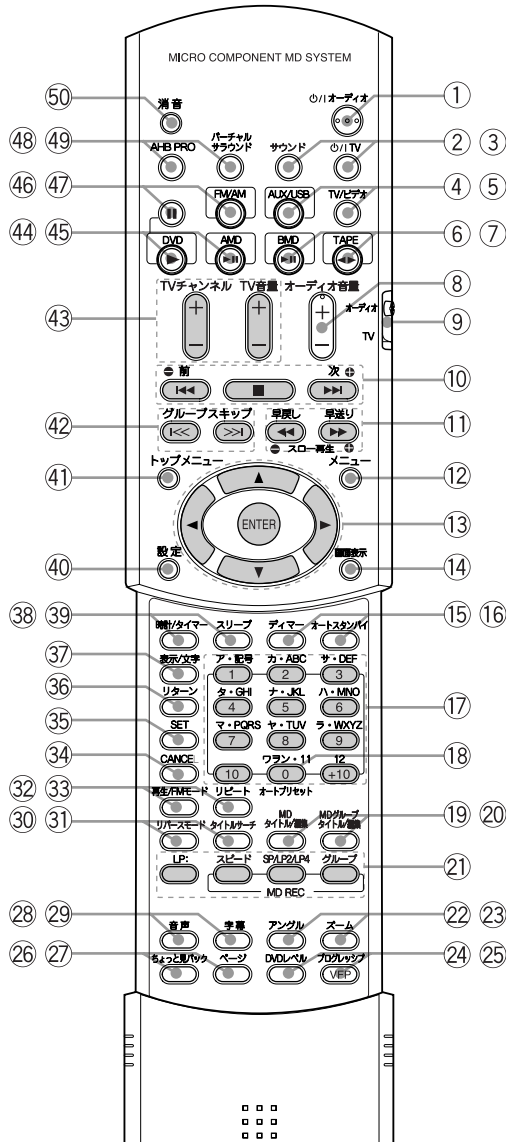
⑤ VIRTUAL SURROUND/AHB PRO (36/24)
⑥ VOLUMEつまみ (23)
⑦ ⏏ (ディスク取り出し) (28)
⑧ PHONES (ヘッドホン) 端子
ミニプラグ付ヘッドホン(別売り)をつなぎます。プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。
⑨ 録音ボタン
- A ▶ B MD REC (67)
- MD REC (65, 66, 68)
- TAPE REC (69)

⑩ ディスクトレイ (28)
⑪ USB AUDIO端子 (18, 59, 60)
⑫ 操作ボタン
- FM/AM/AUX/USB (23, 25, 59)
- DVD ▷/II (23, 28)
- A MD ▷/II (23, 51)
- B MD ▷/II (23, 51)
- TAPE ◁ ▷ (23, 58)

⑬ ⏻/| (電源) (23)
⑭ リモコン受光部 (19)
⑮ A MD挿入口 (51)
⑯ ⏏ A MD (取り出し) (52)
⑰ 表示窓

表示窓

⑱ STEREO 表示/MONO 表示 (27)
⑲ B MD 表示 (51)
⑳ 情報表示部
㉑ MD 録音状態表示 (64)
㉒ SURROUND 表示 (36)
㉓ AHB PRO 表示 (24)
㉔ 再生モード表示 (38, 40, 41, 48, 49, 53 ～56)
㉕ SEARCH 表示 (57)
㉖ BONUS 表示 (39)
㉗ A.STANDBY 表示 (88)
㉘ SOUND 表示 (24)
㉙ タイマー表示 (83, 86, 87)
㉚ テープ表示 (59)
㉛ B.S.P.表示 (38)
㉜ PBC 表示 (33)
㉝ ディスク表示 (28)
㉞ A MD 表示 (51)

各部の名前（つづき）ー(　)の数字のページに説明がありますー

リモコン(RM-SUXW7DVD-S)

① **⏻/I オーディオ (電源) (20, 21, 23)**
本機の電源の「入⟷切」に使います。

② **サウンド (24)**

③ **⏻/I TV (電源) (97)**

④ **AUX/USB (23, 60)**

⑤ **TV/ビデオ (97)**

⑥ **B MD ►II (23, 51)**

⑦ **TAPE(テープ) ◄ ► (23, 58)**

⑧ **オーディオ音量 ± (23)**
本機の音量を調節するとき使います。

⑨ **オーディオ/TVスイッチ (13, 97)**

⑩ **I◄◄(前)、►►I(次)**
- **ラジオ (25, 26)**
- **ディスク (31)**
- **A MD/B MD (52, 75, 79)**
- **テープ (59)**

■(停止)
- **ディスク (30)**
- **A MD/B MD (52)**
- **テープ (59)**

⑪ **◄◄(早戻し)、►►(早送り)/スロー再生**
- **ディスク (31)**
- **A MD/B MD (52)**
- **テープ(巻き戻し、早送り)(59)**

⑫ **メニュー (33)**

⑬ **カーソル(▲/▼/◄/►)とENTER**

⑭ **画面表示 (42, 44, 45)**

⑮ **ディマー (22)**

⑯ **オートスタンバイ (88)**

⑰ **数字ボタン(1～10、0、+10)**

⑱ **オートプリセット (25)**

⑲ **MDタイトル/編集 (71, 75)**

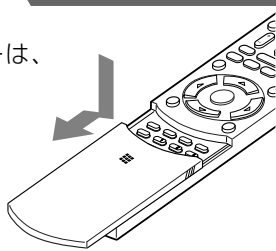
⑳ **MDグループタイトル/編集 (71, 79)**

㉑ **MD録音設定ボタン**
- **LP: (64)**
- **スピード (66)**
- **SP/LP2/LP4 (64)**
- **グループ (64)**

㉒ **アングル (33)**

㉓ **ズーム (35, 50)**

㉔ **DVDレベル (36)**

㉕ **プログレッシブ/VFP (21, 37)**

㉖ **ちょっと見バック (30)**
㉗ **ページ (38)**
㉘ **音声 (34)**
㉙ **字幕 (34)**
㉚ **リバースモード (58)**
㉛ **タイトルサーチ (57)**
㉜ **再生/FMモード (27, 40, 41, 53〜55)**
㉝ **リピート (38, 48〜50)**
㉞ **CANCEL（キャンセル） (22, 41, 72)**
㉟ **SET（セット） (22, 25, 75〜84)**
㊱ **リターン (33)**
㊲ **表示/文字 (27, 57, 72, 73)**
㊳ **時計/タイマー (22, 84)**
㊴ **スリープ (83)**
㊵ **設定 (89, 94)**
㊶ **トップメニュー (33)**
㊷ **グループスキップ I<<、>>I (32, 39, 47, 50, 59)**
㊸ **テレビ操作ボタン**
- **TV音量 ± (97)**
- **TVチャンネル ± (97)**

㊹ **DVD ► (23, 28, 49)**
㊺ **A MD ►II (23, 51)**
㊻ **II（ディスクの一時停止）(31)**
㊼ **FM/AM (23, 25〜27)**
㊽ **AHB PRO（プロ） (24)**
㊾ **バーチャルサラウンド (36)**
㊿ **消音 (24)**

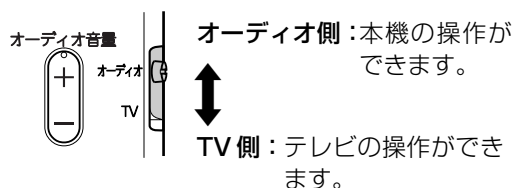
リモコンについて

本機のリモコンを使って、ビクター製テレビや他メーカーのテレビを操作することができます。
他メーカーのテレビを操作する場合は、そのメーカーに対応したコードを設定する必要があります。
メーカーコードの設定のしかたと操作のしかたは、**97**ページ「リモコンでテレビを操作する」をご覧ください。

- **ビクター製のテレビは、お買い上げ時の状態で操作することができます。**

オーディオ /TV スイッチについて

オーディオ/TVスイッチを「**TV**」側にすると、リモコンの数字ボタンがTVモードになり、TVのチャンネルが選べます。
オーディオ/TVスイッチを「**オーディオ**」側に戻すと、リモコンの数字ボタンで本機の操作ができます。

オーディオ側：本機の操作ができます。

TV 側：テレビの操作ができます。

ご注意

- **オーディオ /TV スイッチを「TV」側にしてテレビの操作をした後は、必ずオーディオ /TV スイッチを「オーディオ」側に戻してください。**
  戻さないと、数字ボタンで本機の操作ができません。

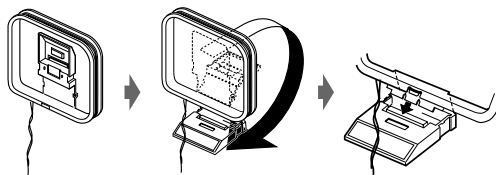
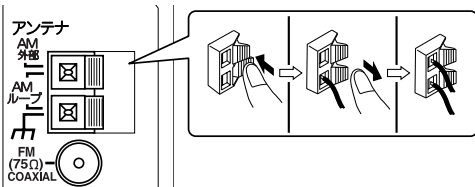
接　続　—接続が終わるまで電源は入れないでください。—

アンテナの接続

FM/AM放送を聞くために、アンテナを接続します。アンテナを接続しないと、ラジオ放送を聞くことができません。アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行ってください。

AMアンテナを接続する

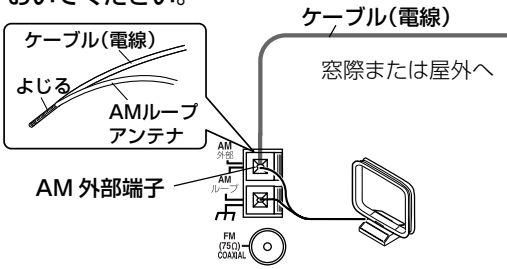
AMループアンテナ(付属品)を接続する

- まずAMループアンテナを組み立てます。
  台になる部分を回転させて差し込みます。

- 次に、組み立てたAMループアンテナを本体のAMループ端子に接続します。

アンテナ線の先端にビニールがついているときは、**ねじりながら抜き取ります。**

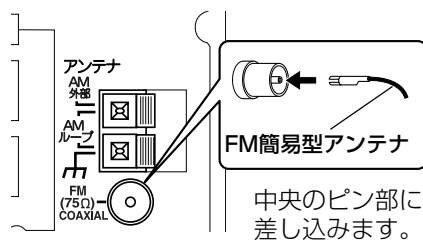
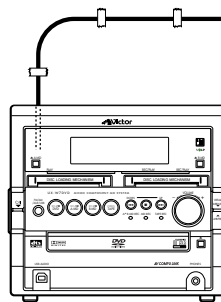
- 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。
  本体からできるだけ離して置いてください。
  - AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。束ねてある線は、よく伸ばして使ってください。

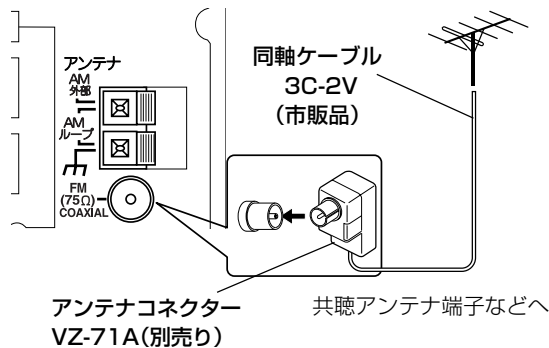
AMループアンテナではうまく受信できないとき

AM 外部端子に3m〜5mのケーブル(電線:市販品)を接続し、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。

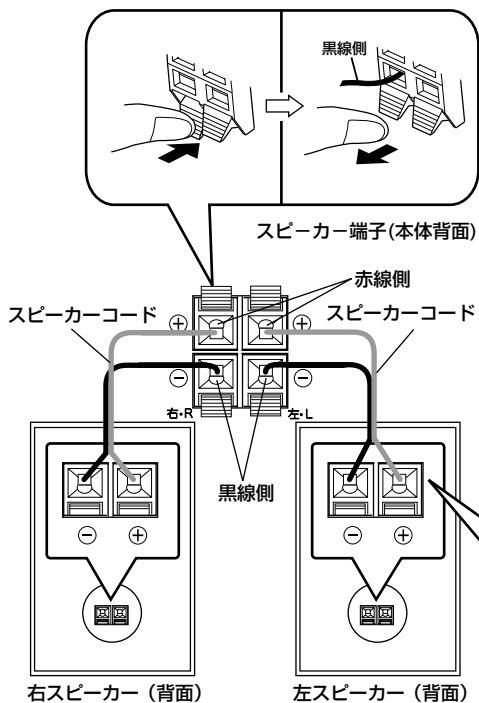
このとき、AMループアンテナも一緒に接続しておいてください。

FMアンテナを接続する

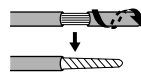
FM簡易型アンテナ(付属品)を接続する

- FM簡易型アンテナを本体のFM(75Ω) COAXIAL端子に接続します。

- 接続したFM簡易型アンテナは、最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

付属のアンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

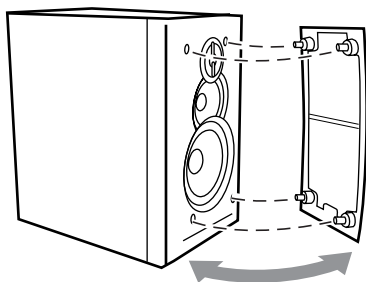
市販の同軸ケーブルとアンテナコネクター(別売り)を用意してください。

電波状態によっては、FMフィーダーアンテナ:CN-511A(別売り)がアンテナコネクターと一緒にご利用になれます。

スピーカーの接続

スピーカーコード先端のビニールは、**ねじりながら抜き取ります。**

付属のスピーカーコードを、本機とスピーカー本体のスピーカー端子に接続します。

- 正面向かって右スピーカーを右·R端子に接続します。
  正面向かって左スピーカーを左·L端子に接続します。
  スピーカーは、左右どちらでもお使いになれます（左右の区別はありません）。
- スピーカーコードの赤線側を⊕に、黒線側を⊖に接続します。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4Ω ～16Ωです。

スピーカーネットの外しかた

お手入れのときなど、スピーカーネットを取り外すことができます。

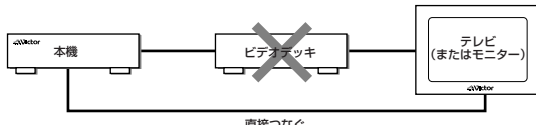
例：SP-UXW7DVD-Sのとき

- 左右上端を軽く押さえ、手前に引いて外してください。再び取り付けるときは、突起部を合わせて軽く押し込みます。

ご注意

- **スピーカーコードの赤線と黒線を逆に接続すると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。**
- **スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。**
- **他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。**
- **本機のスピーカーは、防磁設計（JEITA仕様）になっております。設置方法によっては、テレビに色ムラを生ずることがあります。次の点にご注意ください。**
  1. **必ずテレビの主電源スイッチを「切」にしてから設置する。**
     また、テレビの主電源スイッチは、切ってから30分程度待って「入」にする。
  2. **テレビの種類によって万一、色ムラが生じたときはテレビとスピーカーを10cm以上離す。**
  3. **防磁設計（JEITA仕様）になっていないスピーカーがテレビの近くにあると、色ムラを生じることがあります。**

テレビの接続

ご注意

- 本機の映像出力は、テレビ（またはモニター）と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、本機のコピープロテクションシステムにより、再生中に画像が乱れることがあります。

ビデオデッキ内蔵のテレビ（テレビデオ）につないだ場合も、再生中に画像が乱れる場合があります。

お知らせ

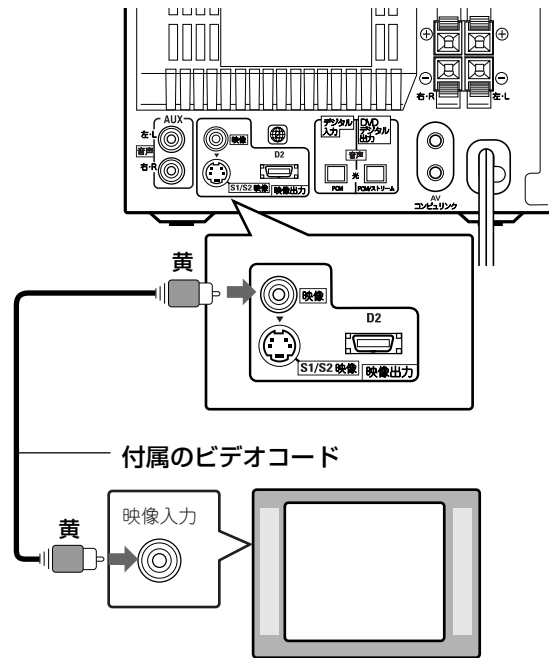
- 接続するテレビまたは機器がビクター製で、AVコンピュリンクIIまたはIII 端子があるときは、「AVコンピュリンクの活用」（➡**98**ページ）をご覧ください。
- テレビやモニターの映像入力端子がBNCタイプのときは、別売りのアダプター：VZ-90を使用してください。

S映像端子について

- S映像は、映像を輝度信号（Y）と色信号（C）に分けた映像信号です。映像入力端子に接続した場合（黄色のプラグ）より、色のにじみの少ない鮮明な映像がお楽しみいただけます。
- 本機のS映像出力端子は、S1およびS2映像信号に対応しています。S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を合わせた信号です。接続したテレビがS1またはS2映像信号対応機種のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。

D端子について

- D端子は、コンポーネント映像信号と同じ信号（映像を色信号2系統と輝度信号1系統に分けた信号）を扱いますが、コード1本で接続でき、送られる映像の信号フォーマットや縦横比（アスペクト比）の検出信号をもっているのが特長です。色の発色がよく、S映像よりも高い映像品位をお楽しみいただけます。
- 本機のD端子は、D2信号まで対応しています。

テレビの映像入力端子と接続する

テレビを接続したら

- **他の機器を接続しないとき**
  ➡ 電源コードの接続（➡**19**ページ）
- **他の機器を接続するとき**
  ➡ 他の機器の接続（➡**18**ページ）
  ➡ 電源コードの接続（➡**19**ページ）

テレビのタイプを設定する（➡20ページ）

S映像入力端子付きテレビと接続する

テレビを接続したら

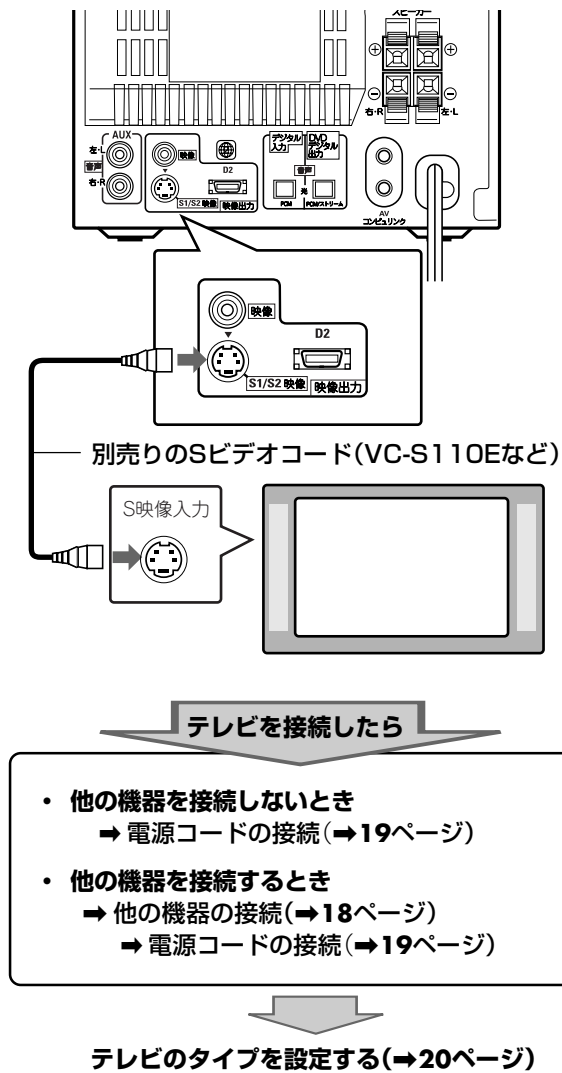
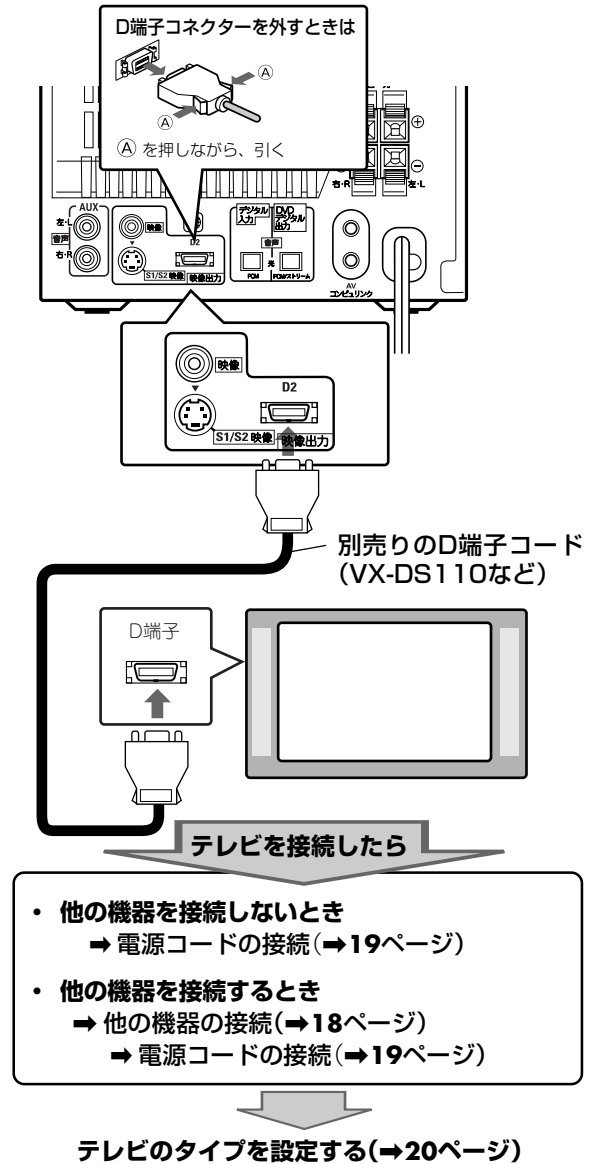
- **他の機器を接続しないとき**
  ➡ 電源コードの接続(➡**19**ページ)
- **他の機器を接続するとき**
  ➡ 他の機器の接続(➡**18**ページ)
  ➡ 電源コードの接続(➡**19**ページ)

テレビのタイプを設定する(➡20ページ)

D端子付きテレビと接続する

テレビを接続したら

- **他の機器を接続しないとき**
  ➡ 電源コードの接続(➡**19**ページ)
- **他の機器を接続するとき**
  ➡ 他の機器の接続(➡**18**ページ)
  ➡ 電源コードの接続(➡**19**ページ)

テレビのタイプを設定する(➡20ページ)

テレビがプログレッシブ対応のときは、スキャンモードの切換で「プログレッシブ」に設定する(➡21ページ)

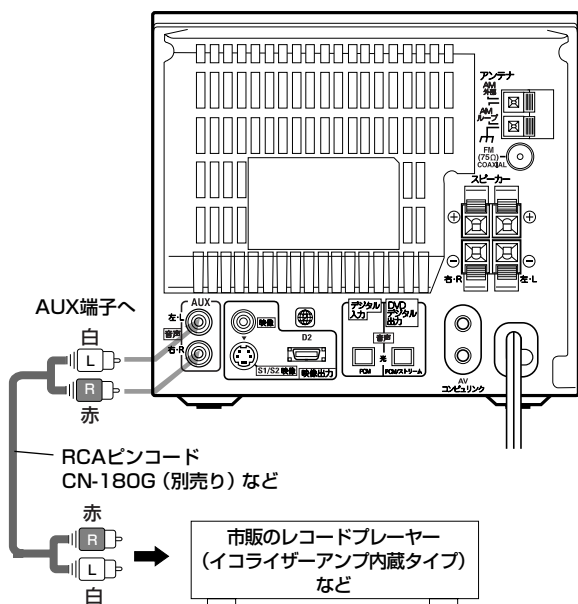
ご注意

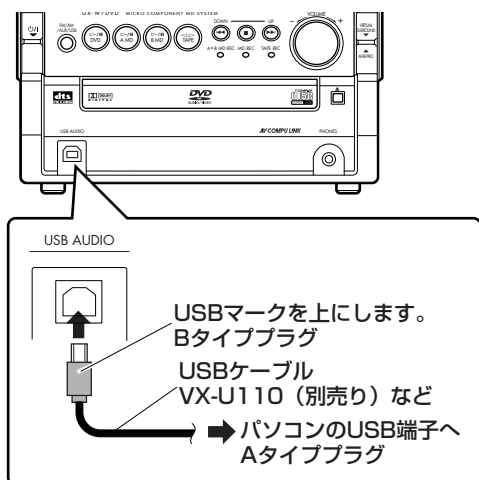
- プログレッシブスキャン方式をお楽しみいただくためには、テレビのD端子がD2信号に対応している必要があります。
  詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

他の機器の接続

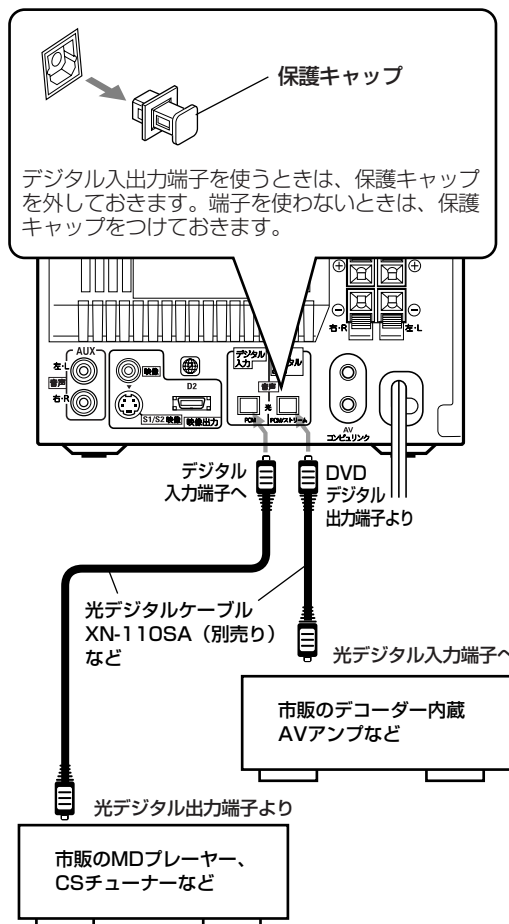
• ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

アナログ機器の接続

市販のイコライザー内蔵タイプのレコードプレーヤーなど、アナログ機器をAUX端子に接続します。

パソコンの接続

市販のUSBケーブルを使って、本体前面のUSB AUDIO端子とパソコンを接続します。
• 初めて接続したときだけ、ドライバーのインストールが必要です（「パソコンの音声を聞く前の準備」➡**60**ページ参照）

デジタル機器の接続

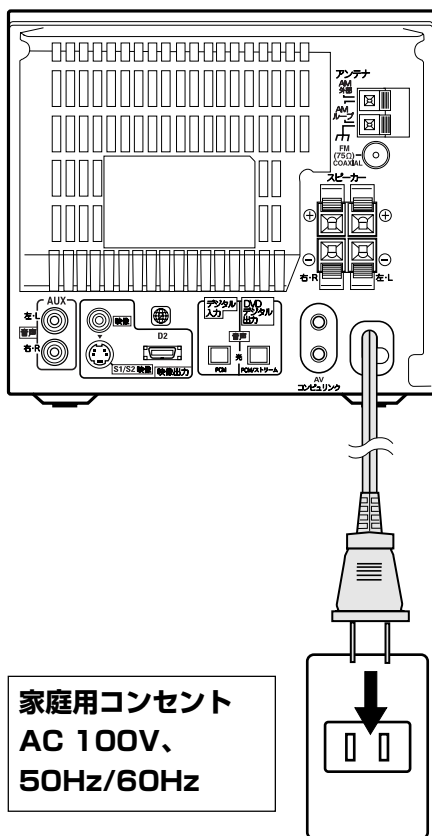
別売りのMDプレーヤーやCSチューナーなどのデジタル再生機器はデジタル入力端子に接続します。
別売りのデコーダー内蔵AVアンプなどは、DVDデジタル出力端子に接続します。ドルビーデジタルデコーダーまたはDTSデコーダー、デコーダー内蔵AVアンプと接続すると、高音質のサラウンド再生ができます。

• デジタル入力端子はPCM音声に対応しています。BSデジタル放送などのAAC音声には対応していません。
• DVDデジタル出力端子に接続した機器に応じて、出力するデジタル音声の種類を設定してください。（➡**92**ページ参照）

リモコンの準備

電源コードの接続

すべての接続が終わったことを確認してから接続します。

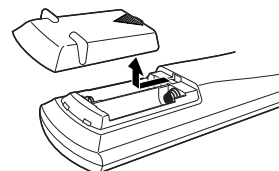
電源プラグを家庭用コンセントへ接続する

家庭用コンセント
AC 100V、
50Hz/60Hz

お知らせ

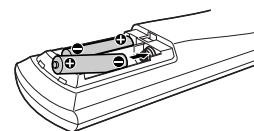
• 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全と節電に心がけてください。

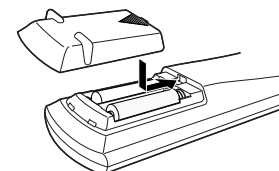
リモコンに乾電池を入れる

単３形の乾電池２本をリモコンに入れます。

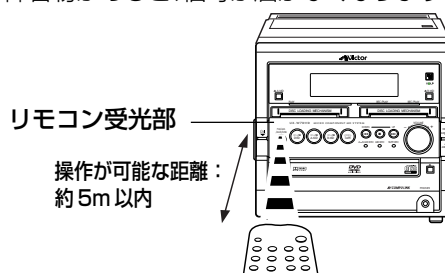
1 裏ぶたをあける

2 乾電池を入れる

単3形乾電池を2本入れます。

リモコン内部の表示に極性を合わせ、⊕/⊖を正しく入れてください。

3 裏ぶたをしめる

「カチッ」と音がしてしまります。

• 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
• 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
• 種類の違う電池（アルカリとマンガン）と混ぜて使用しないでください。
• 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れなどの原因となります。

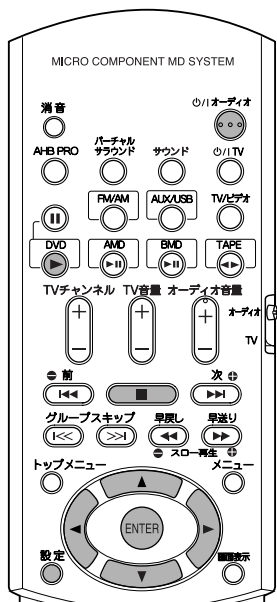
リモコンの操作

リモコンを使うときは、本体正面に向けて正しく操作してください。極端に斜めの方向から操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。

• 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
交換するときは、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
• リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

準備

テレビのタイプを設定する

ご使用になる前に、接続したテレビに応じてテレビのタイプを設定します。

• リモコンで操作します。

1 ⏻/I オーディオ **を押して本機の電源を入れる**

2 テレビの電源を入れ、本機からの映像が映るようにする

本機と接続したテレビの入力切換を、その端子名(ビクターのAVテレビの場合、通常は「ビデオ3」)に切換えます。

3 DVD **を押してから** ■ **を押す**

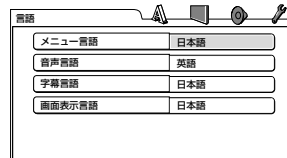
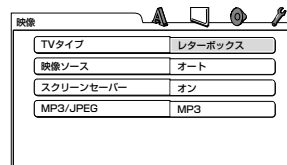
ソース(音源)をDVDにします。

4 設定 **を押す**

初期設定画面がテレビ画面に表示されます。
表示窓に「SETTING」と表示されます。

言語	
メニュー言語	日本語
音声言語	英語
字幕言語	日本語
画面表示言語	日本語

5 ▶ **(または** ◀ **)を押して「映像」を選び、** ENTER **を押す**

映像	
TVタイプ	レターボックス
映像ソース	オート
スクリーンセーバー	オン
MP3/JPEG	MP3

6 ▼ **(または** ▲ **)を押してTVタイプを選び、** ENTER **を押す**

・ **従来のテレビ(4:3)と接続しているとき**
「レターボックス」または「パンスキャン」を選びます。

・ **ワイドテレビと接続しているとき**
「16:9オート」または「16:9ノーマル」を選びます。

詳しくは、「映像設定画面」の「TVタイプ」(➡**91**ページ)をご覧ください。

初期設定画面を消すときは、**設定**を押します。
表示窓の「SETTING」が消えてソース(音源)の表示に戻ります。

スキャンモードの切換え

プログレッシブスキャン対応テレビと本機をD映像端子で接続したときは、スキャンモードをプログレッシブ方式に切換えます。

お買い上げ時は、インターレース方式に設定されています。

• リモコンで操作します。

1 ⏻/I オーディオ を押して本機の電源を入れる

2 DVD を押す

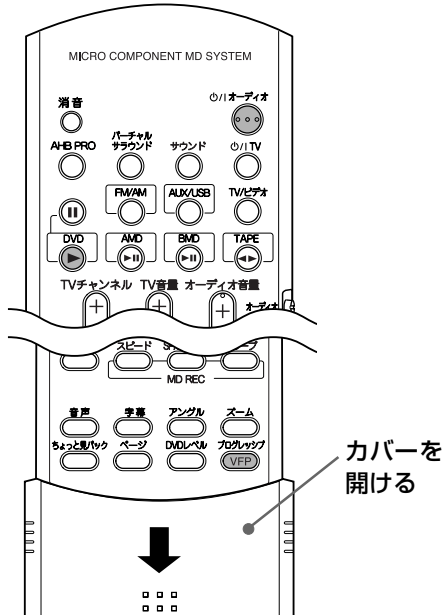
ソース(音源)をDVDにします。
ディスクが入っていないときは、表示窓に「NO DISC」と表示されます。

3 プログレッシブ VFP を1秒以上押す

表示窓に「PROGRESSIVE」と数秒間表示され、スキャンモードがプログレッシブ方式に切換わります。

• スキャンモードをプログレッシブ方式にすると、「**映像設定画面**」(**➡91**ページ参照)で「**映像ソース**」の設定ができます。お買い上げ時は、「**オート**」に設定されています。

インターレース方式に戻すには

プログレッシブ/VFPを1秒以上押します。
表示窓に「INTERLACE」と数秒間表示され、スキャンモードがインターレース方式に切換わります。

お知らせ

• ビクター製以外のプログレッシブスキャン対応テレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあます。
テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「インターレース」にしてください。
• **プログレッシブ映像出力の著作権保護信号について**
本機のプログレッシブ映像出力(525p)には著作権保護信号が付加されていることがあります。この信号に対応していないテレビ、モニターでは映像が乱れることがあります。このようなときは、スキャンモードを「インターレース」にしてお使いください。
ビクター製のテレビでは、HD-32LS3やAV-32AD3などが著作権保護信号に対応しています。
詳しくは「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

デジタルダイレクトプログレッシブ方式について

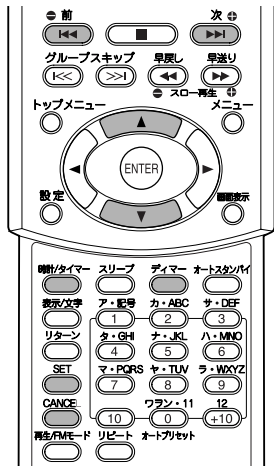
これまでのプログレッシブスキャン対応DVDプレーヤーでは、プログレッシブスキャンで収録されたDVDビデオの映像信号を、インターレーススキャンに変換してから再度プログレッシブスキャンに戻すという処理を行っていたため、映像がブレたり不自然に写ることがありました。

ビクターの**デジタルダイレクトプログレッシブ方式**は、DVDビデオのプログレッシブスキャン映像をそのまま出力するので、プログレッシブスキャンが持つ本来の自然で美しい映像の再生を実現しています。

準備

時計を合わせる

時計を現在時刻に合わせておきます(24時間表示方式)。正しく設定しないとタイマー機能を使うことができません。

- **電源が「入/切」どちらの状態でも設定できます。**

例:午前10時10分に合わせるとき

1 時計/タイマー を押す

「時」表示が点滅します。

- 時計が設定されていないときは、「0:00」と表示され、「0」が点滅します。

2分以内に

2 次⊕ ▶▶I(または ⊖前 I◀◀)と SET で時刻を合わせる

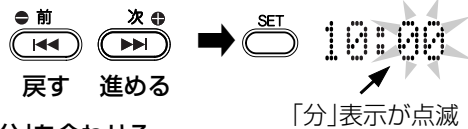
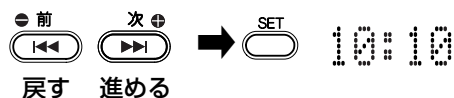
- ▶▶I(またはI◀◀)を押し続けると、連続して変わります。
- カーソル▲(または▼)を押しても同様の操作ができます。

「時」を合わせる

⊖前 I◀◀ 戻す　次⊕ ▶▶I 進める ➡ SET　10:00

「分」表示が点滅

「分」を合わせる

⊖前 I◀◀ 戻す　次⊕ ▶▶I 進める ➡ SET　10:10

- 電源「入」で設定したときは、約2秒でソース(音源)の表示に戻ります。
- 「分」を合わせているとき(SETを押す前)に、CANCELを押すと「時」の設定に戻れます。

時刻を数字ボタンで合わせる

手順2のとき数字ボタンを使って「時」と「分」を合わせることもできます。

午前12時にする　：(12 +10) ➡ (カ・ABC 2)

午後8時にする(20：00)　：(12 +10) ➡ (10)

(または (12 +10) を2回押したあと (ワヲン・11 0) を押す)

SET を押したあと

25分にする　：(12 +10) ➡ (12 +10) ➡ (ナ・JKL 5)

30分にする　：(12 +10) ➡ (12 +10) ➡ (10)

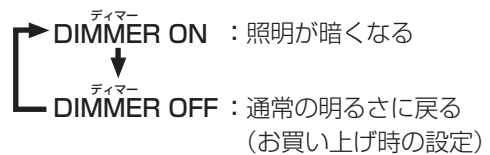
時刻を合わせ直す

時刻を合わせ直すときは、リモコンの**時計/タイマー**を4回押して、時計を表示させてから、**手順2**の操作をします。
現在時刻は、テレビ放送の時刻表示や電話の時報案内などを利用してください。

表示窓を暗くする(ディマー機能)

リモコンの ディマー を押す

押すごとに表示窓の明るさが次のように変わります。

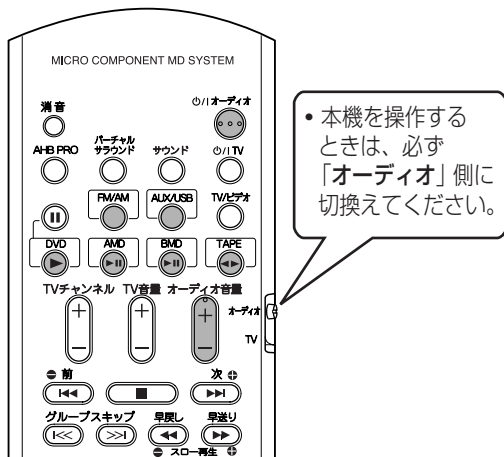
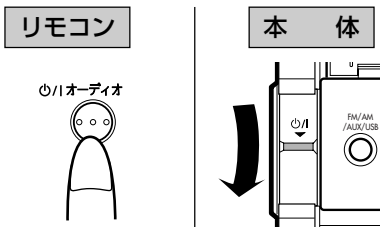
DIMMER ON(ディマー)　：照明が暗くなる
↓
DIMMER OFF(ディマー)：通常の明るさに戻る(お買い上げ時の設定)

ご注意

- **この時計は、月に1分程度のズレを生じます。タイマー操作をするときは、事前に時刻を設定し直してください。**
- **電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「0:00」表示に戻ります。もう一度正しい時刻に合わせてください。**

基本操作（電源の入/切、イチ押しプレイ、音量の調節）

● 以後、本書では、主にリモコンを使った操作を説明します。本体のボタンで、リモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。
また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

1 ⏻/I オーディオ（電源）を押す（本体は ⏻/I を下側に押す）

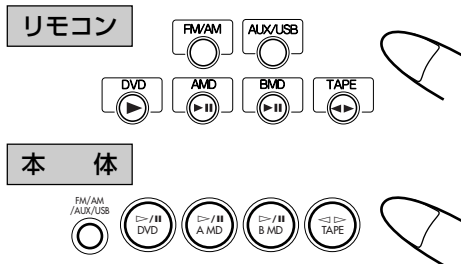
リモコン　本　体

- 電源が入り、「HELLO」が表示されたあと、選ばれているソース（音源）名が表示されます。
- DVD ►、AMD ►II、BMD ►II、TAPE ◄ ►、FM/AM、AUX/USBのいずれかを押したときも電源が入り、ソース（音源）も変わります。
  ➡ **イチ押しプレイと言います。**
  （ディスクやテープが入っているときは、再生が始まります）

お知らせ

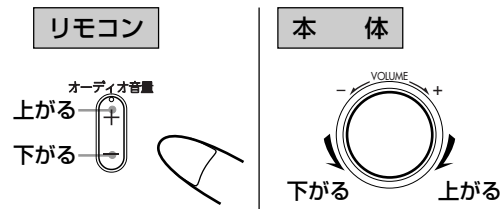
- 電源「切」のとき⏏（ディスク取り出し）を押すと、電源が入りディスクトレイが出てきます。
  ⏏ A MDまたは⏏ B MDを押すと、電源が入り、MDが入っているときは出てきます。
- **電源「切」のときは、消費電力を抑えるためMDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。**

2 再生するソース（音源）を選ぶ

リモコン

本　体

	操　作	参照ページ
ディスクを見る/聞く	ディスクを入れ、DVD ►（DVD ▷/II）押す	**28**
MDを聞く	A MDまたはB MDデッキにMDを入れ、AMD ►II（A MD ▷/II）またはBMD ►II（B MD ▷/II）を押す	**51**
ラジオを聞く	FM/AM（FM/AM/AUX/USB)を押して、聞きたい放送局を選局する	**26**
テープを聞く	テープを入れ、TAPE ◄ ►（TAPE ◁ ▷）を押す	**58**
他の機器の音声を聞く	他の機器をつなぎ、AUX/USB（FM/AM/AUX/USB)を押す	**59**

3 音量を調節する

リモコン　本　体

- VOLUME 0〜40の範囲で調節できます。

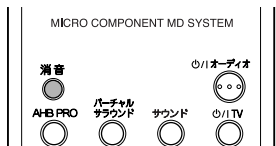
使い終わったら…

⏻/I オーディオ（本体は ⏻/I）を押して電源を「切」にします。「SEE YOU」が表示されたあと表示窓に現在時刻が表示されます。

基本操作

基本操作（つづき）

一時的に消音する

電話のときなど、ボタン一つで簡単に音を消すことができます。

消音を押す

「FADE MUTING」が表示され、音量が「0」まで下がります。

再度音を出すときは、もう一度**消音**を押します。徐々に元の音量に戻ります。

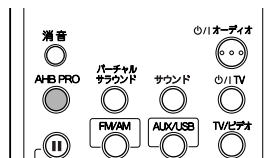
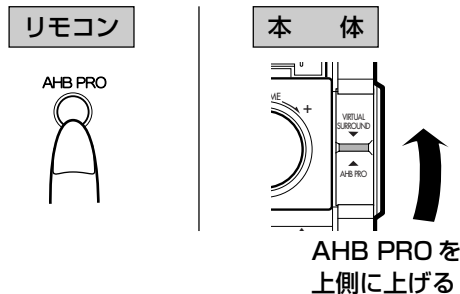
- リモコンの**オーディオ音量**または、本体の**VOLUME**つまみを操作して音量を上げることもできます。

重低音を強調する

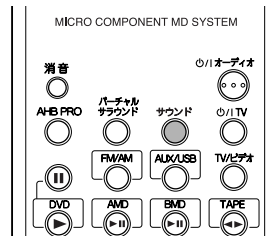
AHB PRO*を押す

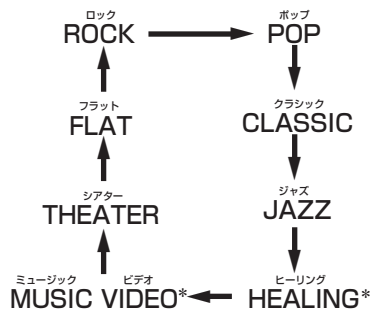
リモコン

本　体

AHB PROを上側に上げる

- 押すごとに「オン↔ オフ」が選べます。「オン」にすると表示窓に AHB PRO が表示され、クリアで迫力のある重低音が楽しめます。(お買い上げ時の状態)

　＊ AHB PRO
　Active（アクティブ） Hyper（ハイパー） Bass（バス） PRO（プロ）の略です。

サウンドを選ぶ（リモコンのみ）

サウンドを押す

- 押すごとに次のように切換わります。
お好みのサウンド効果をお選びください。

「**FLAT**」以外を選んだときは、表示窓に**SOUND**が点灯します。

ROCK（ロック）	：低音と高音を強調した設定
POP（ポップ）	：ボーカルやナレーションに向いた設定
CLASSIC（クラシック）	：高音を強調した設定
JAZZ（ジャズ）	：ライブの臨場感を強調した設定
HEALING（ヒーリング）＊	：中高音を強調した設定
MUSIC VIDEO（ミュージック ビデオ）＊	：DVDの音楽に適した設定
THEATER（シアター）	：劇場の音響をイメージした設定
FLAT（フラット）（解除）	：サウンド効果のない音

＊はUX-W8DVDの場合のみ

お知らせ

- **音量の調節、AHB PROやサウンドの効果**は、スピーカーの音声やヘッドホンの音声に効きます。録音される音には影響ありません

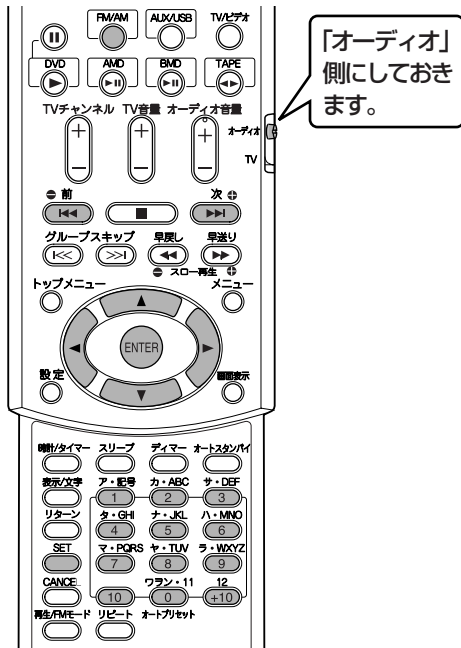
放送局を記憶させる (プリセット)

選局した放送局を記憶(メモリー)しておくと、簡単に呼び出すことができます。
放送局を記憶させる方法には、選局から記憶までを自動で行う**オートプリセット**と、手動で選局と記憶を行う**マニュアルプリセット**があります。
• AM放送は最大15局、FM放送は最大30局まで記憶させることができます。
• **リモコンで操作します。**

オートプリセット

1 **FM/AM (本体は FM/AM/AUX/USB)を押してFMまたはAMを選ぶ**

2 **ワラン・11 0 オートプリセット を2秒以上押す**

受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶した放送局が受信されます。
• 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットの最大数(FMで30局、AMで15局)まで記憶されると、オートプリセットは終了します。
• 雑音の多い放送局もプリセットされることがあります。このようなときは、マニュアルプリセットで選び直してください。
• 前に記憶されていた放送局があっても、新しくプリセットされた放送局が上書きされます。

マニュアルプリセット

1 **FM/AM (本体は FM/AM/AUX/USB)を押してFMまたはAMを選ぶ**

2 **カーソル ▲ (または ▼)を押して記憶させる放送局を選ぶ**

• ▶▶I (またはI◀◀)でも同様の操作できます。
➡**26**ページ「オート選局/マニュアル選局」参照。

3 **SET を押す**

プリセット番号1が点滅します。
• 約5秒間点滅します。その間に次の操作をしないときは、**手順2**に戻ります。

4 **カーソル ▶ (または ◀)または数字ボタン(ア・記号 1 〜 10 、 12 +10)を押してプリセット番号を選ぶ**

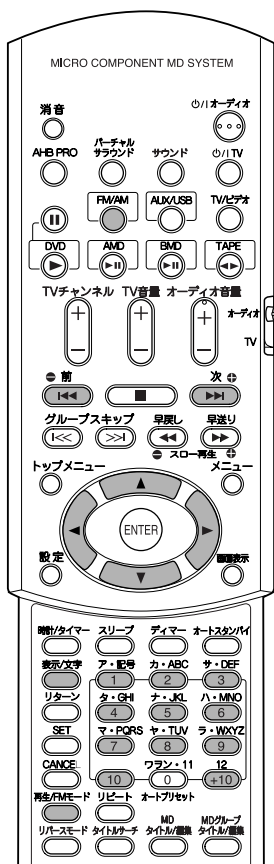
• すでに記憶されていたプリセット番号を指定すると、新しく選んだ放送局が上書きされます。
• 数字ボタンの使いかたは、**27**ページの「記憶(メモリー)した放送局を選局する」を参照してください。

5 **ENTER または SET を押す**

約2秒間、「STORED」が表示されます。表示が消えると記憶(メモリー)されます。

ご注意

• **電源コードをコンセントから抜いたり停電があると、記憶(メモリー)した放送局が消去されることがあります。**

ラジオ放送を聞く

お知らせ

- マニュアル選局の場合、FM放送では0.05MHzずつ、AM放送では9kHzずつ周波数が変わります。

FM放送	0.05MHzずつ	：76.00MHz～108.00MHz
AM放送	9kHzずつ	：531kHz～1629kHz

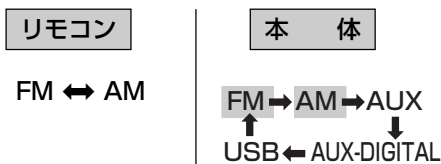
- 本機は、テレビ1ch：95.75MHz、2ch：101.75 MHz、3ch：107.75MHzの音声を受信することができます。
- 電源を「切」にしたり他のソース(音源)に切換えたとき、最後に受信していた放送局が記憶されます。再びラジオ放送に切換えると、同じ放送局が受信できます。
- **本機はAMステレオ放送には対応しておりません。**

オート選局/マニュアル選局

放送局を選ぶ方法には、オート選局とマニュアル選局があります。

1 FM/AM (本体は FM/AM/AUX/USB)を押してFMまたはAMを選ぶ

ソース(音源)がラジオ放送になります。
- 押すごとに次のように切換わります。

リモコン	本　体
FM ⟷ AM	FM➡AM➡AUX ⬇ / USB⬅AUX-DIGITAL (⬆ USB➡FM)

2 カーソル ▲ (または ▼)を押して放送局を選ぶ

- ▶▶I (またはI◀◀)でも同様の操作できます。

2つの選局方法があります。

オート選局

カーソル▲(または▼)を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。十分に電波の強い放送局を受信すると自動で止まります。途中で止めるときは、**カーソル▲**(または▼)を「ポン」と押します。

マニュアル選局

カーソル▲(または▼)を押すごとに周波数が変わります。**カーソル▲**を押すと周波数が上がり、**カーソル▼**を押すと下がります。

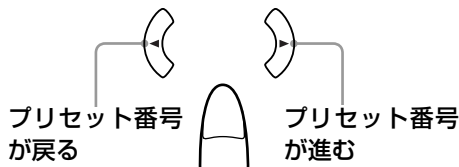
- FMステレオ放送を受信すると、STEREO表示が点灯します。
- 電波が弱く、オート選局が自動で止まらないときはマニュアル選局に切換えてください。

記憶(メモリー)した放送局を選局する

「放送局を記憶させる」(➡**25**ページ参照)の操作で記憶(メモリー)させた放送局を呼び出します。
リモコンの数字ボタンを使います。

1 FM/AM (本体は FM/AM /AUX/USB)を押してFMまたはAMを選ぶ

2 カーソル ▶(または ◀)または数字ボタン(1 ～ 10、+10)で放送局を選ぶ(プリセット選局)

カーソル ▶ または ◀

数字ボタン

1～10のプリセット番号を選局するとき

数字ボタンの 1 ～ 10 のいずれかを押します。

11以上のプリセット番号を選局するとき

15を選局する：+10 ➡ 5
20を選局する：+10 ➡ 10
と押します。

21以上のプリセット番号を選局するとき

25を選局する：+10 ➡ +10 ➡ 5
30を選局する：+10 ➡ +10 ➡ 10
と押します。

- 受信中はプリセット番号と受信周波数が表示されます。

受信モードを切換える

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、リモコンの**再生/FMモード**を押します。MONO表示が点灯し、聞きやすくなることがあります(このとき音声はモノラルになります)。別の放送局を受信すると自動的にステレオ受信に変わり、STEREO表示が点灯します。

リモコン

放送受信中に時計やMDの録音残量表示を見るには

表示/文字を押します。時計表示に切換わります。
B MDデッキにMDが入っているときは、**表示/文字**を押すごとに、MDの録音残量表示➡時計表示と切換わります。
もう一度押すと、放送受信中の表示に戻ります。

リモコン

放送局名を入力する(最大8文字)

プリセット選局で受信中の放送局に、最大8文字までの局名をつけることができます。なお、オート選局やマニュアル選局で受信中はできません。

1. MD タイトル/編集 を押す
2. 表示/文字 と数字ボタン(1 ～ 9、0)で局名を入力する
   ➡ 文字の入力方法は**72**ページの「タイトルをつける(つづき)」の**手順5～6**参照
3. ENTER を押す
   - 「STORED」が表示され、入力した局名が登録されます。

ラジオを聞く

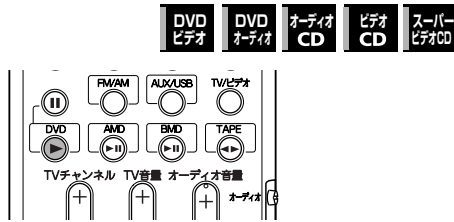
P025-UX-W7DVD_002A Page 27 03.12.24, 8:39 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

DVDプレーヤーの基本操作

本機では様々なディスクを操作することができます。
操作の中には、ディスクの種類によって、使えない機能もあります。
本書では、機能ごとに次のマークを示し、説明中の操作がどの種類のディスクでできるのかお知らせします。

例：オーディオCDでは操作できないとき

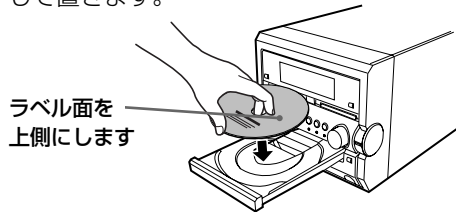
再生する

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

1　本体の ⏏ を押す

ディスクトレイが出てきます。

- 電源「切」のときは、電源が入ります。

2　ディスクをディスクトレイに置く

- 8センチディスクは内側の凹部に置きます。
- 両面ディスクのときは、通常SIDE-Aを上にして置きます。

3　本体の ⏏ を押してディスクトレイを閉める

4　DVD ▶（本体は ▷/II DVD ）を押す

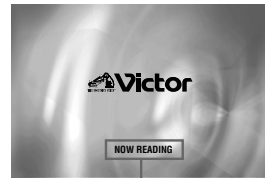
入れたディスクの種類が表示され、再生が始まります。

- ディスクによっては、ディスクトレイを閉めると再生が始まるものもあります。

メニュー画面が表示されたときは

ディスクによっては、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。メニュー画面から再生を始めることができます（➡**33**ページ参照）

オープニング画面について

電源を入れた直後や、ディスクを入れる前のテレビ画面にはオープニング画面が表示されます。

メッセージ

オープニング画面の下部には、本機の状態を示すメッセージが表示されます。

NOW READING（ナウ リーディング）	：ディスク情報を読み取り中です。しばらくお待ちください。
リージョン コード エラー!	：リージョンコードが違うため、このDVDビデオを再生できません。
NO DISC（ノー ディスク）	：ディスクが入っていません。
OPEN（オープン）	：ディスクトレイを開いています。
CLOSE（クローズ）	：ディスクトレイを閉じています。

表示窓のディスク表示について

ソース（音源）がディスク（DVDなど）の場合、ディスクトレイに入れたディスクが読み込まれると、ディスクの種類が表示されます。

：DVDビデオまたはDVDオーディオ

：オーディオCD

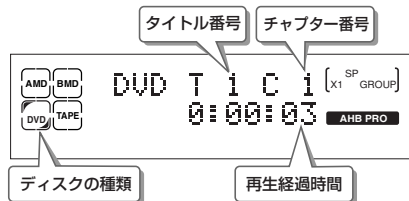
：ビデオCDまたはスーパービデオCD

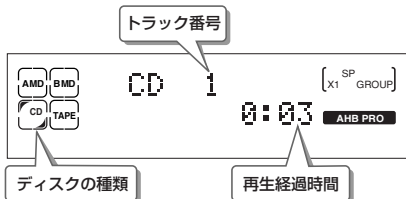
- 再生中は再生をイメージした表示に変わり、一時停止中は点滅します。

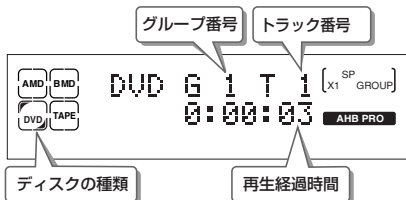
停止中

再生中

本体の表示窓について

例：DVDビデオを再生したとき

停止中： 総タイトル数が表示されます。

例：オーディオCDを再生したとき

停止中： 総トラック数と総再生時間が表示されます。

例：DVDオーディオを再生したとき

停止中： 総グループ数が表示されたあと、グループ1とトラック1が表示されます。

- ビデオCDを再生したときは、ディスク表示（VCD）、トラック番号、再生経過時間が表示されます。PBC機能で再生中は「**PBC**」も表示されます。停止中は、総トラック数と総再生時間が表示されたあと、**PBC**またはトラック1が表示されます。

マルチチャンネル音声について

本機では、ドルビーデジタルまたはDTSのマルチチャンネル音声をダウンミックスして本機の2本のスピーカーとヘッドホンで再生します。

- マルチチャンネル音声を再生しているとき、本機のバーチャルサラウンド機能を使うと2本のスピーカーだけで迫力のあるサラウンドをお楽しみいただけます（➡**36**ページ）。

ディスクを再生中に時計やMDの録音残量表示を見るには

表示/文字を押します。時計表示に切換わります。
B MDデッキにMDが入っているときは、**表示/文字**を押すごとに、MDの録音残量表示➡時計表示と切換わります。
もう一度押すと、放送受信中の表示に戻ります。

再生中に表示されるマークについて

ディスクを再生していると、次のようなマークがテレビ画面に一時的に表示されることがあります。

⃠ ： 本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。このマークが表示されなくても、状況によっては操作ができないことがあります。

以下のマークは**オンスクリーンガイド**といいます。

- ▶ ： 再生を開始すると約3秒間表示されます。
- II ： 一時停止すると表示されます。
- ◀◀ ▶▶ ： 早送り／早戻し再生（➡**31**ページ）をすると表示されます。
- ◀I I▶ ： スローモーション再生（➡**31**ページ）をすると表示されます。
- ： 複数の音声言語が収録されている場面で表示されます（➡**34**ページ）。
- ： 複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます（➡**34**ページ）。
- ： 複数のアングルが収録されている場面で表示されます（➡ **35**ページ）。

- **オンスクリーンガイドは表示しないようにすることもできます（➡93ページ）。**

スクリーンセーバーについて

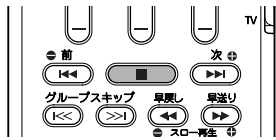
長い時間、静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。
初期設定画面を表示中、停止中、メニュー再生中など静止画が表示されてから5分以上何も操作をしないと、画面が暗くなります。いずれかの操作ボタンを押すと解除され、前の明るい画面に戻ります。

- JPEGの再生時には、静止画が表示されてもスクリーンセーバー機能は働きません。

スクリーンセーバー機能は、映像設定画面（➡**91**ページ）で設定します。

DVDプレーヤーの基本操作（つづき）

再生を停止する

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

■ を押す

- オーディオCD以外のディスクでは、リジューム設定（➡**93**ページ）が「**オン**」のとき、テレビ画面に「RESUME」が表示され、停止位置が記憶されます。このときリジューム再生することができます。

停止位置の記憶について

停止位置は再生中に ■（停止）を押すごとに記憶されます。

記憶された停止位置は電源を「切」にしても残りますが、停止中に ■（停止）を押したりディスクトレイを開けると、停止位置が取り消されます。

- 停止位置は、再生中に電源を「切」にしたときも記憶されます。

ちょっと見バック

ちょっと前のシーンをワンタッチで見ることができます。

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

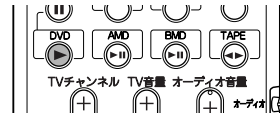
<再生中に>

ちょっと見バック を押す

約10秒前に戻ってから再生が始まります。

- DVDビデオによっては、働かない場合があります。また、再生するタイトルが切換わった直後など、前のタイトルに戻ることはできません。

リジューム再生をする

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

<リジューム設定が「オン」で、前回再生を中断したディスクが入っているとき>

DVD ▶ を押す

記憶された位置から続きが再生されます。電源が「**切**」のときは、電源が「**入**」になり再生が始まります。

- リジューム設定が「**オン**」のときは、電源を「**入**」にしてからDVD ▶ を押すと停止位置の記憶が取り消され、リジューム再生できません。

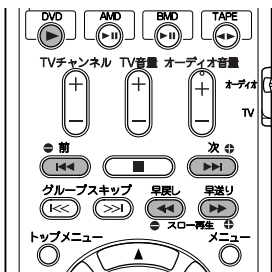
ディスクのはじめから再生するとき

停止中に ■（停止）を押して、位置の記憶を取り消してからDVD ▶ を押します。

お知らせ

- オーディオCDでは、リジューム再生は働きません。それ以外のディスクでも働かないことがあります。
- ビデオCDでプログラム再生またはランダム再生のモードにすると、停止位置の記憶は取り消されます。このときリジューム機能は働きません。
- DVDビデオのメニュー画面表示中やビデオCDのPBCメニュー画面が表示されているときは、停止位置が記憶できないことがあります。
- PBC対応のビデオCDや、記憶された位置によっては、記憶されている停止位置よりも手前、または後ろから再生されることがあります。
- 停止位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。

早送り／早戻し再生をする

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

<再生中に>

早送り／早戻し1

⏭（次）または ⏮（前）を押し続ける

▶▶I を押し続けている間、5倍速/20倍速の早送り再生になります。
I◀◀ を押し続けている間、5倍速/20倍速の早戻し再生になります。
ボタンから指を離すと通常の再生に戻ります。

早送り／早戻し2（リモコンのみ）

▶▶（早送り）または ◀◀（早戻し）を押す

ボタンを押すごとに、早送り/早戻しのスピードが2倍から60倍まで次のように変化します。

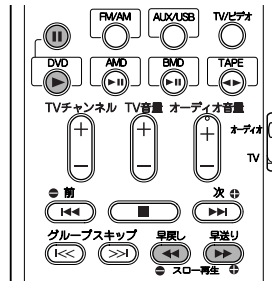
2 ➡ 5 ➡ 10 ➡ 20 ➡ 60

通常の再生に戻すとき

DVD ▶ を押します。

お知らせ

- 早送り/早戻し再生中は、音声は出ません。
  DVDオーディオとオーディオCDでは、断続的に音声が出ます。

一時停止/画像を1コマずつ送る/スローモーション再生をする[スロー]

一時停止をする

<再生中に>

⏸ を押す

再生が一時停止します。

画像を1コマずつ送る(コマ送り…リモコンのみ)

<一時停止中に>

⏸ を押す

押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。

スローモーション再生する

<一時停止中に>

▶▶（早送り/スロー再生）または ◀◀（早戻し/スロー再生）を押す

▶▶ を押すと順方向のスローモーション再生になります。
◀◀ を押すと逆方向のスローモーション再生になります。

- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

$\frac{1}{32}$ ➡ $\frac{1}{16}$ ➡ $\frac{1}{8}$ ➡ $\frac{1}{4}$ ➡ $\frac{1}{2}$

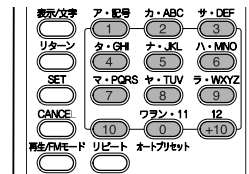
通常の再生に戻すとき

DVD ▶ を押します。

お知らせ

- スローモーション再生中は、音声が出ません。
- ビデオCD/スーパービデオCDでは逆方向のスローモーション再生はできません。

DVDプレーヤーの基本操作（つづき）

見たい場面や聞きたい曲を選ぶ［頭出し］

DVDビデオのタイトル、DVDオーディオのグループの頭出し

DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

<再生中に>

>>I または I<< を押す

>>I を押すと次のタイトル/グループに進みます。
I<< を押すと、現在再生中のタイトル/グループの頭に戻ります。

DVDビデオのチャプター、DVDオーディオ/オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのトラックの頭出し

DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

<DVDビデオ:再生中に>
<DVDオーディオ/オーディオCD:いつでも>
<ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中>

次 ▶▶I または 前 I◀◀ を押す

▶▶I を押すと次に進み、I◀◀ を押すと前に戻ります。くり返し押すと、さらに前後の頭出しができます。

- 再生中にI◀◀を1回押すと、現在再生しているチャプターまたはトラックの頭に戻ります。
- オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのとき、停止中に▶▶IまたはI◀◀を押してからDVD ▶ を押すと、選んだトラックから再生が始まります。

お知らせ

- DVDビデオやPBC対応ビデオCDによっては、この機能を使えないものがあります。
- 「⃠」が表示されたときは…
  この操作が禁止されています。

数字ボタンで頭出しをする［ダイレクト再生］

DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

<DVDビデオ:再生中に>
<DVDオーディオ/オーディオCD:いつでも>
<ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中>

数字ボタン（ア・記号 1 ～ 10、12 +10）を使って番号を指定する

指定した番号から再生が始まります。

- DVDビデオが停止中のときはタイトルが指定され、再生中のときは、チャプターが指定されます。
- DVDオーディオ/オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのときは、トラックが指定されます。
- DVDオーディオにグループがあるときは、>>I（またはI<<）でグループの頭出しをしてから数字ボタンを押します。

1～10の番号を指定するとき

数字ボタンの ア・記号 1 ～ 10 のいずれかを押します。

11以上の番号を指定するとき

15を指定する：12 +10 ➡ ナ・JKL 5
20を指定する：12 +10 ➡ 10
と押します。

21以上の番号を指定するとき

25を指定する：12 +10 ➡ 12 +10 ➡ ナ・JKL 5
30を指定する：12 +10 ➡ 12 +10 ➡ 10
または 12 +10 ➡ 12 +10 ➡ 12 +10 ➡ ワラン・11 0
と押します。

お知らせ

- DVDビデオやPBC対応ビデオCDによっては、この機能を使えないものがあります。
- 「⃠」が表示されたときは…
  押した番号のタイトル、チャプター、トラックが収録されていないか、この操作が禁止されています。

メニューから再生する

DVDビデオやDVDオーディオのメニューやビデオCD/スーパービデオCDのPBC(プレイバックコントロール)機能を使って、タイトル、チャプターまたはトラックを指定し、再生することができます。

DVDのメニューから選ぶ

<いつでも>

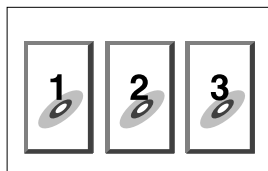
1 トップメニュー または メニュー を押す

メニュー画面が表示されます。

2 を使って見たい映像や項目を選び、ENTER を押す

選んだところから再生されます。

- メニュー画面によっては、数字ボタンを押すだけで見たい映像や項目を選ぶことができます。

例：

トップメニュー と メニュー について

- 通常は**トップメニュー**を押してタイトル名のリストなどが表示されているメニュー画面を表示させます。
  ディスクによっては、**メニュー**を押して、メニュー画面を表示させることがあります。
  各ディスクのメニュー構成については、ディスクの説明書をご覧ください。

お知らせ

- 「⃠」が表示されたときは…
  ディスクにメニュー画面が収録されていません。
- 停止中は、**メニュー**は働きません。
- DVDオーディオの場合、**メニュー**は働きません。

ビデオCD/スーパービデオCDのメニューから選ぶ

<PBC対応ディスクが停止中に>

1 DVD ▶ を押す

メニュー画面が表示されます。

2 数字ボタン(1 ～10、+10)を使って見たいトラック番号を選ぶ

選んだ番号のトラック再生されます。

- 5を選ぶ: 5 を押す
  25を選ぶ: +10 ➡ +10 ➡ 5 と押す。
  30を選ぶ: +10 ➡ +10 ➡ 10 と押す。

メニュー画面に戻るときは

リターンを押します。

テレビ画面上に[次]または[前]が表示されたときは

▶▶I を押して、メニューの次のページへ進みます。
I◀◀ を押して、メニューの前のページへ戻ります。

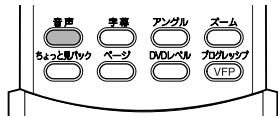
PBCを「入/切」するには

- **PBCを「切」にして再生するには**
  停止中に見たいトラック番号を数字ボタンで指定します。選んだトラックから通常の再生が始まります。
- **PBCを「入」にするには**
  再生中に**トップメニュー**または**メニュー**を押します。または、■(停止)を1回(リジューム機能が「オン」のときは2回)押してから、**DVD ▶**を押します。本体表示窓に「**PBC**」と表示されます。

DVDプレーヤーの便利な機能

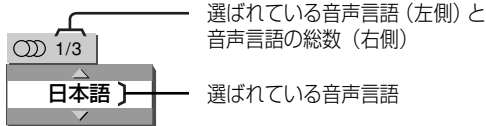
音声言語/音声を選ぶ[音声]

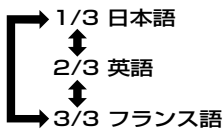
DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD スーパービデオCD

• DVDビデオでは、複数の音声が収録されている箇所の冒頭で、画面に「(音声マーク)」が表示されます。

<再生中に>

1 音声 を押す

テレビ画面に音声選択ウィンドウが表示されます。

例：DVDビデオのとき

2 音声 をくり返し押して音声言語または音声を選ぶ

押すごとに、音声言語/音声が切換わります。

音声選択ウィンドウを消すには

ENTER を押します。

• 何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

お知らせ

• メニューバーを使って、音声を選ぶこともできます（➡**43** ページ参照）。
• DVDビデオの再生中、音声選択ウィンドウに表示される言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード（➡**90**ページ参照）で表示されます。
• オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「(音声マーク)」は表示されません（➡**93** ページ参照）。
• **「⃠」が表示されたときは…**
ディスクに複数の音声が収録されていないか、その操作が禁止されています。
• ディスクに収録されていない音声言語/音声については、音声の切換えがご使用になれません。

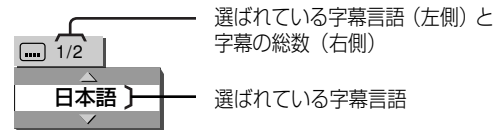
字幕を切換える[字幕]

DVDビデオ スーパービデオCD

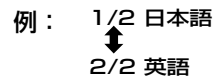
• DVDビデオでは、字幕が収録されている箇所の冒頭で、画面に「(字幕マーク)」が表示されます。

<再生中に>

1 字幕 を押す

テレビ画面に字幕選択ウィンドウが表示されます。

2 カーソル ▼（または ▲）を押して字幕言語を選ぶ

押すごとに、字幕言語が切換わります。

例：1/2 日本語 ⇕ 2/2 英語

• **字幕**を押すと、選ばれている字幕言語と字幕なし（オフ）が交互に切り換わります。

字幕選択ウィンドウを消すには

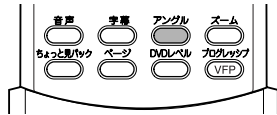
ENTERを押します。

• 何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

お知らせ

• メニューバーを使って、字幕を選ぶこともできます（➡**43** ページ参照）。
• DVDビデオの再生中、字幕選択ウィンドウに表示される言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード（➡**90**ページ参照）で表示されます。
• オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「(字幕マーク)」は表示されません（➡**93** ページ参照）。
• **「⃠」が表示されたときは…**
ディスクに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。
• ディスクに収録されていない言語については、字幕の切換えがご使用になれません。

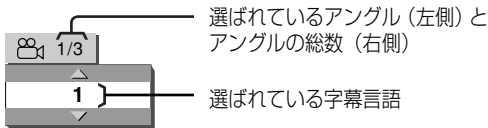
アングルを切換える[アングル]

• DVDビデオでは、複数のアングルが収録されている箇所の冒頭で、画面に「 」が表示されます。

<再生中に>

1 **アングル を押す**

テレビ画面にアングル選択ウィンドウが表示されます。

選ばれているアングル（左側）とアングルの総数（右側）

選ばれている字幕言語

2 **アングル をくり返し押してアングルを選ぶ**

押すごとに、アングルが切換わります。

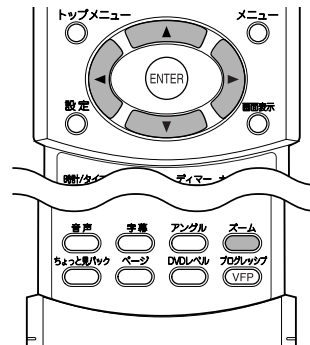
アングル選択ウィンドウを消すには

ENTER を押します。

• 何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

お知らせ

• メニューバーを使って、字幕を選ぶこともできます（➡**43** ページ参照）。
• オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「 」は表示されません（➡**93** ページ参照）。
• 「 」が表示されたときは…
ディスクに複数のアングルが収録されていないか、その操作が禁止されています。
• 複数のアングルが収録されていないディスクでは、アングルの切換えがご使用になれません。

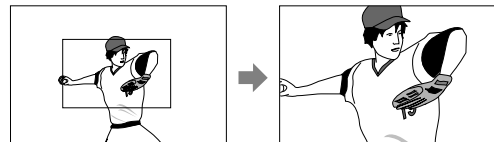
画面を拡大する[ズーム]

<再生中または一時停止中に>

1 **ズーム を押す**

画面が拡大されます。

• 押すごとに、倍率が変化します。

2 **を押して拡大したい部分を選ぶ**

ご注意

• **拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。**
• **DVDオーディオの場合、静止画再生中は無効です。**

ディスクの再生

音場にサラウンド感を出す [バーチャルサラウンド]

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

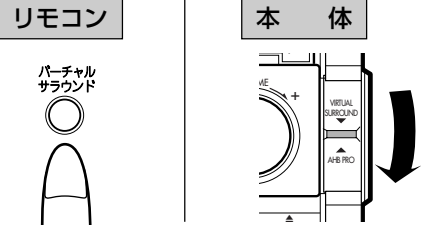
• バーチャルサラウンドを使うと、2本のスピーカーだけでサラウンドの効果を擬似的に演出することができます。

<再生中に>

バーチャルサラウンドをオンにする

表示窓にV. SURROUNDと各モードが数秒間表示され、SURROUND が点灯します。

テレビ画面にもバーチャルサラウンドの各モードが表示されます。

リモコン　本体

• 押すごとに、次のようにが切換わります。

アクション　：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
↓
ドラマ　：包まれるような自然な雰囲気により、リラックスして映画が楽しめます。
↓
シアター　：劇場で映画を見ているような音響効果が楽しめます。
↓
オフ　：バーチャルサラウンドを「切」にします。

次のようなときは「オフ」にしてください。
• 雑音が多いとき
• 音が歪むとき

お知らせ
• ヘッドホンでは効果が薄くなります。
• DVDオーディオの場合、ディスクによっては操作を受け付けないことがあります。

DVDレベルを調節する

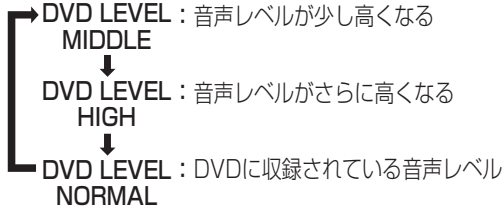
DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

• DVDビデオ/DVDオーディオの音声は、他の種類のディスクよりも低いレベルで収録されている場合があります。DVDビデオ/DVDオーディオを再生中、他の種類のディスクと比べて音が小さく聞こえるときは、DVDレベルを調節します。
調節したDVDレベルは、DVDビデオ/DVDオーディオの再生時のみ有効です。DVDビデオ/DVDオーディオ以外のディスクのときは働きません。

<再生中に>

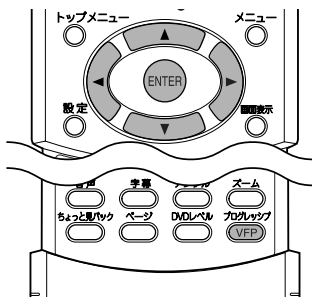
DVDレベル を押す

1回押すと現在レベルが表示されます。
さらに押すごとに、DVDレベルが変わります。
聞きながら調節してください。

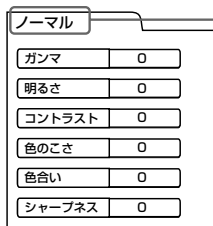
DVD LEVEL MIDDLE：音声レベルが少し高くなる
↓
DVD LEVEL HIGH：音声レベルがさらに高くなる
↓
DVD LEVEL NORMAL：DVDに収録されている音声レベル

• 調節したDVDレベルは、ディスクを取り出しても記憶されています。

画質を調節する[VFP]

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

• VFP (Video Fine Processor) 機能(用語集➡**112**ページ参照)を使うと、映像を鑑賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を調節することができます。

<再生中に>

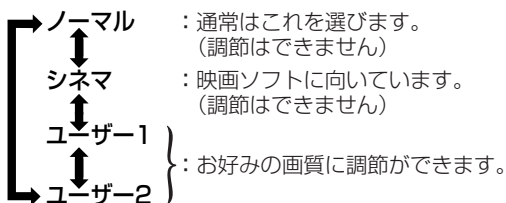
1 プログレッシブ(VFP) を「ポン」と押す

テレビ画面にVFP設定ウィンドウが表示されます。

現在選ばれているVFPモード

ご注意

• **VFP設定ウィンドウを表示させるとき、VFP/プログレッシブを長く押さないでください。長く押すと、「プログレッシブ⬌インターレース」の切換えボタンとして働きます。**

2 カーソル ▶ (または ◀)を押してVFPモードを選ぶ

ノーマル ：通常はこれを選びます。(調節はできません)
シネマ ：映画ソフトに向いています。(調節はできません)
ユーザー1／ユーザー2 ：お好みの画質に調節ができます。

ユーザー1または2を選んだときは
続く**手順3**〜**6**で設定項目を調節し、記憶させることができます。

3 カーソル ▼ (または ▲)を押して設定項目を選ぶ

設定項目

ガンマ	：	画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。(設定範囲：−3〜+3)
明るさ	：	画面の明るさを調節します。(設定範囲：−8〜+8)
コントラスト	：	画面のコントラストを調節します。(設定範囲：−7〜+7)
色のこさ	：	画面の色の濃さを調節します。(設定範囲：−7〜+7)
色合い	：	画面の色合いを調節します。(設定範囲：−7〜+7)
シャープネス	：	画面のシャープさを調節します。(設定範囲：−8〜+8)

4 ENTER を押す

VFP設定ウィンドウが消えて、項目ごとの調節ウィンドウが表示されます。

例：「ガンマ」を選んだとき

ガンマ　0

5 カーソル ▼ (または ▲)を押して設定項目を調節する

カーソル▲を押すと数値が大きくなり、**カーソル▼**を押すと数値が小さくなります。

6 ENTER を押す

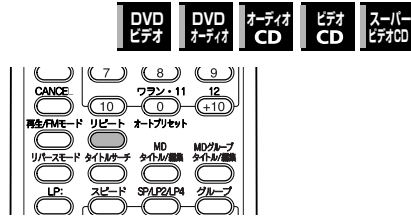
再び、VFPウィンドウが表示されます。
他の項目を調節するときは、**手順3**からくり返します。

VFP設定ウィンドウを消すには

VFP/ プログレッシブを押します。
• 何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

DVDプレーヤーの便利な機能（つづき）

くり返し再生する[リピート]

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

<DVDビデオ/DVDオーディオ:再生中/停止中に>
<オーディオCD:再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD:再生中またはPBCオフで再生中に>

リピート を押す

停止中のときは、DVD ►を押してリピート再生を始めます。
ボタンを押すごとに、リピートモードが切換わり、本体表示窓とテレビ画面に次のように表示されます。

本体表示窓	テレビ画面	モードの説明
↻	CHAP (DVDビデオ)	現在再生中のチャプターをくり返し再生
	TRACK (DVDビデオ以外)	現在再生中のトラックをくり返し再生
↻ ALL	TITLE (DVDビデオ)	現在再生中のタイトルをくり返し再生
↻ GROUP	GROUP (DVDオーディオ)	現在再生中のグループをくり返し再生
↻ ALL	ALL (DVDビデオ/DVDオーディオ以外)	全トラックをくり返し再生
消灯	OFF	リピート再生のモードを解除

- **この他に、任意の2点間をくり返すA-Bリピート再生をすることもできます。A-Bリピート再生について詳しくは、44ページをご覧ください。**

リピート再生をやめるには

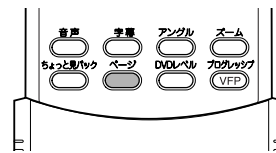
■（停止）を押して再生を停止します。
- DVDビデオのときは、再生を停止すると同時にリピート再生のモードも解除されます。DVDビデオ以外のときは、リピート再生のモードは解除されません。

リピート再生のモードを解除するには

リピートを押して本体表示窓のリピートモード表示を消灯させるか、テレビ画面に「↻ OFF」を表示させます。

DVDオーディオの静止画像を選ぶ[ページ]

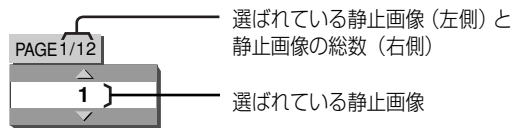
DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

- 多くのDVDオーディオには静止画像が収録されています。静止画像には音声再生に合わせて自動的に表示されるものと手動で選べるものがあり、手動で選べる画像は「B.S.P. (Browsable Still Picture)」（ブラウザブル スチル ピクチャー）と呼ばれます。「B.S.P.」を収録している箇所の冒頭で「ページ」またはそれに類する表現が表示されます（オンスクリーンガイドが「オン」のとき（➡**93**ページ）。本体表示窓では、**B.S.P.** が点灯します。

<再生中、テレビ画面に「ページ」（またはそれに類する表現）が表示されていて、ステータスバーが表示されていないとき>

1 ページ を押す

テレビ画面にページ選択ウィンドウが表示されます。

選ばれている静止画像（左側）と静止画像の総数（右側）

選ばれている静止画像

2 ページ をくり返し押してページを切換える

ボタンを押すごとにページが切換わり、別の静止画像が表示されます。

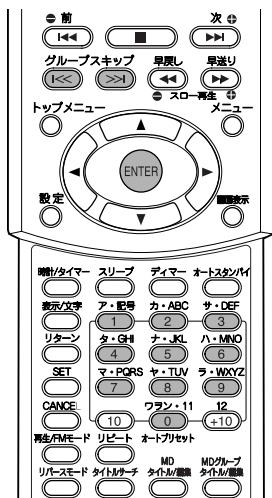
ページ選択ウィンドウを消すには

ENTER を押します。
- 何も操作しないと、ウィンドウは約５秒で消えます。

お知らせ
- メニューバーを使って、静止画を選ぶこともできます（➡**43** ページ参照）。

DVDオーディオのボーナスグループを再生する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパービデオCD

- DVDオーディオによっては、内容を一般公開していないボーナスグループが収録されているものがあります。ボーナスグループは必ずディスクの最後のグループに割り当てられます(たとえば、ボーナスグループを含めて4グループが収録されているディスクのときは、第4グループがボーナスグループです。)このボーナスグループを再生するには、指定されたキーナンバー(暗証番号)の入力が必要になります。キーナンバー(暗証番号)を知る方法はディスクによって異なります。
  キーナンバー(暗証番号)がわかったら、以下の手順でボーナスグループが再生できます。
  ボーナスグループが収録されているDVDオーディオのときは、本体表示窓のBONUSが点灯します。

<ボーナスグループが収録されているDVDオーディオが再生中に>

1　(>>|)(または(|<<))を押してボーナスグループ(ディスク最後のグループ)を選ぶ

キーナンバー(暗証番号)入力表示が、テレビ画面と本体表示窓に現れます。

テレビ画面　　本体表示窓

KEY ＿＿＿＿　　KEY ＿＿＿＿

2　数字ボタン((1)(ア・記号)～(9)(ラ・WXYZ)、(0)(ワラン・11))を押して4ケタのキーナンバー(暗証番号)を入力する

- キーナンバー(暗証番号)の入力を間違えたときは、ENTERを押し、正しいキーナンバー(暗証番号)を**入力**し直してください。

3　(ENTER)を押す

ボーナスグループの再生が始まります。

- キーナンバー(暗証番号)が間違っているときは、再度キーナンバー(暗証番号)入力表示が表示されます。正しいキーナンバー(入力番号)を確認し、もう一度**手順2**から操作し直してください。
- キーナンバー(暗証番号)入力表示は、ENTERを押さずにいると、しばらくしてから消えます。

キーナンバー(暗証番号)入力表示を消すには

間違ってボーナスグループを選んでしまったときなど、キーナンバー(暗証番号)入力表示を消したいときは、次のいずれかの操作をします。

- しばらく待つ
- ■(停止)を押す
- ⏏(ディスク取り出し)を押してディスクトレイを開ける
- 電源を「切」にする

キーナンバー(暗証番号)の記憶を消すには

次の操作をすると、キーナンバー(暗証番号)の記憶が消えます。

- ⏏(ディスク取り出し)を押してディスクトレイを開ける

お知らせ

- プログラム再生でボーナスグループ中のトラックを指定したときは、そのトラックはディスクが読み込まれたあと、プログラムから削除されます。

DVDプレーヤーの便利な機能（つづき）

プログラム再生

• ディスクに収録されているチャプター/トラックをお好みの順番で、最大99ステップまで再生することができます。

<停止中に>

1 再生/FMモード を押して本体表示窓にPROGRAMを点灯させる

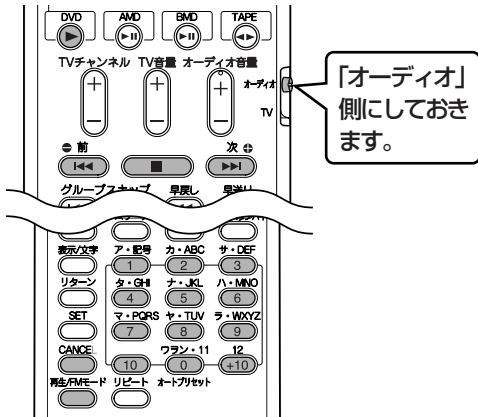
テレビ画面にはプログラム設定画面が表示されます。

テレビ画面：プログラム設定画面

本体表示窓：（例：オーディオCDのとき）

• ビデオCD/スーパービデオCDのときは、VCDと表示されます。

（例：DVD ビデオのとき）

• DVDオーディオのときは、T（タイトル）がG（グループ）に、C（チャプター）がT（トラック）の表示に変わります。

2 数字ボタンを使って再生したい順にトラック番号を選ぶ

• 数字ボタンの使いかたは、「数字ボタンで頭出しをする［ダイレクト再生］」（➡**32**ページ）を参照してください。

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDの場合

トラック番号を選びます。

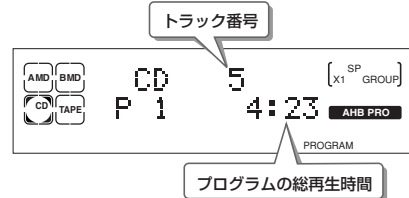
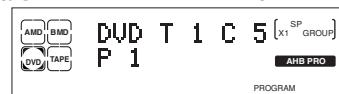
DVDビデオの場合

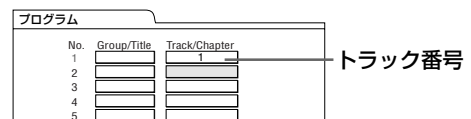
最初にタイトル番号を選び、そのあとチャプター番号を選びます。

DVDオーディオ（またはMP3ファイル）の場合

最初にグループ番号を選び、そのあとトラック番号を選びます。

99ステップまで設定することができます。

本体表示窓：（例：オーディオCDのとき）

（例：DVD ビデオのとき）

• DVDビデオ/DVDオーディオのときは、プログラムの総再生時間は表示されません。

テレビ画面：プログラム設定画面
（例：オーディオ CD のとき）

• DVDビデオ/DVDオーディオ（またはMP3ファイル）のときは、「Group/Title」の欄にも選んだ番号が表示されます。

3 DVD ▶ **を押す**

プログラム設定画面が消え、プログラムした順番で再生が始まります。
プログラムされたすべてのトラックの再生が終わると停止し、プログラム設定画面が表示されます。

プログラムを間違えたときは

CANCELを押します。プログラムの最後の番号から順番に削除されます。CANCELを押し続けるとプログラムの内容がすべて削除されます。

本体表示窓でプログラムの内容を確認するには

停止中に▶▶I（またはI◀◀）を押すと、プログラムの順番を確認することができます。
カーソル▲（または▼）を押して確認することもできます。

プログラム再生を途中でやめるには

■（停止）を押します。再生が停止し、プログラム画面が表示されます。
プログラム画面を消すときは、画面表示を押します。
• プログラムの内容は残ります。**DVD ▶** を押すと、再びプログラム再生が始まります。

プログラムの内容を消去するには

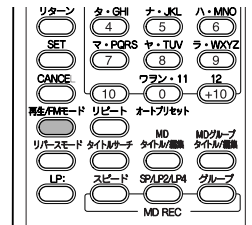
停止中に**CANCEL**を押し続けます。プログラムの内容がすべて削除されます。

プログラム再生のモードを解除するには

停止中に**再生/FMモード**を押して、本体表示窓のPROGRAMを消灯させせます。
ディスクを取り出す、または電源を「切」にしたときもすべてのプログラムの内容が消去され、プログラム再生のモードも解除されます。

ランダム再生

DVD ビデオ　DVD オーディオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパービデオCD

• ディスクに収録されているトラックをランダム（無作為）に一度ずつ再生します。

<停止中に>

1 再生/FMモード **をくり返し押して本体表示窓にRANDOMを点灯させる**

例：オーディオ CD のとき

RANDOM 点灯

2 DVD ▶ **を押す**

ランダム再生が始まります。
すべてのトラックの再生が終了すると、自動停止します。
• ▶▶Iを押すと、現在再生中のトラックを飛ばして再生します。
• I◀◀を押すと、再生中のトラックの頭出しをします。その前のトラックには戻れません。

ランダム再生をやめるには

■（停止）を押します。

ランダム再生のモードを解除するには

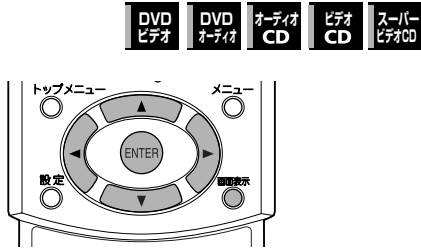
停止中に**再生/FMモード**を押して、本体表示窓のRANDOMを消灯させせます。
ディスクを取り出す、または電源を「切」にしたときもランダム再生のモードが解除されます。

ステータスバーとメニューバー

本機では、テレビ画面上に、ステータスバーとメニューバーを表示させることができます。これらの表示を使って、再生中のディスクの情報を確認したり（ステータスバー）、様々な機能を呼び出して使う（メニューバー）ことができます。

- **MP3またはJPEGディスクの再生中には、ステータスバー/メニューバーは使えません。**

ステータスバーとメニューバーを使う[画面表示]

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

<再生中または一時停止中に>

1　画面表示 を押す

押すごとに次のように表示が切換わります。

例：DVDビデオのとき

ステータスバー

DVD-VIDEO　8.5Mbps　TITLE 33　CHAP 33　TOTAL 1:25:58

⬇

ステータスバー

DVD-VIDEO　8.5Mbps　TITLE 33　CHAP 33　TOTAL 1:25:58

⬇　メニューバー

表示なし ➡ ステータスバー表示（始めに戻る）

2　メニューバー表示中に、カーソル（または）を押してアイコンを選ぶ

3　ENTER を押す

各機能の設定または操作ができるようになります。内容については「アイコン一覧」（➡43ページ）をご覧ください。

- メニューバーのアイコンの文字やマークの色が変わっているときは、その機能が働いています。

ご注意

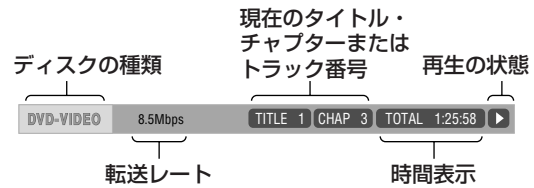
- **DVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDのメニュー画面が表示されているとき、メニューバーを表示すると、メニュー画面での操作がうまくいかないことがあります。このようなときは、メニューバー表示を消してください。**

ステータスバーについて

ステータスバーでは次の情報が表示されます。

ディスクの種類　現在のタイトル・チャプターまたはトラック番号　再生の状態

DVD-VIDEO　8.5Mbps　TITLE 1　CHAP 3　TOTAL 1:25:58

転送レート　時間表示

- **ディスクの種類**

DVDビデオのとき：DVD-VIDEO
DVDオーディオのとき：DVD-AUDIO
オーディオCDのとき：CD
ビデオCDのとき：VCD
スーパービデオCDのとき：SVCD

- **転送レート（DVDビデオのとき）**

映像単位時間当たりの平均情報量を示しています。

- **現在のタイトル・チャプターまたはトラック番号**

DVDビデオのとき

TITLE 1 CHAP 3：現在のタイトル番号とチャプター番号が表示されます。

DVDオーディオのとき

GROUP 1 TRACK 3：現在のグループ番号とトラック番号が表示されます。

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのとき

TRACK 3：現在のトラック番号が表示されます。

- **時間表示**

次の４つの時間表示ができます。

TOTAL：タイトル（グループ）の頭からの経過時間
T.REM：タイトル（グループ）の残り時間
TIME：チャプター（トラック）の再生経過時間
REM：チャプター（トラック）の残り再生時間

（　）内はDVDビデオ以外のディスクのとき

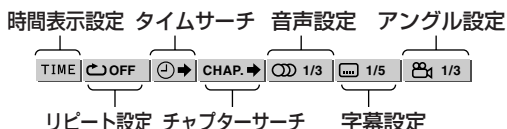
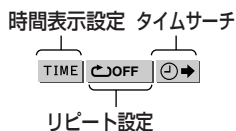
- **再生の状態**

DVDプレーヤーの再生状態が表示されます。

再生中：▶
一時停止中：⏸　早送り/早戻し中：⏩/⏪
スロー再生中：/

メニューバーついて

メニューバーからは次の操作をすることができます。メニューバーのアイコンはディスクの種類によって異なります。詳しい使いかたは、下欄の「アイコン一覧」をご覧ください。

DVDビデオのときのアイコン

時間表示設定 タイムサーチ 音声設定 アングル設定

TIME | OFF | ⊙➡ | CHAP.➡ | 1/3 | 1/5 | 1/3

リピート設定 チャプターサーチ 字幕設定

DVDオーディオのときのアイコン

時間表示設定 タイムサーチ 音声設定

TIME | OFF | ⊙➡ | TRACK➡ | 1/3 | PAGE 1/12

リピート設定 トラックサーチ ページ設定

オーディオCDのときのアイコン

時間表示設定 タイムサーチ

TIME | OFF | ⊙➡

リピート設定

ビデオCDのときのアイコン

時間表示設定 タイムサーチ

TIME | OFF | ⊙➡ | ST

リピート設定 音声設定

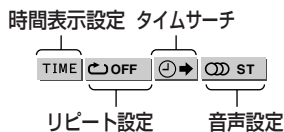
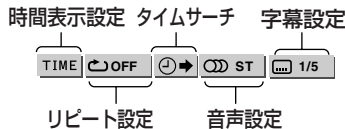
スーパービデオCDのときのアイコン

時間表示設定 タイムサーチ 字幕設定

TIME | OFF | ⊙➡ | ST | 1/5

リピート設定 音声設定

アイコン一覧

- TIME **時間表示アイコン** （DVDビデオ / DVDオーディオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD）

  ステータスバーの時間表示を切換えます。
  ENTERを押すごとに、TOTAL、T.REM、TIME、REMと時間表示が切換わります。表示内容については、「ステータスバーについて」(➡**42**ページ)の「時間表示」をご覧ください。

- OFF **リピートアイコン** （DVDビデオ / DVDオーディオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD）

  いろいろなくり返し再生をするときに選びます。詳しくは、「くり返し再生する[A-Bリピート]」(➡**44**ページ)をご覧ください。

- ⊙➡ **タイムサーチアイコン** （DVDビデオ / DVDオーディオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD）

  再生したい場所を時間で指定します。詳しくは、「再生したい位置の時間を指定する」(➡**45**ページ)をご覧ください。

- CHAP.➡ **チャプターサーチアイコン** （DVDビデオ）

  DVDビデオで再生したいチャプターを指定します。数字ボタンで番号を入力し、ENTERを押すと再生が始まります。

- TRACK➡ **トラックサーチアイコン** （DVDオーディオ）

  DVDオーディオで再生したいトラックを指定します。数字ボタンで番号を入力し、ENTERを押すと再生が始まります。

- 1/3 **音声アイコン** （DVDビデオ / DVDオーディオ / ビデオCD / スーパービデオCD）

  音声を切換えます。**カーソル▼**(または▲)で音声を選び、ENTERを押して切換えます。

- 1/5 **字幕アイコン** （DVDビデオ / スーパービデオCD）

  字幕を切換えます。**カーソル▼**(または▲)で字幕を選び、ENTERを押して切換えます。

- 1/3 **アングルアイコン** （DVDビデオ）

  アングルを切換えます。**カーソル▼**(または▲)でアングルを選び、ENTERを押して切換えます。

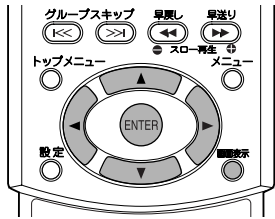
- PAGE 1/12 **ページアイコン** （DVDオーディオ）

  B.S.P.を収録しているDVDオーディオを再生中、静止画像を切換えます。**カーソル▼**(または▲)でページを選び、ENTERを押して切換えます。

ステータスバーとメニューバー（つづき）

くり返し再生する[A-Bリピート]

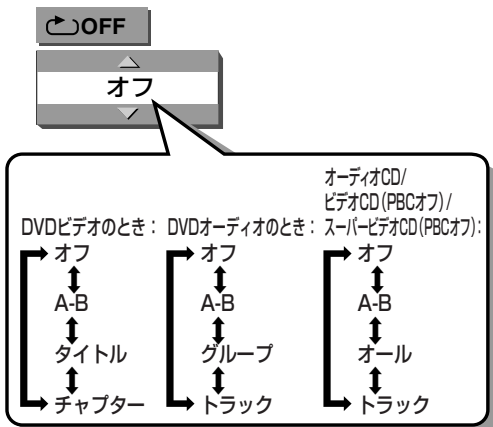
DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

- 再生中のチャプター（DVDビデオのとき）やトラック（DVDビデオ以外のとき）の指定した範囲をくり返し再生することができます。（A-Bリピート）

<DVDビデオ/DVDオーディオ/オーディオCD：再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD：PBCオフで再生中に>

1 **画面表示 を2回押してステータスバーとメニューバーを表示させる**

2 **カーソル ▶（または ◀）を押して OFF を選び、ENTER を押す**

3 **カーソル ▼（または ▲）を押して「A-B」を選ぶ**

押すごとに次のようにモードが切換わります。

- A-Bリピート再生以外のモードを選ぶこともできます。
  その他のモードについて詳しくは、**38**ページをご覧ください。

4 **くり返したい部分の頭で、ENTER を押す（Aポイント）**

メニューバーに A- が表示されます。

5 **くり返したい部分の終わりで、ENTER を押す（Bポイント）**

メニューバーの表示が A-B になり、A ポイントと B ポイント間のリピート再生が始まります。

A-Bリピート再生を解除するには

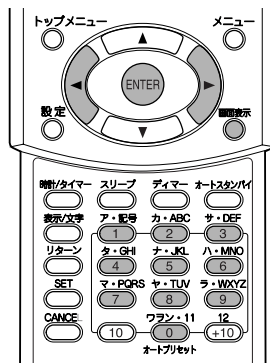
■（停止）を押します。
再生が停止し、A-Bリピート再生は解除されます。

- 左記の**手順3**で「**オフ**」を選び、ENTERを押しても解除されますが、通常の再生は続きます。
- ▶▶I または I◀◀ を押してもA-Bリピート再生は解除されます。

お知らせ

- 「⃠」が表示されたときは…
  ディスクよっては、A-Bリピート再生ができない場合もあります。
- タイトルまたはトラックをまたがるA-Bリピート再生はできません。
- プログラム再生中、ランダム再生中、リピート再生中は、A-Bリピートはできません。

再生したい位置の時間を指定する[タイムサーチ]

• 現在のタイトル（DVDビデオ)、トラック（DVDオーディオ)、ディスク（ビデオCD、スーパービデオCD、オーディオCD）の頭からの時間を指定して、再生を始めることができます。これをタイムサーチといいます。

<DVDビデオ/DVDオーディオ:再生中に>
<オーディオCD:停止中または再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中に>

1 **画面表示 を2回押してステータスバーとメニューバーを表示させる**

2 **カーソル ▶（または ◀）を押して ⏲➡ を選び、ENTER を押す**

3 **数字ボタン（1 〜 9、0）を押して再生したい時間を入力する**

例:DVDビデオのとき

TIME 2:34:__

2時間34分0秒から再生するときは、「2」➡「3」➡「4」と押します。

• DVDビデオ/DVDオーディオは、再生中にタイトル/トラックの頭からの時間を入力します（再生中のタイトル/トラックを超える時間は入力できません）。
オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのとき、停止中はディスクの頭からの時間を入力します。再生中はトラックの頭からの時間を入力します（再生中のトラックを超える時間は入力できません）。
• 秒の入力は省略することができます。
• 10と＋10は使用しません。
• 入力を間違えたときは、間違えた数字が消えるまで**カーソル◀**を押し、その後正しい数字を入力し直してください。

4 **ENTER を押す**

指定した時間から再生が始まります。

通常の画面に戻すには

画面表示を押します。ステータスバーとメニューバーが消えます。

音楽・映像ファイルについて

再生できるファイルについて

本機では、CD-R/RW上にある、以下の音楽·映像ファイルを再生することができます。

- **MP3ファイル**
  サンプリング周波数44.1kHz、転送レート128 kbpsで作成されたMP3ファイルを推奨します。
  − ID3タグには対応しません。
  − MP3iやMP3 PROファイルは再生できません。
- **JPEGファイル**
  デジタルカメラで撮影したJPEG画像ファイルにのみ対応しています。
  (Exif Ver2.1 JPEGベースライン方式、解像度320×240ピクセル〜6144×4096ピクセルのJPEG画像)

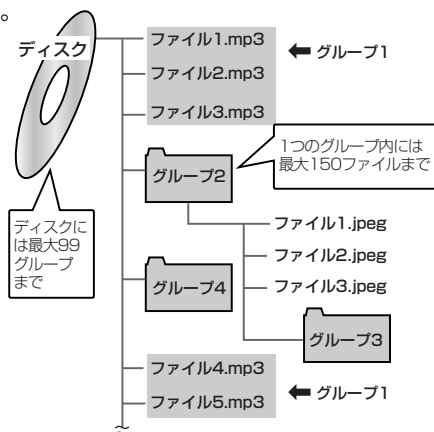
いずれのファイルにも拡張子を正しく付ける必要があります。

お知らせ

- ディスクの読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数によって異なります。
- ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。
- WMAファイルは再生できません。

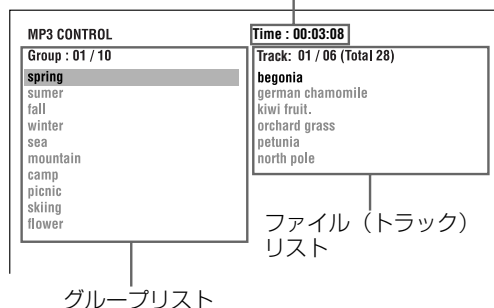
ファイル/フォルダ(グループ)について

通常ファイルは、種類別、ジャンル別などのフォルダとして、まとめて分類します。さらに、ファイル/フォルダの階層構造をつくることもできます。
本書ではフォルダを「グループ」と呼びます。
本機は、1つのCD-R/RWにつき最大99グループまで、1グループ内に最大150ファイルまでを識別再生することができます。これらを超えるグループやファイルは再生できません。

- 再生できないファイルがある場合、それらもファイルとして数えます。
- 再生できるファイルがどのグループにも含まれないときは、そのファイルはグループ1として扱われます。

お知らせ

- MP3とJPEGファイルの両方のファイルが記録されているディスクの場合、「映像設定画面」(➡91ページ)の「MP3/JPEG」で設定されたファイルを再生します。

コントロール画面について

MP3/JPEGファイルを含むCD-R/RWを本機に挿入すると、コントロール画面が表示されます。コントロール画面からファイルを選んで再生します。

- ファイル名やグループ名に半角英数字以外の文字を使用すると、正しく表示されません。
- コントロールパネル画面に表示されるファイル/グループの順序は、パソコン上で表示される順番と異なることがあります。
- 再生できないファイルや、再生できるファイルを含まないグループは、コントロール画面には表示されません。

作成時の注意

ファイル/グループを作成するときは、次のことに注意してください。

- **正しい拡張子を付ける(大文字小文字の混在も可)**
  MP3ファイル 「.MP3」「.mp3」
  JPEGファイル 「.JPEG」「.JPG」「.jpeg」「.jpg」
- **ファイル/グループ名には半角英数字のみを使用する**

CD-R/RWディスクを作成するときは、次のことに注意してください。

- **ディスクフォーマットを「ISO 9660」にする**
- **パケットライト方式(UDFフォーマット)は使わない**
- **必ずファイナライズする**

MP3ファイルを再生する

基本操作

• コントロール画面からトラックやグループを選んで再生します。

＜コントロール画面表示中に＞

1　カーソル ▼ (または ▲)を押してグループを選び、▶ を押す

選ばれているグループ

- グループを選ぶごとに、グループ内のトラックがコントロール画面の右側に表示されます。
- グループを選んで**カーソル ▶** を押すと、　　　がトラックリストへ移動します。
- 　　　がトラックリスト上にあるときは、**カーソル ◀** を押して　　　をグループリストに移動させて、グループを選びます。
- **カーソル ▶** の代わりにENTERを押すと、選んでいるグループ内の先頭のトラックから再生が始まります。

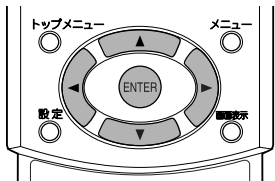
2　カーソル ▼ (または ▲)を押してトラックを選び、ENTER または DVD ▶ を押す

再生が始まります。

- ▶▶I または I◀◀ を押しても、トラックを選べます。

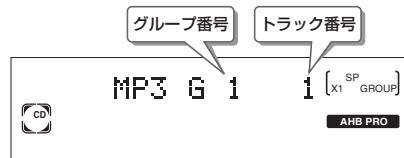
他の操作について

停止、一時停止、▶▶I または I◀◀を使ったトラックの頭出しは、他のディスクと同様に操作できます。

• MP3の場合、早送り/早戻し再生はできません。

ファイルを直接選ぶ

• コントロール画面を利用しないで、グループ、トラックを選びます。

＜停止中または再生中に＞

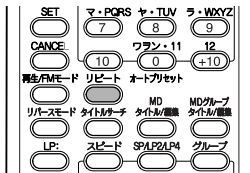
1　>>I (または I<<)を押してグループを選ぶ

2　数字ボタン(ア・記号 1 ～ 10 、12 +10)を押してトラック番号を指定する

コントロール画面のトラックリストに表示されている順番で指定できます。
指定したトラックから再生が始まります。

- 数字ボタンの使いかたは、「数字ボタンで頭出しをする [ダイレクト再生]」(➡**32**ページ)を参照してください。

ディスクの再生

MP3ファイルを再生する（つづき）

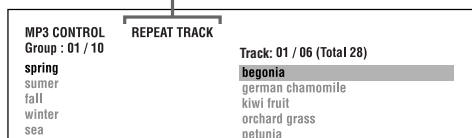
くり返し再生する[リピート]

• コントロール画面からトラックやグループを選んで再生します。

<コントロール画面表示中に>

1 リピート を押す

ボタンを押すごとに、リピートモードが次のように切換わります。

本体表示窓	コントロール画面	モードの説明
	REPEAT TRACK	現在再生中のトラックをくり返し再生
GROUP	REPEAT GROUP	現在選んでいるグループをくり返し再生
ALL	REPEAT ALL	すべてのトラックをくり返し再生
表示なし		リピートモードの解除

リピート再生モード

• 停止中のときは、DVD ► を押して再生を始めます。

リピート再生をやめるには

■(停止)を押します。
リピートモードは解除されません。

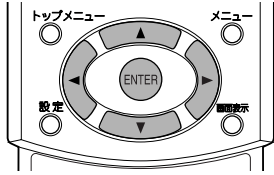
リピート再生のモードを解除するには

リピートをくり返し押して、コントロール画面または本体表示窓のリピート表示を消します。

お知らせ

• MP3ファイルもプログラム再生やランダム再生ができます。詳しくは **40**ページの「プログラム再生」、**41**ページの「ランダム再生」をご覧ください。

JPEGファイルを再生する

基本操作

• コントロール画面からグループやファイルを選んで再生します。

＜コントロール画面表示中に＞

1　カーソル ▼（または ▲）を押してグループを選び、▶ を押す

選ばれているグループ

• グループを選ぶごとに、グループ内のファイルがコントロール画面の右側に表示されます。
• グループを選んで**カーソル ▶** を押すと、▭ がファイルリストへ移動します。
• ▭ がファイルリスト上にあるときは、**カーソル ◀** を押して ▭ をグループリストに移動させて、グループを選びます。
• **カーソル ▶** の代わりにENTERを押すと、選んでいるグループ内の先頭のファイルの再生が始まります。

2　カーソル ▼（または ▲）を押してファイルを選び、ENTER を押す

選んだファイル（静止画）がテレビ画面に表示されます。

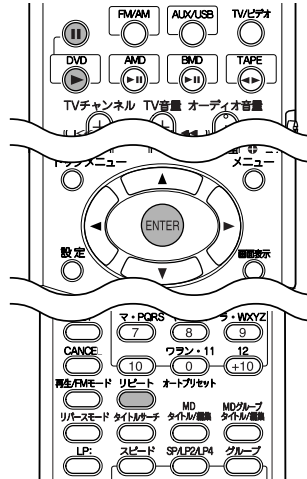
• ▶▶I または I◀◀ を押しても、ファイルを選べます。
• ENTERの代わりにDVD ▶ を押すと、選んだファイルからスライドショー再生を始めます。

他の静止画を見るには

▶▶I を押すと次の静止画が表示されます。
I◀◀ を押すと前の静止画が表示されます。

再生をやめるには

■（停止）を押します。

連続再生する[スライドショー再生]

• ディスクに収録されているJPEGファイルを連続再生（スライドショー）します。
画像表示にかかる時間は、そのファイルの容量によって異なります。

＜静止画の表示中またはコントロール画面でファイルを選択中に＞

DVD ▶ を押す

スライドショー再生が始まり、次々とJPEGファイルが再生されます。

途中でスライドショーを一時停止するには

II または ENTER を押します。
再生中の静止画が表示されます。

• DVD ▶ を押すと、スライドショーの続きが始まります。本体の DVD ▷/II では一時停止できません。

スライドショー再生をくり返すには

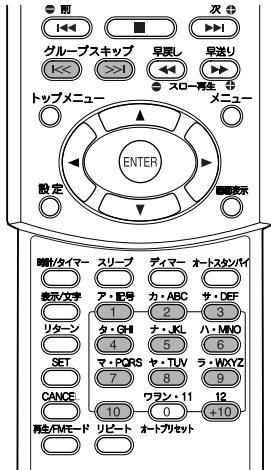
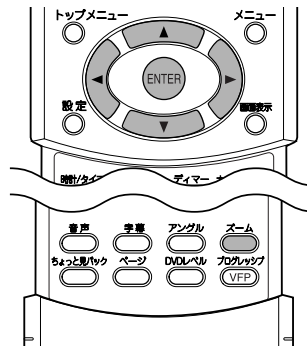
一時停止中または停止中に**リピート**を押します。
ボタンを押すごとにリピートモードは次のように切換わります。

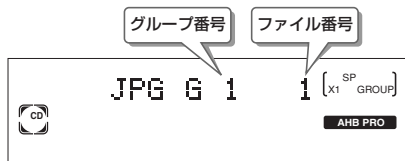
本体表示窓	コントロール画面	モードの説明
GROUP	REPEAT GROUP	現在選んでいるグループをくり返し再生
ALL	REPEAT ALL	すべてのファイルをくり返し再生
表示なし		リピートモードの解除

スライドショーをやめるには

■（停止）または**メニュー**を押します。
コントロール画面が表示されます。

JPEGファイルを再生する（つづき）

ファイルを直接選ぶ

• コントロール画面を利用しないで、スライドショーを始めることができます。

<一時停止中または停止中に>

1 **(または)を押してグループを選ぶ**

2 **数字ボタン(1 ～ 10 、+10)を押してファイル番号を指定する**

コントロール画面のファイルリストに表示されている順番で指定できます。
指定したファイルからスライドショー再生が始まります。

• **手順1**の後5秒以内にファイルを指定してください。指定しなかったときは、選んだグループの最初のファイルからスライドショー再生が始まります。
（一時停止中にグループスキップをしてもスライドショーには入りません）

• 数字ボタンの使いかたは、「数字ボタンで頭出しをする［ダイレクト再生］」（➡**32**ページ）を参照してください。

画面を拡大する［ズーム］

• 再生中の画像の拡大ができます。

<（スライドショー再生を除く）ファイル再生中または一時停止中に>

1 **ズーム を押す**

画面が拡大されます。
• 押すごとに、倍率が変化します。

OFF ➡ ズーム1 ➡ ズーム2

2 **を押して拡大したい部分を選ぶ**

ご注意

• **拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。**

MDを聞く

本機のMDプレーヤーは、MD**LP**（「MD**LP**について」参照）で録音された曲の演奏に対応しています。

本　体

リモコン

MD**LP**について

音声圧縮技術**ATRAC3**により、MDを最長4倍の長さに使えるステレオ長時間録音モードをMD**LP**といいます。LP4モードでは、4倍長ステレオ録音ができ80分MDで最長320分の録音・再生が可能です（LP2モードでは2倍長ステレオ録音・再生）。

MDの再生モード

MDは録音したときの録音モード（SP、LP2、LP4）に従って演奏されます。演奏が始まると、その曲の再生モード（録音モードと一致します）が表示窓に表示されます。

- **SP**：本機でステレオ録音したMDまたはMD**LP**に対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- **LP2**：2倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき
- **LP4**：4倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき

表示窓のMD表示について

A MD（またはB MD）挿入口にMDを入れると、表示窓のA MD（またはB MD）表示が点灯します。

- 演奏中は演奏をイメージした表示に変わり、一時停止中は点滅します。

停止中　演奏中

MD表示が点灯しているとき、新たにMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。

1　MD挿入口（A MD またはB MD）にMDを入れる

矢印のある面を上にして、矢印の向きに正しく差し込みます。MDは途中から引き込まれます。

ソース（音源）がA MD（またはB MD）の場合、**「AMD（またはB MD） READING」**と表示されたあと、総曲数と総グループ数＊、総演奏時間が表示されます。ディスクにタイトルがあるときは、ディスクタイトルが表示されてから、総演奏時間が表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。

- ソース（音源）がA MD（またはB MD）の場合、未録音のMDを入れると**「BLANK DISC」**と表示されます。

2　A MDデッキのとき：

B MDデッキのとき：

ソース（音源）がA MD（またはB MD）になり、演奏が始まります。

曲番号や演奏経過時間、グループ番号が表示されます。曲にタイトルがあるときは、曲タイトルが表示されてから、演奏経過時間が表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。

A MD（またはB MD）の演奏が終わると自動停止します。

例：A MDを演奏中の表示

＊グループ分けされていないときは「－－」表示になります。

MDを聞く

MDを聞く（つづき）

MDの基本操作

演奏を停止する

■（停止）を押します。

- 総曲数と総演奏時間が表示されます。

一時停止する

演奏中にA MD ►/II（またはB MD ►/II)を押します。もう一度押すと、停止したところから演奏が始まります。

曲の頭出しをする(スキップ)

演奏中、►►I(または I◄◄)を押します。演奏中の曲(または後の曲)の頭出しができます。くり返し押すと、さらに前後の曲の頭出しができます。

- 停止中に押すと、1曲ごとの演奏時間が表示されます。途中の曲からテープに録音するときに便利です。

曲の早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏中に►►(または ◄◄)を押し続けます。聞きたいところで指を離すと、そこから演奏が始まります。

演奏中にタイトルなどを見るには

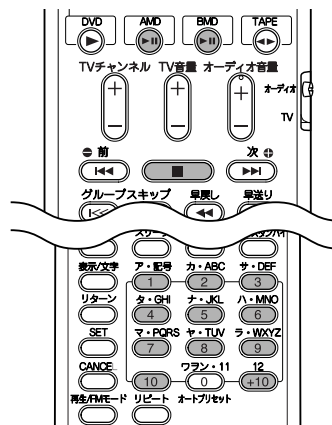
表示/文字を押します。
グループタイトル、曲タイトル、現在時刻などが順番に表示されます。
停止中に**表示/文字**を押すと、ディスクタイトル、MDの録音残量時間(「**REM. 分:秒**」の表示)、現在時刻を見ることができます。

MDを取り出す

A MDから取り出す:本体のA MD ⏏ を押す
B MDから取り出す:本体のB MD ⏏ を押す
演奏中は、停止してからMDが出てきます。
必ずMDを取り出してから、他の操作をしてください。

聞きたい曲を指定する(ダイレクト演奏)

リモコンの数字ボタンを使います。

1 **AMD ►II（またはBMD ►II）を押してから ■ を押す**

ソース（音源）がA MD（またはB MD）になります。

2 **聞きたい曲を数字ボタン（ア・記号 1 〜 10、12 +10）で選ぶ**

1〜10の番号を選ぶとき

数字ボタンの ア・記号 1 〜 10 のいずれかを押します。

11以上の番号を選ぶとき

15を指定する：12 +10 ➡ ナ・JKL 5
20を指定する：12 +10 ➡ 10
と押します。

21以上の番号を選ぶとき

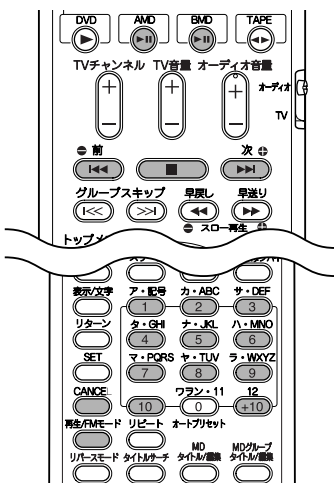
25を指定する：12 +10 ➡ 12 +10 ➡ ナ・JKL 5
30を指定する：12 +10 ➡ 12 +10 ➡ 10
と押します。

押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。

- 演奏中も別の曲に変更できます。
  聞きたい曲番号を選んでください。

MDのプログラム演奏

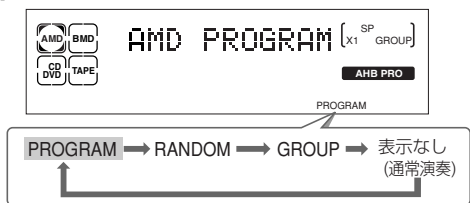
MD に収録されている曲を好きな順番で最大 32 曲までプログラムして聞くことができます。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡**56**ページ「MDのリピート演奏」参照)。
演奏を停止してから、リモコンを使って設定します。

• A MD の曲と B MD の曲を一緒に使うプログラム演奏はできません。

1 AMD（または BMD）を押してから ■ を押す

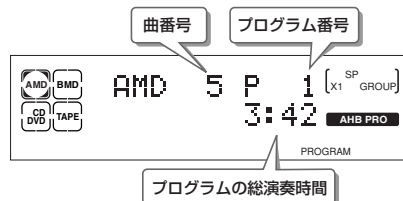
ソース（音源）が A MD（または B MD）になります。

2 再生/FMモード を押して「PROGRAM」を選ぶ

押すごとに、再生モードは次のように切換わります。

例：A MD のとき

• すでにプログラムがされているときは、曲番号、プログラム番号が表示されます。

3 数字ボタンを押してプログラムする

最大32曲までプログラムすることができます。
同じ曲を32回プログラムすることもできます。
入力が終わったら、**手順4**に進んでください。

• 数字ボタンの使いかたは**52**ページ「聞きたい曲を指定する（ダイレクト演奏）」を参照してください。
• プログラムを修正するときは、CANCELを押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。
CANCELを押し続けると、プログラムの内容をすべて削除することができます。
• 33曲目をプログラムすると、「MEMORY FULL」と表示され、これ以上はプログラムできません。
• MDに収録されていない曲番号は選べません。
• プログラムの総演奏時間が2時間30分以上になると、「– – : – –」と表示されます。

4 AMD（または BMD）を押す

プログラムした曲の演奏が始まります。
• プログラムした曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

プログラムの内容を確認する

停止中に ▶▶I（または I◀◀）を押すと、プログラムの曲順を確認することができます。

プログラム演奏を停止する

■（停止）を押します。
プログラム最後の曲番号と総演奏時間が表示されます。プログラム内容は変更されません。

プログラム演奏のモードを解除する

停止中に**再生/FMモード**をくり返し押して、表示を「PROGRAM」以外にします。
• プログラム内容は削除されません。再びプログラム演奏に切り換えると、同じプログラム内容で楽しむことができます。

プログラム内容をすべて削除する

本体のA MD ▲（またはB MD ▲）を押してMDを取り出します。または電源を「**切**」にします。

MDのランダム演奏

MDに収録されているすべての曲を、本機がランダム(無作為)に選んで演奏します。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡**56**ページ「MDのリピート演奏」参照)。
演奏を停止してから、リモコンを使って設定します。
• A MDとB MDの両方を使ったランダム演奏はできません。

1 AMD（または BMD）を押してから ■ を押す

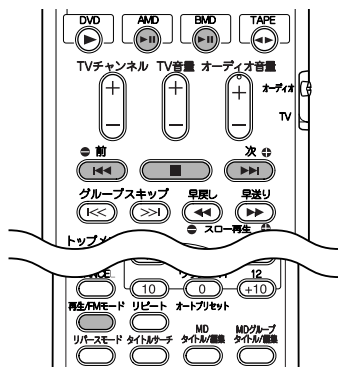
ソース（音源）がA MD（またはB MD）になります。

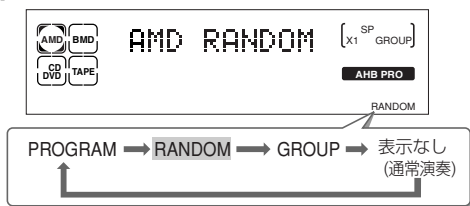
2 再生/FMモード を押して「RANDOM」を選ぶ

押すごとに、再生モードは次のように切換わります。

例：A MDのとき

3 AMD（または BMD）を押す

最初の曲の曲番号が表示され、演奏が始まります。
• ▶▶I を押すと、現在演奏中の曲を飛ばして次の曲を演奏します。
• I◀◀ を押すと、演奏中の曲の頭出しをします。前の曲には戻れません。
• 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動停止します。
• 一度演奏した曲は、再び選曲されません。

ランダム演奏を停止する

■（停止）を押します。
「RANDOM」と表示したまま演奏が停止します。ランダム演奏は解除されません。

ランダム演奏のモードを解除する

停止中に**再生/FMモード**をくり返し押して、表示を「RANDOM」以外にします。または電源を「**切**」にします。

お知らせ

• ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。

MDのグループ演奏

本機には、新しい機能としてMDのグループ機能(➡**78**ページ「MDをグループ編集する」参照)があります。
登録したグループ単位で演奏できます。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡**56**ページ「MDのリピート演奏」参照)。
演奏を停止してから、リモコンを使って設定します。

1 AMD(またはBMD)を押してから■を押す

ソース(音源)がA MD(またはB MD)になります。

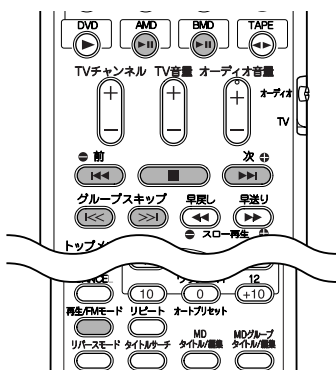
2 再生/FMモードを押して「GROUP」を選ぶ

押すごとに、再生モードは次のように切換わります。

例:A MDのとき

3 AMD(またはBMD)を押す

グループ1の最初の曲番号が表示され、演奏が始まります。

- グループが1つもないときは、通常演奏と同じになります。
- グループ1を聞くときは、**手順4**の操作をしないで、このままお聞きください。
  グループ登録された曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

4 >>I(またはI<<)を押して演奏するグループを選ぶ

選んだグループの最初の曲番号が表示され、演奏が始まります。
グループ登録された曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

グループ演奏を停止する

■(停止)を押します。

同じグループ内の演奏曲を変える

▶▶I(またはI◀◀)を押します。

他のグループの曲や、グループ登録されていない曲を選ぶことはできません。

演奏グループを変える(グループスキップ)

グループ演奏中に>>I(またはI<<)を押します。

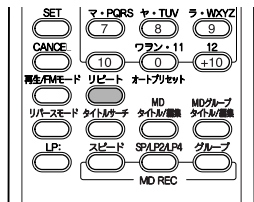
- 通常演奏中に上記の操作をすると、そのグループの最初の曲からMDの最後の曲まで演奏されます。

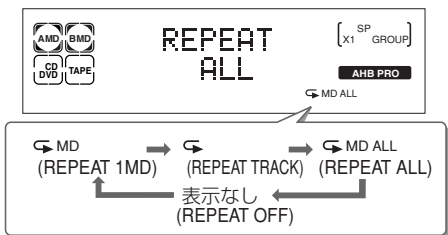
グループ演奏のモードを解除する

停止中に**再生/FMモード**をくり返し押して、表示を「GROUP」以外にします。

- MDを取り出したり電源を「**切**」にしても、グループ演奏のモードは解除されます。

MDのリピート演奏

MDの演奏中や停止中に、聞きたい曲をくり返し演奏させることができます。
全曲リピート演奏(REPEAT 1MD)と1曲リピート演奏(REPEAT TRACK)、A MDとB MDデッキを連続してくり返し演奏することもできます(REPEAT ALL)。
ソース(音源)がA MDまたはB MDのとき、リモコンを使って設定します。

1 リピート を押してリピートモードを選ぶ

押すごとに、リピート表示は次のように切換わります。

REPEAT 1MD:(1枚MD全曲リピート演奏) 演奏するMDデッキの全曲をくり返し演奏します。演奏中に選ぶと、その曲から全曲演奏をくり返します。
プログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏と同時に使うことができます。

REPEAT TRACK:(1曲リピート演奏) 現在演奏中の曲、またはこれから演奏する1曲をくり返します。

REPEAT ALL :(A MD➡B MD連続リピート演奏) A MDとB MDデッキの両方のMDが連続してくり返し演奏します。
A MDとB MDデッキが両方とも通常演奏のときだけ選べます。

- 停止中に設定したときは、A MD ►II(またはB MD ►II)を押して演奏を始めます。

リピート演奏のモードを解除する

リピートをくり返し押して「REPEAT OFF」を選びます。
- MDを取り出したり電源を「切」にしても、リピート演奏のモードは解除されます。

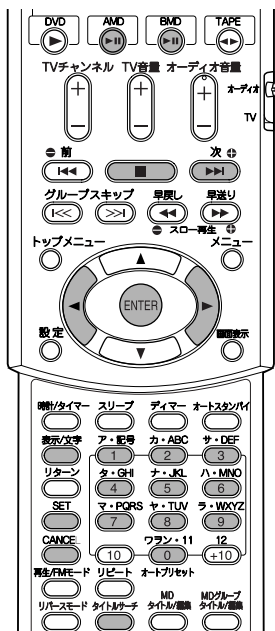
グループ演奏と組み合わせると

グループ演奏(➡55ページ「MDのグループ演奏」参照)と組み合わせると、下のようにくり返します。

REPEAT 1MD: 1つのグループ内の全曲をくり返します。

REPEAT TRACK: 現在演奏中の曲またはこれから演奏する1曲をくり返します。

MDのタイトルサーチ

本機では、曲タイトルやグループタイトルを探して(タイトルサーチ)演奏することができます。
タイトルを探したいMDを本機に入れておきます。

1 **AMD(またはBMD)を押してから ■ を押す**

ソース(音源)がA MD(またはB MD)になります。

2 **曲タイトルを探すとき:**

タイトルサーチ を1回押してから、SET を押す

グループタイトルを探すとき(グループ分けされているときのみ):

タイトルサーチ を2回押してから、SET を押す

表示窓に入力表示が現れます。
- 演奏中のときは停止します。
- ソース(音源)がMD以外のときは、タイトルサーチができません。

3 **探したいタイトルを入力する**

探したいタイトルの最初の1〜5文字まで入力します。

例:「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順に探します。
「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に探します。

入力には次のボタンを使います。

表示/文字	:文字の種類を切換えます。
カーソル◀、▶	:入力位置を移動します。
数字ボタン(1〜9、0)	:文字を入力します。
CANCEL	:入力した文字を消去します。

- 詳しい入力方法は**72**ページの「タイトルをつける」の**手順5、6**を参照してください。
- 空白(スペース)も文字として扱われますが、空白(スペース)の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- タイトルが記録されていない曲(NO TITLE)を探すときは、何も入力しないで**手順4**に進みます。
- 途中でやめるときは、**タイトルサーチ**を押します。

4 **ENTER を押す**

「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると演奏が始まります。演奏が終わると再び次のタイトルサーチが始まります。

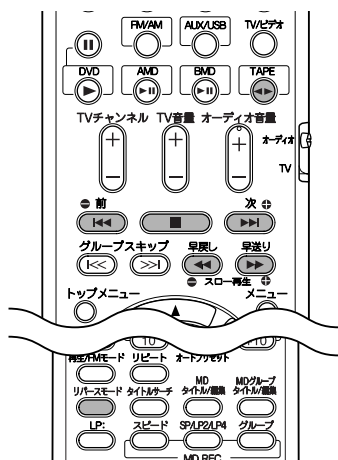
- 曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、自動停止します。

演奏を停止する

■(停止)を押すと、タイトルサーチまたは演奏が停止します。

次の曲を探すには

▶▶| を押すと、「SEARCH」と表示され次の曲のタイトルサーチが始まります。曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが終了します。

テープを聞く

ご注意

- テープにたるみがあると、機械内部に巻き込まれたり故障の原因となります。ご使用の前にたるみを取り除いてください(➡**103**ページ参照)。
- C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。長い時間の録音または再生に便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。

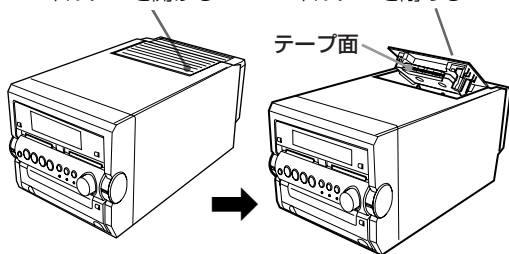
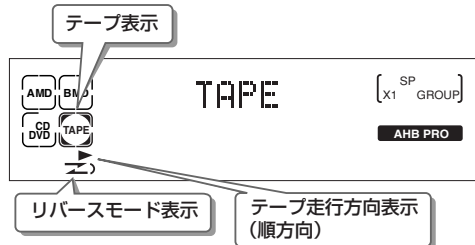
お知らせ

- 本機は、ノーマルテープ(TYPE I)の再生に対応しています。ハイポジションテープ(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)は、特性が異なるためお勧めできません。再生すると音質が変わります。

1 カセットホルダーの ▲(テープ取り出し)部分を押して開け、テープを入れる

A面を上にし、テープの見える面を手前にして入れます。

▲(テープ取り出し)部分を押してカセットホルダーを開ける

▲(テープ取り出し)部分を押してカセットホルダーを閉める

- C-90(90分)以下の長さのテープをご使用ください。
- カセットホルダーを閉めるときは、「カチッ」と音がするまで確実に押して閉めてください。

2 リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

押すごとに、表示窓のリバースモード表示は次のように切換わります。

- ⇄⊃ : A面(おもて面)からB面(うら面)への**往復再生**
- ⊂⇄⊃ : AB両面の**連続再生**(再生を停止するまでくり返し)
- ⇄ : A面(おもて面)、またはB面(うら面)のみの**片道再生**

カセットホルダーを開けるとリバースモードは ⇄⊃ に戻ります。

3 TAPE ◄► (本体は TAPE)を押す

テープの再生が始まります。

- TAPE ◄ ► を押すごとに、テープの走行方向が変わります。テープを入れた最初は、必ず**順方向(おもて面…A面)**から走行します。
- テープのA面再生中は右向きのテープ走行方向表示(►)が、テープのB面再生中は左向きのテープ走行方向表示(◄)が表示されます。
- ⇄ または ⇄⊃ で再生した場合、テープが巻き終わると自動停止します。

他の機器の音声を聞く

テープ表示について

カセットホルダーにテープを入れて閉めると、表示窓のテープ表示が点灯します。

- 再生中は再生をイメージした表示に変わり、早送り/巻き戻し中は速い回転をイメージした表示に変わります。

再生を停止する

■（停止）を押します。
カセットホルダーを開けてテープを取り出すときは、必ず■（停止）を押して再生を止めてからカセットホルダーの ▲ **（テープ取り出し）**を押します。

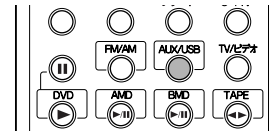
テープを早送り/巻き戻しする

▶▶(または◀◀)を押します。
- 順方向(▶)の再生中は、▶▶ が早送り、◀◀ が巻き戻しになります。
- 逆方向(◀)の再生中は、◀◀ が早送り、▶▶ が巻き戻しになります。
- 本体またはリモコンの▶▶I(またはI◀◀)でも同様の操作ができます。

再生中に時計やMDの録音残量表示を見るには

表示/文字を押します。時計表示に切換わります。
MDが入っているときは、**表示/文字**を押すごとに、MDの録音残量表示➡時計表示と切換わります。
もう一度押すと、再生中の表示に戻ります。

本機背面の AUX 端子、光デジタル入力に接続した他の機器の音声、本機前面の USB AUDIO 端子に接続したパソコンからの音声を楽しむことができます。
- ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

USB AUDIO 端子を使って初めてパソコンとつないだときは、最初にパソコンで設定をしてください（➡60ページ「パソコンの音声を聞く前の準備」参照）。
すでにパソコンで設定されているときは、次の手順で操作してください。

1 AUX/USB ◯ **を押して「AUX」、「AUX-DIGITAL」、「USB」のいずれかを選ぶ**

ボタンを押すごとに次のように切換わります。

- 本体のときは、**FM/AM/AUX/USB**をくり返し押して、上記のいずれかを選びます。

2 **他の機器の再生を始める**

- 詳しくは接続したl機器の取扱説明書をご覧ください。

3 **音量などを調節する**

（➡23〜24ページ「基本操作」参照）

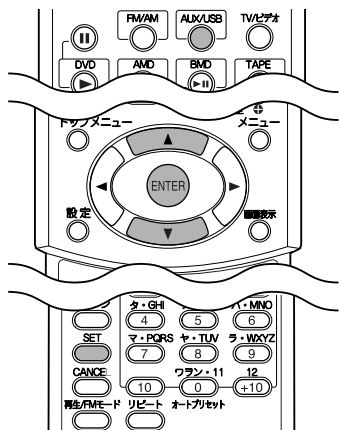
時計やMDの録音残量表示を見るには

表示/文字を押します。時計表示に切換わります。
もう一度押すとソース（音源）表示に戻ります。

ご注意

- **本機のUSB AUDIO端子に接続したパソコンからの音声は、本機のB MDで録音することはできません。**
- **パソコンからの音声が出ているときは、USBケーブルを抜いたり、本機の電源を「切」にしないでください。**

他の機器の音声を聞く（つづき）

他の機器の音声入力レベルを調節する

• AUX と AUX-DIGITAL の音声入力レベルを調節することができます。

AUX の音声入力レベルを調節する

1 **を押して「AUX」を選ぶ**

2 入力レベルが表示されるまで SET を押し続け、レベルを選ぶ

押し続けるごとに次のように切換わります。

LEVEL1： AUXの音声**入力レベルが大きいときに選びます。**音声入力が小さくなります。（お買い上げ時の設定）

↕

LEVEL2： AUXの音声**入力レベルが小さいときに選びます。**音声入力が大きくなります。

• レベルの表示は、約2秒で消えます。

AUX-DIGITAL の音声入力レベルを調節する

1 AUX/USB を押して「AUX-DIGITAL」を選ぶ

2 入力レベルが表示されるまで SET を押し続ける

3 カーソル ▲ または ▼ を押してレベルを調節し、ENTER を押す

−12dB〜0〜＋12dB（2dB単位）の範囲で調節できます（お買い上げ時は0dBに設定されています）。これをデジタルRECレベルコントロールといいます。

パソコンの音声を聞く前の準備

本体前面の USB AUDIO 端子を使って初めてパソコンとつないだときだけ、ドライバーのインストールが必要です。

本機で音声が聞けるパソコンは…

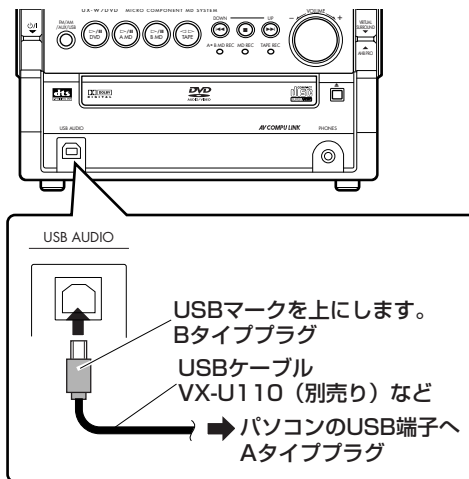
• USB端子を持ち、CPUがIntel MMX®Pentium® 166MHz以上。Microsoft社のWindows® 98、Windows®Me、Windows®2000、Windows®XP Home Edition、Windows®XP Professionalの日本語版がプリインストールされていて、正常に動作するパソコン。

本機と接続する前に次のことを確認してください。

• BIOSの設定で、USB機能が「使用する」に、USB IRQが「AUTO」または使用可能なIRQ番号に設定されている。

必要条件を満たすパソコンであっても、パソコン固有の仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機が正常に動作しなかったり、正しい音質で再生されない場合があります。

• MMX ®、Pentium ® はIntel Corporationの登録商標です。
• Microsoft、Windows®98、Windows® Me、Windows® 2000は、米国Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

パソコンとの接続のしかた

ドライバーをインストールする前に

パソコンによっては、ドライバーのインストールにWindows®のシステムディスクが必要な場合があります。

ドライバーのインストール

1. 本機のソース（音源）を USB にする

2. パソコンの電源を入れ、起動する

3. USB ケーブルで本機とパソコンを接続する

必要なデバイスが自動的にインストールされます。

- オペレーティングシステムによっては、ウィザードで[次へ]のクリックが必要な場合があります。特に問題がないときは、[次へ]をクリックしていきます。[次へ]がクリックできないとき、またはパソコンのウィンドウに指示が出ているときは、その指示に従った操作をしてください。

以上でドライバーのインストールは終了です

正しくインストールできているか確認する

ここでは、Windows®XP で説明します。
「USB 複合デバイス」、「USB スピーカー」がインストールされていることを確認します。

- 他の Windows® のオペレーションシステムでは、「USB オーディオデバイス」、「USB 互換デバイス」になります。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[ハードウェア]→[デバイスマネージャ]を開く

2. 各項目の「+」をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する

- 「USB コントローラ」項目の中に「USB 複合デバイス」がある
- 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」項目の中に「USB スピーカー」がある

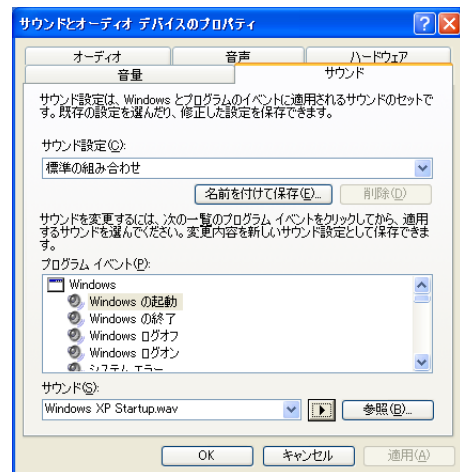
インストールされた 2 種類の USB デバイスは、本機の電源が「入」でパソコンに接続しているとき、「デバイスマネージャ」に現れます。

パソコンからの音声信号が再生されるか確認する

ここでは、Windows®XP で説明します。

1. 本機の音量を適当な音量に合わせる

2. パソコンで、[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]→[サウンド]を開く

3. 「Windows の起動」を選んでから ►（再生）ボタンをクリックする

本機から「Windows の起動」が聞こえてきます。
聞こえないときは、**99** ページをご覧ください。

パソコンが本機を検出しないときは

数秒間待っても本機が検出されないときは、USB ケーブルをもう一度接続し直してください。それでも検出されないときは、パソコンを再起動してください。

録音する前に

録音にはB MDデッキを使います。（A MDデッキは、再生専用です。）

MDに録音するとき

B MDに録音できるソース（音源）

MDには、ディスク、A MD、ラジオ放送、テープ、接続した他の機器（AUX、AUX-DIGITAL）の音声が録音できます。

B MDでできる録音

ステレオ長時間録音（MDLP）

全てのソース（音源）の録音に使えます。

本機は、ステレオ長時間録音（MD**LP**）に対応しています。録音モード（SP：標準／LP2：2倍長／LP4：4倍長）のLP2またはLP4を使うと、ステレオ音声のまま2倍長または4倍長の長時間で録音できます。（➡**64**ページ「録音モードの設定」参照）

グループ録音

全てのソース（音源）の録音に使えます。

録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音します（お買い上げ時の設定）。

ステレオ長時間録音のとき、ディスクごとやアーティストごとに1つのグループにしておくと便利です。

- グループとして録音しない設定にすることもできます。（➡**64**ページ「グループ録音の設定」参照）

オーディオCDの4倍速録音

オーディオCDの音声を録音するときに使えます。

本機は、オーディオCDをB MDに等速/4倍速で録音することができます。

オーディオCDを従来の約1/4の時間で録音できます。（➡**65**、**66**ページ「ディスクの録音」参照）

A MDの2倍速録音

A MDの音声を録音するときに使えます。

本機は、A MDの音声をB MDに等速/2倍速で録音することができます。

従来の約1/2の時間で録音できます。（➡**67**ページ「A MDの録音」参照）

1トラック（1曲）録音

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD/DVDオーディオ/MP3ディスクとA MDの音声を録音するときに使えます。

演奏中の1トラック（1曲）だけを録音することができます。（➡**66**、**67**ページ参照）

シンクロ録音

ディスク、A MDまたはテープの音声を録音するときに使えます。

ディスク、A MDまたはテープの再生開始と同時にB MDの録音が開始します。

再生が終了すると録音も終了します。

サウンドシンクロ録音

接続した他の機器（AUXまたはAUX-DIGITAL）の音声を録音するときに使えます。

接続した他の機器（AUXまたはAUX-DIGITAL）からの音声信号に反応して録音を開始します。30秒音声が途切れると、録音を中止します。

トラックマークについて

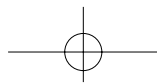
MDには、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。

- ディスクを録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。ただし、DVDビデオ/DVDオーディオの場合、正しくつかいないことがあります。
- ラジオ、テープ、接続した他の機器（AUX）の音を録音中は、トラックマークをつけたいところでリモコンの**SET**を押してトラックマークをつけます。
  - テープ、AUXのアナログソースの録音中は、無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。

録音をする前に

- 大切な録音の場合は、必ず等速で試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。（同じ曲の倍速録音は74分後になります）
- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。
- オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD/DVDオーディオの音声は、デジタル信号のまま録音されます。

  CD-R/RWの音声は、「**SCMS CANNOT COPY**」が表示されデジタル録音できません。このようなときは、「**CD-R/CD-RWディスクの録音**（➡**64**ページ参照）」をご覧になり、アナログ録音してください。

  DVDビデオ、MP3ディスク、テープおよびラジオ、AUXの音声はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。

- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して未録音部分の始まりから録音されます。

テープのように上書きで録音することはできません。
新たに録音し直すときは、ALL ERASE (➡**77**ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます(➡**71**～**73**ページ参照)。
- 録音中は、本機の音量·音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- MDの録音残量時間は、そのMDの録音に使われるMDモード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分の残量表示となります。

ご注意

- **MDの録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」の表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。**
- **ディスクを録音すると、リピート演奏のモードは解除されます。**

MDカートリッジのラベルについて
- **MDカートリッジのラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。**

HCMS(倍速録音での著作権保護)について

MDへの倍速録音では、著作権保護のため倍速(等速を超える)録音に関する規定があります(➡**100**ページ参照)。
- この規定により、オーディオCDから一度4倍速録音した曲またはA MDから一度2倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲(A MDの場合は、そのMD全曲)の再録音はできません。
- 74分が経過する前に同じ曲を録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。

テープに録音するとき

録音に使うテープ

録音にはノーマルテープ(TYPE I)を使います。他のテープは使えません。

テープに録音できるソース(音源)

テープには、ディスク、ラジオ放送、A MD、B MD、接続した他の機器(AUX、AUX-DIGITAL、USB)の音声が録音できます。

テープでできる録音

往復録音

全てのソース(音源)の音声を録音するときに使えます。
テープのリバースモードを往復(⊇)に設定すると、テープのおもて面からうら面に続けて録音することができます。

1曲(1トラック)録音

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD/DVDオーディオ/MP3ディスクまたはA MD/B MDの音声を録音するときに使えます。
演奏中の1曲(1トラック)だけを録音することができます。

シンクロ録音

ディスクまたはAMD/B MDの音声を録音するときに使えます。
ディスクまたはA MD/B MDの演奏開始と同時にテープの録音が開始します。
演奏が終了すると録音も終了します。

録音をする前に

- テープにたるみがあると機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に**103**ページの図のようにしてたるみを取り除いてください。
また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

ご注意

- **生演奏などで全体が1曲で録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE機能（➡75ページ参照）を使ってテープ片面の長さに合わせて2曲に分けてください。**
- **ディスクを録音すると、リピート演奏のモードは解除されます。**

録音する

MDに録音する

ステレオ長時間録音（MD**LP**）について

本機はステレオ音声のまま２倍または４倍の長時間録音（MD**LP**）に対応しています。
１枚のMDに違うモード(SP: 標準/LP2: ２倍長時間/LP4: ４倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。MDの録音残量表示は録音モードの設定に応じて変わります。

SP　：**標準のステレオ録音**
（MD80で最大80分の録音）
LP2 ：**2倍長時間録音(ステレオ)**
（MD80で最大160分の録音）
LP4 ：**4倍長時間録音(ステレオ)**
（MD80で最大320分の録音）
ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

お知らせ

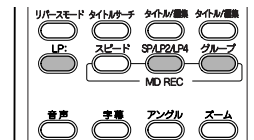
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPモードにしてください。

ご注意

- **本機でステレオ長時間録音された曲は、「MDLP」の再生に対応した機器以外では再生できません。曲タイトルの始めに「LP:」と表示され、無音状態になります。**
  「MDLP」に対応した機器で再生すると、「LP:」は表示されません。
  また、リモコンのLP：を押すと、「LP：」をつけない設定にすることもできます。
- **MDの編集をするとき、録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげる(JOIN)ことはできません。**

CD-R/CD-RWまたはDVDオーディオの録音

CD-R/RWまたはDVDオーディオの音声をB MDに録音するとき、MD RECを押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示され、デジタル録音ができないことがあります。
このようなときは、録音スピードを「X1」(等速)にし、MD RECを4秒以上押します。「ANALOG REC？」が表示されている間にもう一度MD RECを押して、アナログ録音で録音してください。

B MDに録音する前の設定

録音モードの設定

事前に録音するソース（音源）を選んでから、ステレオ長時間録音（MDLP）のモードを設定します。

SP/LP2/LP4 を押して録音モードを設定する

押すごとに録音モードが変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2倍長）（4倍長）

LP:の設定

ステレオ長時間録音された曲の頭の部分にLP：をつける／つけないの設定をします。

LP: を押して設定する

(LP：) OFF：曲タイトルの頭に**LP：**がつきません。
(LP：) ON：曲タイトルの頭に**LP：**がつきます。

グループ録音の設定

これから録音する曲や放送などを一つのグループとして登録するときMD GROUPの設定を「ON」にします。

グループ を押して設定する

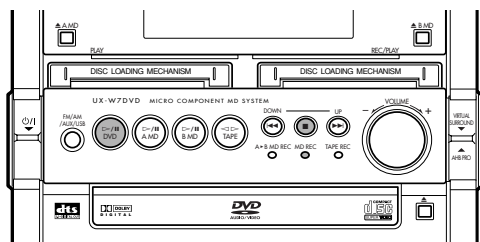
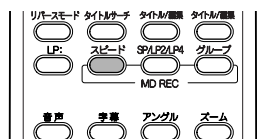
MD GROUP ON：グループとして録音します。MD録音状態表示のGROUPが点灯します。
MD GROUP OFF：グループとして録音しません。MD録音状態表示のGROUPは点灯しません。

MD録音状態表示について

録音モード表示（SP、LP2、LP 4）
SP LP24
X124 GROUP
録音スピード表示（X1、X2、X4）
GROUP録音表示

ディスクの録音(基本操作)

1枚のディスクをシンクロ録音します。
• 録音時のレベルは自動調節されます。

本　体

リモコン

1 ⏵/⏸DVD **を押してから ■ を押す**

ソース(音源)をDVDにし、停止状態にします。

• **DVDビデオ(音楽ソフトなど)の場合**
タイトル/チャプターを再生し、一時停止してから I◀◀ (またはI<<)を押して曲の先頭に戻します。
• ディスクによっては、正しく録音されないことがあります。

2 録音用のMDをB MDデッキに入れる

録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(「B MDに録音する前の設定」➡**64**ページ参照)。
• 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡**102**ページ参照)。

3 MD REC ○ **を押す**

ディスクとB MDの録音が始まり、B MD表示が BMD REC になります。

録音が終わると、「WRITING」と表示して自動的に終了します。
• B MDの録音残量時間がなくなると、自動停止します。

大切なお知らせ

ディスクを再生中に本体のMD RECを押すと、**1トラック(曲)録音**になり、再生中のトラック(曲)の録音が終了すると自動停止します。
ディスクの途中から録音するつもりで上記の操作をすると、再生中以降のトラック(曲)は録音されません。
このようなときは、ディスクの停止中に録音を開始するトラック(曲)を選んでからMD RECを押します。

お知らせ

• DVDビデオを録音中は、字幕言語、音声言語、アングル、ズームなどのDVDの操作、バーチャルサラウンドの切換えはできません。

途中で録音をやめる

■(停止)を押します。
• B MDとディスクが同時に停止し、「WRITING」と表示して録音が終了します。

指定したグループまたはトラック番号以降の録音

ディスクの停止中に指定します。

オーディオCD/ビデオCDのとき
▶▶I または I◀◀ でトラックを指定します。指定したトラック番号以降のトラックを録音します。

DVDオーディオ/MP3ディスクのとき
>>I または I<<でグループを指定します。指定したグループの最初のトラック以降のトラックを録音します。
▶▶I または I◀◀ でトラックを指定します。指定したトラック番号以降のトラックを録音します。
• **手順3**でMD RECを押す前に操作してください。

表示窓の表示内容を切換える

リモコンの**表示/文字**を押すごとに、録音中のディスクの情報(タイトル/チャプター番号、グループ/トラック番号など)や再生経過時間・B MDの録音残量時間、B MDの曲番号・グループ番号、現在時刻などに切換わります。

MDに録音する（つづき）

ディスクの録音(オーディオCDの４倍速録音/１トラック(曲)録音)/プログラム録音

オーディオCDの4倍速録音

1　65ページ「ディスクの録音(基本操作)」の手順1と2の操作をする

2　リモコンの スピード を押して録音スピードを選ぶ

押すごとに、次のように変わります。

X1 ⟷ X4
（等速）（4 倍速）

3　MD REC を押す

ディスクとB MDの録音が始まります。

お知らせ

- 4倍速録音中は、音声を聞くことはできません。
- 4倍速録音ではディスクを高速で回転させるため、オーディオCDの状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。
  このようなときは、等速で録音し直してください。
- 著作権保護のため、オーディオCDから一度4倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の再録音はできません(HCMS ➡63ページ参照)。

1トラック(曲)録音(再生中のトラックだけを録音する)

録音したいトラックの再生中(または一時停止中)に MD REC を押す

再生中のトラックの頭に戻り、そのトラックだけを録音してから、B MDとディスクが自動停止します。

お知らせ

- DVDビデオでは、1 トラック(曲)録音はできません。
  DVDビデオを再生中にMD RECを押すと、その場所からの録音になります。

プログラム録音

1　DVD を押してから ■ を押す

ソース(音源)をDVDにし、停止状態にします。

2　録音用のMDをB MDデッキに入れる

録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(「B MDに録音する前の設定」➡64ページ参照)。

- 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡102ページ参照)。

3　録音したいトラックをプログラムする(40ページ「プログラム再生」参照)。

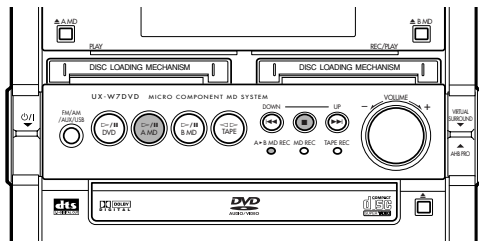
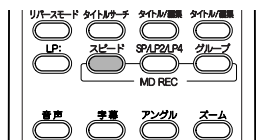
- DVD ► は押さないで停止状態のままにしておきます。
- オーディオCDをプログラム録音するときは、リモコンの**スピード**を押して録音スピードは「X1」(等速)を選んでください。
  「X4」(4倍速)を選んで録音を開始すると「CANNOT REC x1 REC ONLY」と表示され、録音されません。

4　MD REC を押す

ディスクとB MDの録音が始まります。

A MDの録音

A MDの音声ををB MDにシンクロ録音をします(アナログ録音)。2倍速で録音することもできます。
- 録音レベルは自動調節されます。

本　体

リモコン

1 **(A MD ▷/II) を押してから (■) を押す**

ソース(音源)をA MDにし、停止状態にします。

2 **録音用のMDをB MDデッキに入れる**

録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(「B MDに録音する前の設定」➡**64**ページ参照)。
- 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡**102**ページ参照)。

3 **リモコンの(スピード)を押して録音スピードを選ぶ**

押すごとに、次のように変わります。

x1 ⟷ x2
(等速)　(2倍速)

- 2倍速録音中は、音声を聞くことはできません。

4 **(A▶B MD REC) を押す**

A MDからB MDへの録音が始まり、B MD表示が (BMD A→B REC) になります。

録音が終わると、「WRITING」と表示して自動的に終了します。
- B MDの録音残量時間がなくなると、自動停止します。

大切なお知らせ

A MD を演奏中に本体の **A ► B MD REC** を押すと、**1曲録音**になり、演奏中の曲の録音が終了すると自動停止します。
A MD の途中から録音するつもりで上記の操作をすると、演奏中以降の曲は録音されません。
このようなときは、A MD の停止中に録音を開始する曲を選んでから **A ► B MD REC** を押します。

お知らせ

- 曲タイトルは、録音と同時にB MDにコピーされます。ディスクタイトルは、B MDがブランクディスクで録音するときに限り、録音と同時にコピーされます。
- 著作権保護のため、A MDから一度2倍速録音したMDは、そのMDの録音開始から74分が経過しないと、そのMDの再録音はできません(**HCMS➡63**ページ参照)。

途中で録音をやめる

■(停止)を押します。
- B MDとA MDが同時に停止し、「WRITING」と表示して録音が終了します。

►►I または I◄◄ で曲番号を指定して録音する

指定した曲番号以降の曲を録音します。
- **手順4**で**A ► B MD REC**を押す前に操作してください。

プログラム録音

はじめに、A MDで録音したい曲をプログラムします(➡**53**ページ「MDのプログラム演奏」参照)。
A MD ►II は押さないでおきます。次に**手順2**〜**4**の操作をします。
- プログラムの中に同じ曲が入っているときは、等速で録音してください。2倍速で録音すると、倍速録音の規定により録音が途中で停止します。

A MD ➡ B MD録音中にディスクを楽しむ

A MDの音声をB MDに録音中、**DVD ►**(または本体の**DVD ▷/II**)を押してDVDやCDなどのディスクを再生することができます。

1曲録音(演奏中の曲だけを録音する)

録音したい曲を演奏中に**A ► B MD REC**を押します。曲の頭に戻り、その曲だけを録音してから、B MDとA MDが自動停止します。

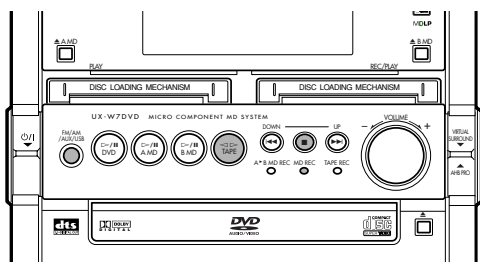
表示窓の表示内容を切換える

リモコンの**表示/文字**を押すごとに、録音中のA MDの曲番号や演奏経過時間・B MDの録音残量時間、B MDの曲番号・グループ番号、現在時刻などに切換わります。

MDに録音する（つづき）

ラジオ放送やテープ、他の機器の音声の録音

テープのシンクロ録音や他の機器からのサウンドシンクロ録音ができます。

- 録音レベルは自動調節されます。

ご注意

- **接続する外部機器や再生する音量によっては、うまく録音できないことがあります。そのようなときは、外部機器側の出力レベル設定などをし直してください。**

お知らせ

- サウンドシンクロ録音では、ソース（音源）の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。
  また、ソース（音源）の音が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了したMDの空白時間は約2秒になります。

1 録音するソース（音源）を選ぶ

ソース（音源）	操　作
ラジオ放送	FM/AM/AUX/USB（リモコンはFM/AM）を押してFMまたはAMを選んでから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
テープ再生（TAPE）	再生するテープを入れ、TAPE ◁ ▷ を押してから ■（停止）を押す。そのあとリモコンの**リバースモード**を押してリバースモードを選ぶ。
他の機器の音声（AUXまたはAUX-DIGITAL）	FM/AM/AUX/USB（リモコンはAUX/USB）を押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます（➡**60**ページ参照）。

2 録音用のMDを入れる

録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます（「B MDに録音する前の設定」➡**64**ページ参照）。

- 誤消去防止つまみを閉じておきます（➡**102**ページ参照）。

3 MD REC ○ を押す

録音が始まり、B MD表示が BMD REC になります。

- テープ再生の場合、録音開始に合わせてテープ再生もスタートします（**シンクロ録音**）。
- 他の機器からの録音の場合、「**AUX➡B MD**」または「**AUX-D➡B MD**」と録音モードが表示されるのを待って、接続した機器の演奏を始めます。音声が入力されると、録音が自動的に始まります（**サウンドシンクロ録音**）。
  また、**B MD ▶/II** を押して録音を始めることもできます。

トラックマーク（曲番号）をつける

AUX-DIGITAL以外の場合、録音中に曲の変わり目などで**SET**を押します。
また、録音中に無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
録音が終わったあとでもMDの編集機能（➡**75**ページ「曲を分ける（DIVIDE）」参照）でトラックマークをつけることができます。MD全体を1曲として録音したときなど、あとから「分ける・一部消去する」などの編集機能をお使いください。

途中で録音をやめる

■（停止）を押します。

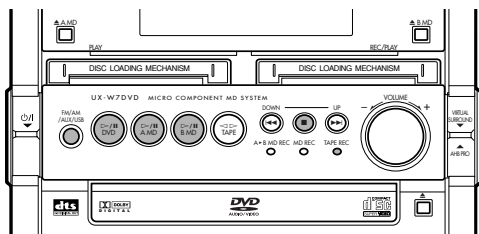
- 「WRITING」と表示して録音が終了します。

表示窓の表示内容を切換える

リモコンの**表示/文字**を押すごとに、録音中のソース（音源）名とB MDの録音残量時間、B MDの曲番号・グループ番号、現在時刻などに切換わります。

テープに録音する

CDまたはMDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する１曲録音ができます。

- 曲間に4秒のあき(ブランク)を作って録音されます。録音レベルは自動調節されます。
- **録音にはノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。ハイポジションテープやメタルテープは使えません。**

1 録音用のテープを入れる

- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。
- リーダーテープの部分は巻き取っておきます(➡**103**ページ参照)。
- 途中まで録音した位置で止まっているテープを入れると、その位置から録音されます。

2 リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

- ⇄ ：片面のみ録音するとき
- ⇄⊃ ：A面(おもて面)からB面(うら面)へ往復録音するとき

3 録音するソース(音源)を選ぶ

- ディスクやMDは停止状態にしておきます。

ソース(音源)	操　作
DVD	DVD ▷/IIを押してから ■(停止)を押します。(➡**65**ページ**手順1**参照)
A MD	A MD ▷/IIを押してから ■(停止)を押します。
B MD	B MD ▷/IIを押してから ■(停止)を押します。
ラジオ放送	FM/AM/AUX/USB(リモコンはFM/AM)を押してFMまたはAMを選んでから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
他の機器の音声(AUXまたはAUX-DIGITAL、USB)	FM/AM/AUX/USB(リモコンはAUX/USB)を押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。 あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます(➡**60**ページ参照)。

大切なお知らせ

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD/DVDオーディオ/MP3ディスク、A MD、B MDを演奏中に本体のTAPE RECを押すと、**1曲録音**になり、演奏中のトラック(曲)の録音が終了すると自動停止します。
途中のトラック(曲)から録音したいときは、オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD/DVDオーディオ/MP3ディスク、A MD、B MDの停止中に録音を開始するトラック(曲)を選んでからTAPE RECを押します。

4 TAPE REC を押す

録音が始まり、テープ表示が TAPE REC になります。

- ソース(音源)が他の機器の音声のときは、接続した機器の演奏を始めます。
- ソース(音源)がディスクまたはAMD、B MDの場合、シンクロ録音機能によりディスクまたはA MD、B MDの演奏が自動で始まり、終わるとテープも自動停止します。
- 録音中にディスクまたはA MD、B MDの一時停止や早送り/早戻しの操作はできません。

途中で録音をやめる

■(停止)を押します。

- 録音の一時停止はできません。もう一度、操作をやり直してください。

曲の途中でテープのうら面に反転する

ソース(音源)がオーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDまたはDVDオーディオ、MP3ディスク、A MD、B MDのとき、録音中に曲の途中でA面(おもて面)からB面(うら面)に反転すると、そのトラック(曲)はもう一度頭からB面(うら面)に録音されます。ただし、A面への録音時間が**12秒以下**のときは、そのひとつ前のトラック(曲)の頭からB面(うら面)に録音されます。

70ページへ続く

テープに録音する（つづき）

指定したグループまたはトラック(曲)番号以降の録音

ディスクの音声を録音するとき
「ディスクの録音」の「指定したグループまたはトラック番号以降の録音」（➡**65**ページ）を参照ください。

A MDまたはB MDの音声を録音するとき
▶▶I または I◀◀ で曲を指定します。指定した番号以降の曲を録音します。

- **69**ページ**手順4**で **TAPE REC**を押す前に操作してください。

1トラック(曲)録音(演奏中のトラックだけを録音する)

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDまたはDVDオーディオ、MP3ディスク、A MD、B MDのとき、録音したいトラック（曲）の演奏中に**TAPE REC**を押します。

演奏中のトラック（曲）の頭に戻り、そのトラック（曲）だけを録音して、テープとディスクまたはA MD、B MDが自動停止します。

あき(ブランク)を作らずに録音する

ディスクまたはA MD、B MDを一時停止状態にしてから**TAPE REC**を押します。

プログラム録音をする

はじめにプログラム再生の操作をしておきます(ディスクのとき：➡**40**ページ「プログラム再生」参照、A MDまたはB MDのとき：➡**53**ページ「MDのプログラム演奏」参照)。
DVD ▶ 、**A MD ▶II** 、**B MD ▶II**は押さないでおきます。
次に、**TAPE REC**を押します。

録音済みのテープの音を消す

69ページの**手順3**でソース（音源）に「他の機器の音声（AUX）」を選び、**TAPE REC**を押します。録音済みのテープの音が消去され、無音テープになります。この場合、接続した機器は演奏しないでください。

ご注意

- **生演奏などで全体が1曲で録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE機能（➡75ページ参照）を使ってテープ片面の長さに合わせて２曲に分けてください。**

タイトルをつける

リモコンを使って、MD にディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。
• B MD デッキを使ってリモコンで操作します。

タイトル編集について

• タイトルは、**カタカナ**、**英大文字/英小文字**、**記号**、**数字**を使って**最大61文字まで**つけることができます。

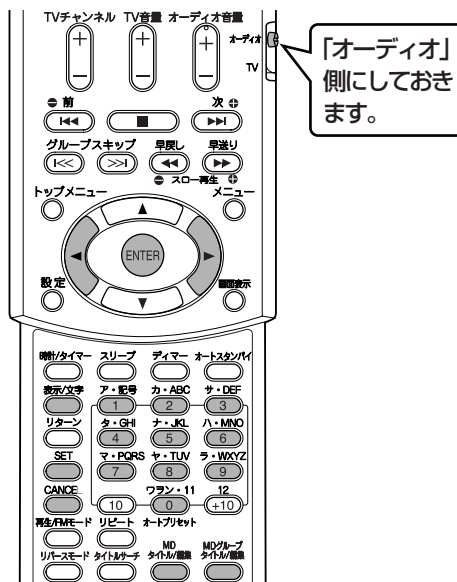
MDに入力できる文字数について

1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字·記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。

ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭にLP: とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

例: • ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
• ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

• オーディオCDの録音中は、16曲分のタイトルを前もって入力できます(**タイトルリザーブ機能**)。
ただし、録音する曲より多くのタイトルを入力すると、余ったタイトルは取り消されます。
• タイトル入力の操作をしたあとで▲ B MDを押すと、MDが出てくる前に「WRITING」が点滅し、編集した内容がMDに記録されます。
「WRITING」が点滅している間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
• 操作の途中で**MDタイトル/編集**または**MDグループタイトル/編集**を押すとタイトル入力はいつでも解除することができます。
• 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると「PLAYBACK DISC」と表示されます。
• 誤消去防止状態になっているMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
• B MDがプログラム演奏またはランダム演奏のモードのとき、**MDタイトル/編集**または**MDグループタイトル/編集**を押してもタイトル入力はできません。
• 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

1　B MDデッキにMDを入れる

• 誤消去防止つまみを閉じておきます。
(➡**102**ページ参照)

2　MD タイトル/編集 または MDグループ タイトル/編集 を押してタイトル編集モードに切り換える

ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

MD タイトル/編集 **を押す**

タイトル編集表示に切換わります。

DISC TITLE?
YES?→SET

グループタイトルを編集するとき

MDグループ タイトル/編集 **を2回押す**

グループタイトル編集表示に切換わります。

GR 1 TITLE?
YES?→SET

• グループ分けされていないときは、「FORM GR」表示になります。

72ページへ続く

3 カーソル ▶（または ◀）を押してタイトルをつけるディスク、曲またはグループを選ぶ

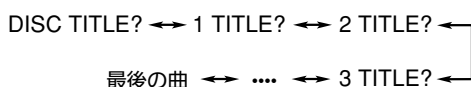
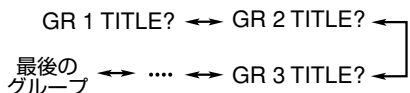
ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

押すごとに次のように切換わります。

DISC TITLE? ↔ 1 TITLE? ↔ 2 TITLE? ↔ 3 TITLE? ↔ …. ↔ 最後の曲

グループタイトルを編集するとき

押すごとに次のように切換わります。

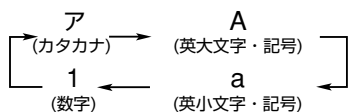
GR 1 TITLE? ↔ GR 2 TITLE? ↔ GR 3 TITLE? ↔ …. ↔ 最後のグループ

MDの再生中またはタイトルをつけたい曲で停止中のときは、その曲の曲タイトル、またはその曲が含まれるグループのタイトル編集表示になります。
すでにタイトルが入力されているときは、そのタイトルの修正、追加、削除ができます。

4 SET を押す

タイトル入力表示に切換わります。

- タイトルが入力されているときは、入力位置にタイトルが表示されます。

5 表示/文字 を押して入力文字を変更する

押すごとに次のように文字の種類が切換わります。

入力したい文字は**73**ページの「**文字配列表**」で確認してください。

6 タイトルを入力する

数字ボタンを使って、1文字ずつ入力していきます。1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、文字ごとに、そのボタンをくり返し押して表示させます。

例:「ス」と入力するなら、

1) **表示/文字**を押して、「ア」を[ ]で囲います。これで入力文字が「カタカナ」になります。
2) **数字ボタン「3」**を押すと、入力位置に「サ」と表示されます。
3) **数字ボタン「3」**をくり返し押すと、「**シ➡ス➡セ➡ソ➡サ**…」と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

手順5と手順6をくり返して好きなタイトルを入力してください。タイトルは61文字までつけられます。

文字の入力位置を移動させるには

カーソル ▶（または ◀）を押します。右(または左)に1文字分ずつ移動します。入力位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に1文字分移動します。

文字を訂正するときは

訂正したい文字に入力位置を移動させてCANCEL を押します。入力位置の文字が消去されます。右側に文字があるときは左に1文字分つまります。

「空白」をつくるには

カーソル ▶ で入力位置を右に移動させるか、文字種を[A]または[a]にして「記号」からスペース(空白)を選びます。

- 「ウエ」「NO」のように、**同じボタンを使う入力が連続するとき**は、**カーソル ▶** を押して、文字の入力位置を右に1文字分移動させてから入力します。

途中でタイトル入力をやめるには

MDタイトル/編集または**MDグループタイトル/編集**を押します。入力途中のタイトルは変更されません。通常モードに戻ります。

7 ENTER を押してタイトルを登録する

表示窓に「EDITING」が表示され、タイトルが登録されます。

- 次のタイトル編集表示が現われます。SETを押すと、引き続きタイトル入力を行うこともできます。演奏中は次の曲または次のグループの演奏になります。
- 演奏中は、ENTERを押すまで曲(またはグループ)がくり返し演奏されます。

8 CANCEL を押してタイトル入力を終了する

通常のモードに戻ります。

- **MDタイトル/編集**または**MDグループタイトル/編集**をくり返し押して、通常のモードに戻すこともできます。

9 編集内容をMDに記録する

- **本体の≜ BMDを押してMDを取り出します。** MDが出てくる前に「WRITING」表示が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

● 文字配列表

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン・11 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊「記号」で表示できる内容

□スペース(空白)			!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+
,	–	.	／	:	;	<	=	>	?	@	_	`	

- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入力することができません。

録音中のタイトル入力について

- **MDタイトル/編集**を押したときの曲、または**カーソル ▶**（または ◀）で選んだ曲にタイトルをつけます。
  MDグループタイトル/編集を押したときのグループにタイトルをつけます。
- オーディオCDの録音中（1曲録音は除く）は、16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することができます(**タイトルリザーブ機能**)。
- 録音が終了するまでにENTERが押されなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

MDを編集する

曲を編集する

曲(トラック)編集とは

- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を削除する」、「全曲を削除する」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- B MDがプログラム演奏またはランダム演奏のモードになっているときは、**MDタイトル/編集**を押しても編集のモードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
  「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたは**MDタイトル/編集**を押すと、編集操作を中止することができます。

MDタイトル/編集を押すごとに、「DISC TITLE？」に続いて「FORM GR」(➡**79**ページ参照)と次の5つの機能が呼び出されます。

• 停止中または再生中に、B MDデッキを使ってリモコンで操作します。

曲を分ける (DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。

曲をつなげる (JOIN)

トラックマークを削除して、1つ前の曲と1つにまとめます。

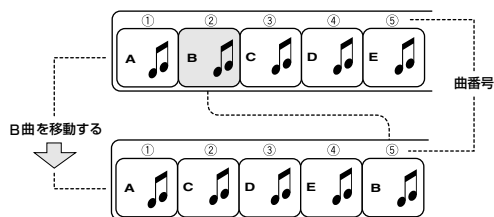
曲を移動する (MOVE)

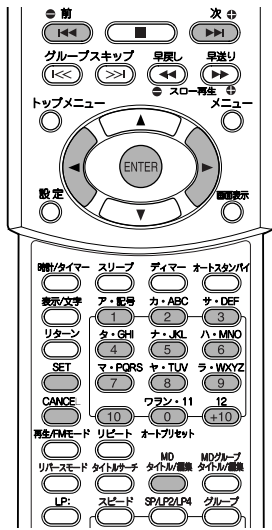
好きな順番に曲を入れ換えます。

曲を削除する (ERASE)

不要な曲やナレーションなど、削除したい曲を一度に15曲まで指定して削除することができます。曲番号があらたにふり直されます。

全曲を削除する (ALL ERASE)

全部の曲をすべて消去して、ブランクディスクにします。

お知らせ

- **トラックマークとは**
  曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、再生順に番号表示されます。これが曲番号(**トラックナンバー**)です。

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。
メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。
編集するMDをB MDデッキに挿入しておきます。

1 **MD タイトル/編集 をくり返し押して「DIVIDE?」を選ぶ**

DIVIDE ?
YES?→SET

2 **SET を押す**

MDが停止中のときは、1曲目の再生が始まります。
再生中のときは、再生が継続します。

3 **次 ▶▶I (または 前 I◀◀)を押して編集したい曲を選ぶ**

- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 再生中に ▶▶I を押し続けると、早送りできます。分けたいところを探すときに便利です。

4 **曲を分けたいところで SET を押す**

押したところから3秒間がくり返し再生されます。

POSIT. 0
OK?→SET

- 希望どおりに分けられたときは、**手順6**に進みます。
- 分けたいところをやり直すときは、**CANCEL**を押します。
- 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、**手順5**へ進みます。分ける場所が微調節できます。

5 **次 ▶▶I (または 前 I◀◀)を押して微調節する**

±128ポジション(SP:標準モードで約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。
トラックマークが少しずつ移動し、移動したところから3秒後までがくり返し再生されます。

- **カーソル ▶**(または◀)を押して微調節することもできます。
- 分けたいところをやり直すときは、**CANCEL**を押します。

6 **SET を押す**

- 途中でやめるときは、**MDタイトル/編集**を押します。

7 **ENTER を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「曲をつなげる(JOIN)」(➡**76** ページ参照)の操作をします。

曲を分けることができないMD

254曲録音してあるMDなどは、**手順4**で**SET**を押すと「**DISC FULL**」が表示されます。

曲を編集する（つづき）

曲をつなげる(JOIN)

不要なトラックマークを取り除いて、連続する２曲を１曲にまとめることができます。
JOIN をすると曲番号はつけ直されます。
編集するＭＤをＢ MD デッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD タイトル/編集 **をくり返し押して「JOIN?」を選ぶ**

JOIN ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 次 ⊕ ▶▶I （または ⊖ 前 I◀◀ ）**を押してつなぎたい2つの曲を選ぶ**

1+ 2 ?
OK?→SET

表示は「1+2？」「2+3？」のように次々と変わっていきます。
- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 SET **を押す**

- つなげる曲を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、ＭＤタイトル/編集を押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「曲を分ける（DIVIDE)」（➡75 ページ参照）の操作をします。

つなげることができない曲またはMD

- 録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」が表示されます。
- １曲しか録音されていない MD などは、曲をつなげることができません。

曲を移動する(MOVE)

1つの曲を指定したところへ移動させます。
編集するＭＤをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD タイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE?」を選ぶ**

MOVE ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 次 ⊕ ▶▶I （または ⊖ 前 I◀◀ ）**を押して移動したい曲番号を選び、** SET **を押す**

表示は「 ← 2？」「 ← 3？」のように変わります。
- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 曲番号を選び直すときは、CANCELを押します。

4 次 ⊕ ▶▶I （または ⊖ 前 I◀◀ ）**を押して移動先の曲番号を選び、** SET **を押す**

7← 2 ?
OK?→SET

- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 移動先の曲がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。
- 移動先番号を選び直すときは、CANCELを押します。**手順3**に戻ります。
- 途中でやめるときは、ＭＤタイトル/編集を押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

曲の移動ができないMD

１曲しか録音されていない MD などは、曲の移動ができません。

曲を削除する(ERASE)

指定した曲を削除します。最大15曲まで1回の操作で削除することができます。
曲番号は付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD タイトル/編集 **をくり返し押して「ERASE?」を選ぶ**

ERASE?
YES?→SET

2 SET **を押す**

1 ERASE?
ERASE?→SET

3 次 ⊕ ▶▶I **(または** ⊖ 前 I◀◀ **)を押して消したい曲番号を選ぶ**

表示窓に消したい曲の曲番号が表示されます。
- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 SET **を押す**

曲番号の前に「✓」がつきます。「✓」のついている曲が消えます。
- 間違えたときは、**CANCEL**を押して「✓」を消します。
- **手順3**と**手順4**をくり返すと15曲まで選ぶことができます。
  16曲目は選ぶことはできません。

5 ENTER **を押す**

- やりなおすときは、**CANCEL**を押します。
- 途中でやめるときは、**MDタイトル/編集**を押します。

6 ENTER **を押す**

指定した曲が削除されます。
「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

MD に録音されている曲をすべて消去してブランクディスクにします。
編集するMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD タイトル/編集 **をくり返し押して「ALL ERASE?」を選ぶ**

ALL ERASE?
YES?→SET

2 SET **を押す**

- 途中でやめるときは、**CANCEL**を押します。

3 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、その後、「BLANK DISC」と表示されます。

ご注意

- **一度消去した曲は、もどすことができません。大切な録音の入った MD は、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください（➡102 ページ参照）。**

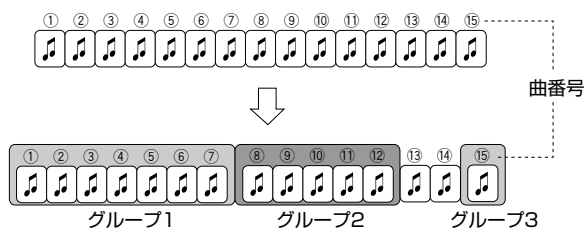
MDをグループ編集する

本機にはMDの新しい機能、グループ機能があります。ここでは、グループとその編集について説明します。

MDのグループ機能とは

ステレオ長時間録音（**MDLP**）によって１枚のMDに、今までよりも多くの曲（トラック）が録音できるようになりました。
MDのグループ機能は、曲（トラック）を最大99のグループに分けて登録することで、管理をより便利にするためのものです。

曲番号

グループ1　グループ2　グループ3

グループは、1曲（トラック）でも設定できます。また、連続する曲（トラック）をグループとして登録することができます。
MDのグループ機能には、次のものがあります。

- **グループ演奏**：1つのグループの曲（トラック）だけを演奏します（➡**55**ページ参照）。
  リピート演奏もできます。
- **グループ録音**：録音と同時に、複数の曲（トラック）をまとめて1つのグループとして登録できます（➡**62**ページ参照）。
- **グループタイトル**：ディスクや曲（トラック）と同じように、グループにもタイトルをつけたり編集したりすることができます（➡**71**ページ参照）。
- **グループ編集**：右の項目をご覧ください。

MDのグループ編集

MDのグループ編集には次の8つの機能があります。これらの機能は、**MDグループタイトル/編集**を押すごとに、「GR 1 TITLE？」に続いて呼び出されます。

これらの機能を組み合わせて使うこともできます。

- **「グループをつくる(FORM GR)」:**
  グループに属していない曲（トラック）から新しいグループを作ります。左の図で、13曲目と14曲目から4つめのグループを作ることです（➡**79**ページ参照）。
- **「グループに登録する(ENTRY GR)」:**
  曲をすでにあるグループに登録します。左の図で、13曲目をグループ2に登録することです（➡**80**ページ参照）。
- **「グループを分ける(DIVIDE GR)」:**
  1つのグループを2つに分けます。左の図で、グループ１を2つに分けてグループ総数を4にすることです（➡**80**ページ参照）。
- **「グループをつなげる(JOIN GR)」:**
  2つのグループをまとめて1つにします。左の図で、グループ１とグループ2を1つのグループにまとめることです（➡**81**ページ参照）。
- **「グループを移動する(MOVE GR)」:**
  グループの移動をします。左の図で、グループ2をグループ1の前に移動させることです（➡**81**ページ参照）。
- **「グループを解消する(UNGROUP)」:**
  1つのグループを解消します。曲（トラック）の削除はしません（➡**82**ページ参照）。
- **「全グループを解消する(UNGR ALL)」:**
  すべてのグループを解消して、グループのない状態にします。曲（トラック）の削除はしません（➡**82**ページ参照）。
- **「グループを削除する(ERASE GR)」:**
  グループと共にグループ内のすべての曲（トラック）を削除します。左の図で、グループ2を削除すると、8曲目から12曲目までが削除されます（➡**82**ページ参照）。
- **「全曲を消す(ALL ERASE)」:**
  グループと曲のすべてが消せます（➡**77**ページ参照）。

グループをつくる(FORM GR)

どのグループにも登録されていない連続した曲から新しいグループをつくります。1曲でもグループにすることができます。
編集するMDをB MDデッキに挿入します。

1 **MDグループタイトル/編集 または MDタイトル/編集 をくり返し押して「FORM GR?」を選ぶ**

FORM GR ?
YES?→SET

2 **SET を押す**

3 **次 ⊕ (または ⊖ 前)を押して新しいグループの先頭の曲を選び、SET を押す**

- 再生中は、選んだ番号の曲がくり返し再生されます。
- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。

💡 **お知らせ**

- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- B MDがプログラム演奏またはランダム演奏のモードになっているときに、**MDグループタイトル/編集**を押しても編集モードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。

4 **次 ⊕ (または ⊖ 前)を押して新しいグループの最後の曲を選び、SET を押す**

最後の曲

T 13 →T 14?
OK?→SET

- 再生中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM!」と表示され、次の手順に進めません。
- やり直すときは、CANCELを押します。**手順3**に戻ります。
- 途中でやめるときは、**MDグループタイトル/編集**を押します。

5 **ENTER を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループを解消する」(➡**82**ページ参照)の操作をします。

MDをグループ編集する（つづき）

グループに登録する(ENTRY GR)

曲を１つ選び、指定したグループの最後の曲として登録します。**登録したいグループにすでに登録されている曲は、登録できません。**
編集するMDをB MDデッキに挿入します。

1 **MDグループタイトル/編集 をくり返し押して「ENTRY GR?」を選ぶ**

ENTRY GR ?
YES?→SET

2 **SET を押す**

3 **次 ⊕ (または ⊖ 前)を押してグループに登録する曲を選び、SET を押す**

TR. 13?
OK?→SET

- 再生中は、選んだ番号の曲がくり返し再生されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 **>>I (または I<<)を押して登録先のグループを選び、SET を押す**

選んだグループ番号が点滅表示されます。

- 再生中は、選ばれた番号の曲がくり返し再生されます。
- やり直すときは、CANCELを押します。**手順3**に戻ります。
- 途中でやめるときは、**MDグループタイトル/編集**を押します。

5 **ENTER を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- 登録ができないときは、「CANNOT ENTRY!」と表示され、**手順4**に戻ります。

もとに戻すときは

右の「グループを分ける（DIVIDE GR)」のあと「指定したグループを解消する（UNGROUP）（➡**82** ページ参照）の操作をします。

グループを分ける(DIVIDE GR)

１つのグループを２つに分けます。新しくできる２つのグループのうち、後ろのグループの先頭の曲を指定します。グループ番号は付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入します。

1 **MDグループタイトル/編集 をくり返し押して「DIVIDE GR?」を選ぶ**

DIVIDE GR?
YES?→SET

2 **SET を押す**

3 **>>I (または I<<)を押して分けるグループを選ぶ**

4 **次 ⊕ (または ⊖ 前)を押してどの曲から分けるかを選び、SET を押す**

- 再生中は、選ばれた番号の曲がくり返し再生されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

5 **ENTER を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループをつなげる（JOIN GR)」（➡**81** ページ参照）の操作をします。

グループをつなげる(JOIN GR)

となりあう2つのグループを1つのグループにします。タイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。グループ番号は付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 MDグループ タイトル/編集 **をくり返し押して「JOIN GR?」を選ぶ**

JOIN GR ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 >>I **(または** I<< **)を押してつなげるグループの組を選び、** SET **を押す**

G 1+G 2?
OK?→SET

連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。
- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。
- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
- グループの間に曲があったり、「--」と表示されたままENTERを押すと、「CANNOT JOIN」と表示され、手順3に戻ります。

もとに戻すときは

「グループを分ける（DIVIDE GR)」(➡80ページ参照）の操作をします。

グループを移動する(MOVE GR)

1つのグループを指定したところへ移動させます。グループ番号は付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 MDグループ タイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE GR?」を選ぶ**

MOVE GR ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 >>I **(または** I<< **)を押して移動させるグループを選び、** SET **を押す**

例：グループ2のとき

G ←G 2?
OK?→SET

4 >>I **(または** I<< **)を押して移動先を選び、** SET **を押す**

例：グループ2をグループ1の前に移動させます。

G 1←G 2?
OK?→SET

- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、MDグループタイトル/編集を押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

もう一度「グループを移動する（MOVE GR)」の操作をします。

MDをグループ編集する（つづき）

グループを解消する(UNGROUP/UNGR ALL)

指定したグループまたは全グループを解消して、曲のグループ登録をやめます。解消されたグループ内の曲は削除されません。グループ番号は、付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

指定したグループを解消する(UNGROUP)

1 MDグループ タイトル/編集 **をくり返し押して「UNGROUP?」を選ぶ**

UNGROUP ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 >>I（または I<<）**を押して解消するグループを選び、**SET **を押す**

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全グループを解消する(UNGR ALL)

1 MDグループ タイトル/編集 **をくり返し押して「UNGR ALL?」を選ぶ**

UNGR ALL ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

3 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループをつくる（FORM GR）」（➡**79** ページ参照）の操作をします。

グループを削除する(ERASE GR)

グループをMDから削除します。削除されたグループ内の曲も同時に削除されます。グループ番号と曲番号は、付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 MDグループ タイトル/編集 **をくり返し押して「ERASE GR?」を選ぶ**

ERASE GR ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 >>I（または I<<）**を押して削除するグループを選び、**SET **を押す**

G 2 ERASE?
ERASE?→SET

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

- **一度削除した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください（➡102ページ参照）。**

タイマーを使う

本機では、おやすみタイマーと3つのプログラムタイマーを使うことができます。

タイマー操作をする前に

タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡22ページ参照)。

- 時計合わせをしていないと、タイマーは働きません。

おやすみタイマー

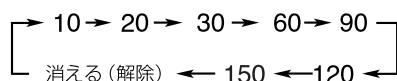
音楽やラジオ放送を聞きながら眠りたいときに使います。
電源を「切」にするまでの時間を設定し、おやすみください。設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。

- **リモコンで操作します。**

スリープ を押す

表示窓のⒹとSLEEP表示が点滅し「SLEEP 10」と表示されます。

- 押すごとに、スリープ時間は次のように選べます。

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 消える（解除） → 10

- およそ5秒間ボタンを押さないでいると、自動的に設定されます。表示窓がソース（音源）の表示に戻り、ⒹとSLEEP表示が点灯になります。
- おやすみタイマーを設定すると、オートディマー機能が働いて表示窓が暗くなります。

設定したスリープ時間を変更する

- おやすみタイマー設定後に**スリープ**を1回押すと、電源が**「切」**になるまでの**残り時間**が表示されます。
- 設定を変更するときは、**スリープ**をくり返し押して希望のスリープ時間を選びます。

おやすみタイマーを取り消す

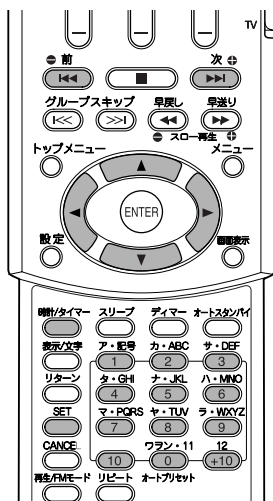
- スリープ時間の表示が消えるまで、**スリープ**をくり返し押します。おやすみタイマーが解除されます。
- 電源を「**切**」にしたときも、おやすみタイマーは解除されます。

おやすみタイマーでおやすみになり、プログラムタイマーで目覚めるには

1. プログラムタイマーでタイマー再生（PLAY TIMER）を設定する（➡**84**～**87**ページ参照）
2. 聞きたいソースを演奏する
3. **スリープ**を押してスリープ時間を設定する
   - 設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になり、プログラムタイマーの開始時刻で電源が「**入**」になります。

タイマーを使う（つづき）

プログラムタイマー

TIMER 1、TIMER 2またはTIMER 3に「タイマー再生」または「タイマー録音」の設定ができます。
異なる時間帯に複数のプログラムタイマーを動作させることができます。
タイマー再生が動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります（ウェイクアップボリューム機能）。
- **プログラムタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください（➡22ページ参照）。**

ご注意

- **他の機器を接続して演奏するときは、タイマー機能のついた機器をご使用ください。**
- **DVDビデオ/DVDオーディオやビデオCDの場合、メニュー画面が表示されると待機状態になるものがあります。このようなディスクをプログラムタイマーで使用すると、連続して音声や映像が再生されません。ご注意ください。**
- **電源「入」の状態では、プログラムタイマーが動作しません。**

お知らせ

- ラジオをソース（音源）に選ぶときは、あらかじめ放送局をプリセットしておく必要があります（➡**25**ページ「放送局を記憶させる（プリセット）」参照）。
- プログラムタイマーに設定した内容は、あらためて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- ディスクやMDのプログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏はできません。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、プログラムタイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とプログラムタイマーをもう一度設定し直してください。

1 録音または再生するソース（音源）の準備をする

タイマー録音するとき

MDに録音する	B MDデッキに録音用MDを入れる
テープに録音する	カセットホルダーに録音用テープを入れる

タイマー再生するとき

ディスクを聞く	ディスクを入れる（➡**28**ページ）
MDを聞く	A MDまたはB MDデッキにMDを入れる（➡**51**ページ）
ラジオを聞く	放送局をプリセットしておく（➡**25**ページ）
テープを聞く	テープを入れる（➡**58**ページ）
他の機器の音声を聞く	他の機器のタイマー設定をする（➡**59**ページ）

2 時計/タイマー を押して「TIMER1」、「TIMER2」または「TIMER3」のいずれかを選び、SET を押す

例：TIME R 1のとき

```
TIMER1→ SET
OFF?→CANCEL
```

1

プログラムタイマー番号

REC TIMER(タイマー録音)の設定

3 次 ▶▶I(または 前 I◀◀)と SET を使って、タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する

・ 時刻の設定方法は、**22**ページ「時計を合わせる」を参照してください。
- **カーソル** ▲(または ▼)を押しても同様の操作ができます。

開始時刻の設定

「時」の設定 ➡ SET ➡ 「分」の設定 ➡ SET

終了時刻の設定

「時」の設定 ➡ SET ➡ 「分」の設定 ➡ SET

4 次 ▶▶I(または 前 I◀◀)を押して「ONCE」または「EVERYDAY」を選んでから SET を押す

- **カーソル** ▶(または ◀)を押しても同様の操作ができます。

ONCE(ワンス) : タイマーが1回動作すると解除されます。タイマーが解除されても設定内容は残ります。
↕
EVERYDAY(エブリデイ) : タイマーを解除するまで毎日動作します。

5 次 ▶▶I(または 前 I◀◀)を押して「REC TIMER」または「PLAY TIMER」を選んでから SET を押す

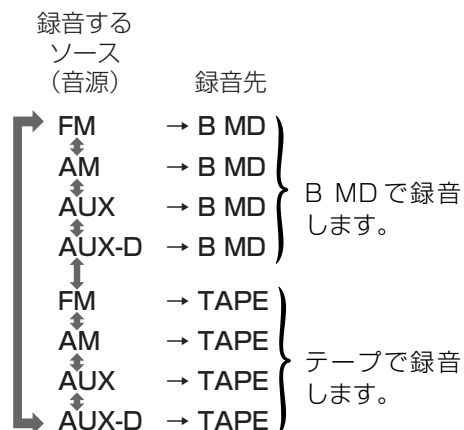
- **カーソル** ▶(または ◀)を押しても同様の操作ができます。

REC TIMER : タイマー録音するとき選びます。
↕
PLAY TIMER : タイマー再生するとき選びます。

REC TIMER を選んだときは、**右上の手順 6** へ進みます。

PLAY TIMER を選んだときは、**86 ページ右側の手順 6** へ進みます。

6 次 ▶▶I(または 前 I◀◀)を押して録音するソース(音源)と録音先(B MDまたはテープ)の組み合わせを選んでから、SET を押す

ボタンを押すごとに次のように切換わります。
- **カーソル** ▶(または ◀)を押しても同様の操作ができます。

録音するソース(音源)にFMまたはAMを選んだとき

▶▶I または I◀◀ を押して録音する放送局のプリセット番号を選んでから**SET**を押します。

- **録音先がB MD**とき、**手順7**へ進みます。
- **録音先がTAPE**のとき、**手順6**で**SET**を押すと**REC TIMER(タイマー録音)の設定が終了**です。表示窓に設定内容が一通り表示されます。確認してから、**手順8**へ進みます。

録音するソース(音源)にAUXまたはAUX-Dを選んだとき

- **録音先がB MD**ときは、**手順7**へ進みます。
- **録音先がTAPE**のときは、**手順6**で**SET**を押すと**REC TIMER(タイマー録音)の設定が終了**です。表示窓に設定内容が一通り表示されます。確認してから、**手順8**へ進みます。

86ページの左側へ続く

プログラムタイマー（つづき）

REC TIMER(タイマー録音)の設定

7 **▶▶I（または I◀◀）を押して B MDの録音モードを選んでから、SETを押す**

ボタンを押すごとに次のように切換わります。
- **カーソル ▶**（または ◀）を押しても同様の操作ができます。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2倍長）（4倍長）

SETを押すとREC TIMER（タイマー録音）の**設定が終了**です。表示窓に設定内容が一通り表示されます。

電源「入」でプログラムタイマーの設定をしているとき

8 **⏻/Iオーディオ を押して電源を「切」にする**

表示窓に ⏲ とプログラムタイマー番号、REC表示が点灯していることを確認してください。
- タイマーの開始時刻になるとタイマー録音がスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「**切**」になります。
- タイマー録音中は、スピーカーから音は出ません。
- **85**ページ**手順4**で「ONCE」に設定したタイマーの場合は、タイマー動作が終了すると、表示窓のプログラムタイマー番号が消灯します。

MDのグループ録音の設定について

プログラムタイマーでB MDに録音するとき、グループ録音の設定は、プログラムタイマーを設定する前または設定が終了してから行います。プログラムタイマー設定中は、**グループ**を押しても設定を変えることはできません。
電源「切」でプログラムタイマーを設定したあと、グループ録音の設定を変更するときは、電源を「入」にしてから**グループ**を押してください。

PLAY TIMER(タイマー再生)の設定

6 **▶▶I（または I◀◀）を押して再生するソース（音源）を選んでから、SETを押す**

ボタンを押すごとに次のように切換わります。
- **カーソル ▶**（または ◀）を押しても同様の操作ができます。

FM ⬌ AM ⬌ DVD/CD ⬌ AMD ⬌ BMD
⬍ ⬍
AUX-DIGITAL ⟷ AUX ⟷ TAPE

FMまたはAMを選んだとき
▶▶I または I◀◀ を押して聞きたい放送局のプリセット番号を選んでから**SET**を押します。

DVD/CDを選んだとき
MP3ディスクのとき
（DVDの場合は、頭からの再生のみになります）
ディスクの頭から再生したいとき*
SET➡SETと押し、**手順7**へ進む
再生するトラックなどを指定するとき
1. ▶▶I または I◀◀ を押してグループ番号を選んでから**SET**を押す
2. ▶▶I または I◀◀ を押してトラック番号を選んでから**SET**を押し、**手順7**へ進む

オーディオCD、ビデオCD/スーパービデオCDのとき
ディスクの頭から再生したいとき*
SET➡SETと押し、**手順7**へ進む
再生するトラックを指定するとき
1. SETを押す
2. ▶▶I または I◀◀ を押してトラック番号を選んでから**SET**を押し、**手順7**へ進む

A MDまたはB MDを選んだとき
MDの頭から演奏したいとき*
SETを押し、**手順7**へ進む
演奏する曲を指定するとき
▶▶I または I◀◀ を押して曲番号を選んでから**SET**を押して、**手順7**へ進む

TAPE、AUX、AUX−DIGITALを選んだとき
SETを押し、**手順7**へ進む

* 前の設定が残っているときは、先に数字ボタンの「**1**」を押します。

PLAY TIMER(タイマー再生)の設定

7 **次⊕ (または ⊖前)を押して再生する音量を調節してから、SET を押す**

0〜40の範囲で調節できます。
- **オーディオ音量**＋、－または**カーソル**▲（▼）を押しても音量の調節ができます。

SETを押すとPLAY TIMER（タイマー再生）**の設定が終了**です。表示窓に設定内容が一通り表示されます。

電源「入」でプログラムタイマーの設定をしているとき

8 **⏻/Iオーディオ を押して電源を「切」にする**

表示窓に ⏲ とプログラムタイマー番号が点灯していることを確認してください。
- タイマーの開始時刻になるとタイマー再生がスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。
- **85**ページ**手順4**で「ONCE」に設定したタイマーの場合は、タイマー動作が終了すると、表示窓のプログラムタイマー番号が消灯します。

プログラムタイマーの解除と再設定について

プログラムタイマーの解除

85ページの**手順4**で「EVERYDAY」に設定したタイマーを一時的に解除するには、**84**ページの**手順2**で解除するタイマーを選び、SETを押さないでCANCELを押します。表示窓の ⏲ とプログラムタイマー番号が消灯します。
タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

プログラムタイマーの再設定

85ページの**手順4**で「ONCE」に設定して動作が終了したタイマー、上記「**プログラムタイマーの解除**」の操作をして一時的に除されているタイマーを再設定することができます。
84ページの**手順2**で再設定するタイマーを選び、SETをくり返し押します。設定が終了し表示窓に設定内容が一通り表示されます。
表示窓に ⏲ とプログラムタイマー番号（REC TIMERのときはREC表示）が点灯していることを確認してください。電源を「切」にしておくと、設定した開始時刻でタイマーがスタートします。

オートスタンバイ機能を使う

本機には、ラジオ以外のソース(音源)のとき無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「切」になるオートスタンバイ機能があります。

オートスタンバイ を押す

表示窓に「A. STANDBY SET」が数秒間表示され、A. STANDBY 表示が点灯します。

オートスタンバイを設定すると

オートスタンバイ機能が動作すると、表示窓のA. STANDBY表示が点滅に変わります。

オートスタンバイの動作

ディスク、A MD、B MDまたはテープを再生しているとき:
録音しているとき:
再生または録音が終了すると、オートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「切」になります。
3分以内に再生または録音の操作をしたときは、再生または録音が終了してから再度オートスタンバイ機能が動作します。
再生または録音以外の操作をしたときは、最後の操作が行われてから何の操作もせずに3分間が経過すると、自動的に電源が「切」になります。

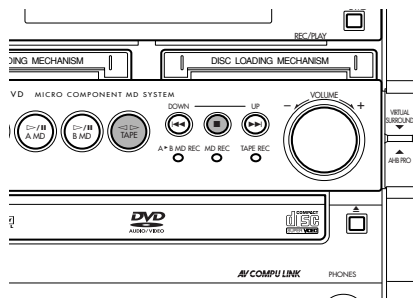
他の機器の音声を聞いているとき:
無音状態になるとオートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「切」になります。

電源が「切」になる20秒前になると表示窓の情報表示部に「A. STANDBY OFF」と点滅表示されます。

オートスタンバイを解除する

オートスタンバイをもう一度押します。
表示窓に「A. STANDBY CANCEL」と数秒間表示され、A. STANDBY表示が消灯します。

チャイルドロック機能

A MDとB MD挿入口、ディスクトレイを電子ロックして ⏏ を押してもMDが出てこないようにしたり、ディスクトレイが出てこないようにします。
小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

1 電源を「切」にする

電源が「入」のままでは設定できません。

2 ■ を押したまま TAPE を押す

「LOCKED」と表示され、A MD挿入口とB MD挿入口、ディスクトレイがロックされます。

LOCKED

- チャイルドロックすると、AMD、BMD、ディスクトレイのいずれの ⏏ を押しても「LOCKED」と表示され、MDまたはディスクトレイが出てこなくなります。
- 電源「切」のときに⏏を押すと「LOCKED」と表示されます。電源は「切」のままです。

チャイルドロックを解除する

もう一度、手順1と2の操作をします。
「UNLOCKED」と表示され、チャイルドロックが解除されます。

UNLOCKED

DVDの初期設定を変更する

初期設定画面について

言語設定画面、映像設定画面、音声設定画面、その他設定画面の4つの設定画面があり、それぞれに設定項目があります。

：言語設定画面

DVD ビデオ再生時の各言語設定と設定画面の言語を設定します。

言語	
メニュー言語	日本語
音声言語	英語
字幕言語	日本語
画面表示言語	日本語

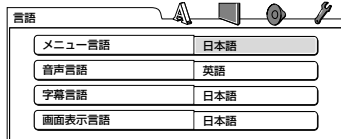
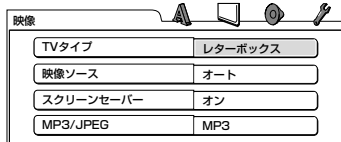
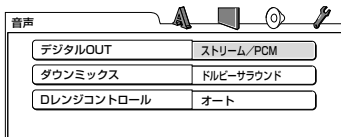
：映像設定画面

映像出力の設定などをします。

映像	
TVタイプ	レターボックス
映像ソース	オート
スクリーンセーバー	オン
MP3/JPEG	MP3

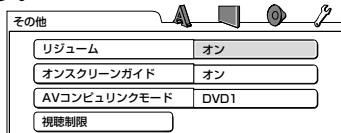
：音声設定画面

音声出力の設定をします。

音声	
デジタルOUT	ストリーム/PCM
ダウンミックス	ドルビーサラウンド
Dレンジコントロール	オート

：その他設定画面

その他の設定をします。

視聴制限のサブメニュー画面があります。

その他	
リジューム	オン
オンスクリーンガイド	オン
AVコンピュリンクモード	DVD1
視聴制限	

お知らせ

- ワイドテレビをお使いの場合、初期設定画面の上下の部分が切れた状態で表示されることがあります。このようなときは、テレビ側の設定で画像サイズを変えてください。

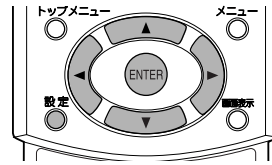
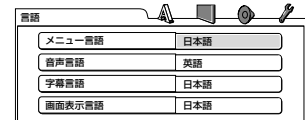
基本操作

準備 DVD を押してから ■ を押す

ソース（音源）をDVDにします。

1 設定 **を押す**

言語設定画面が表示されます。

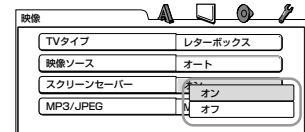
言語	
メニュー言語	日本語
音声言語	英語
字幕言語	日本語
画面表示言語	日本語

2 カーソル ▸（または ◂）を押して設定画面を選ぶ

ボタンを押すごとに設定画面が切り換わります。

3 カーソル ▾（または ▴）を押して設定したい項目に合わせる

選んだ項目の色が変わります。

4 ENTER **を押す**

選んだ項目のプルダウンメニューが表示されます。

プルダウンメニュー

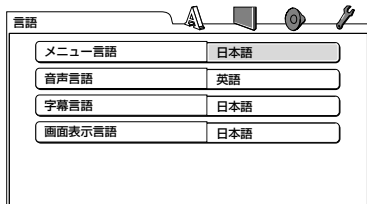
5 カーソル ▾（または ▴）を使ってプルダウンメニューから設定を選び、ENTER を押す

設定が完了します。

初期設定画面を消すには

設定を押します。

DVDの初期設定を変更する（つづき）

言語設定画面

メニュー言語、音声言語、字幕言語、画面表示言語など、言語に関する設定を行う画面です。

お知らせ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
- AA～ZUの言語コードは、下の〈言語コード一覧〉をご覧ください。

メニュー言語

DVD ビデオのメニュー画面に表示される言語を選びます。

プルダウンメニューの項目（　　　がお買い上げ時の設定）
英語 ⟷ スペイン語 ⟷ フランス語 ⟷ 中国語 ⟷ ドイツ語 ⟷ イタリア語 ⟷ 日本語 ⟷AA から ZU までの言語コード ⟷

音声言語

DVD ビデオの音声言語を選びます。

プルダウンメニューの項目（　　　がお買い上げ時の設定）
英語 ⟷ スペイン語 ⟷ フランス語 ⟷ 中国語 ⟷ ドイツ語 ⟷ イタリア語 ⟷ 日本語 ⟷AA から ZU までの言語コード ⟷

字幕言語

DVD ビデオの字幕言語を選びます。

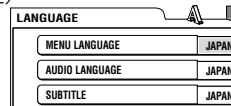
プルダウンメニューの項目（　　　がお買い上げ時の設定）
オフ ⟷ 英語 ⟷ スペイン語 ⟷ フランス語 ⟷ 中国語 ⟷ ドイツ語 ⟷ イタリア語 ⟷ 日本語 ⟷AA から ZU までの言語コード ⟷

画面表示言語

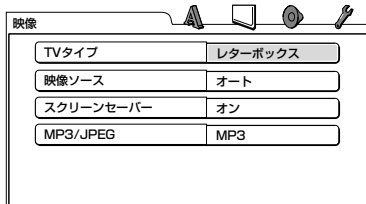
初期設定画面などのオンスクリーン画面の言語を選びます。

プルダウンメニューの項目
（　　　がお買い上げ時の設定）
日本語 ⟷ 英語

英語にしたときの画面

LANGUAGE
MENU LANGUAGE　JAPANE
AUDIO LANGUAGE　JAPANE
SUBTITLE　JAPANE

〈言語コード一覧〉

コード	言　語	コード	言　語	コード	言　語	コード	言　語
AA	アファル語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SL	スロベニア語
AB	アブハジア語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SM	サモア 語
AF	アフリカーンス語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GU	グジャラード語	MN	モンゴル語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	HI	ヒンディー語	MR	マラータ語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HR	クロアチア語	MS	マライ（マレー）語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	ST	セストゥ語
BA	バシキール語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	IA	国際語	NA	ナウル語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	IE	国際語	NE	ネパール語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IN	インドネシア語	NO	ノルウェー語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TG	タジク語
BO	チベット語	IW	ヘブライ語	OM	（アフォン）オロモ語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	JI	イディッシュ語	OR	オリヤー語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	JW	ジャワ語	PA	パンジャブ語	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	KA	グルジア語	PL	ポーランド語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	KK	カザフ語	PS	パシュトー語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	KL	グリーンランド語	PT	ポルトガル語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	KM	カンボジア 語	QU	ケチュア語	TR	トルコ語
DZ	ブータン語	KN	カンナダ語	RM	ラエティ - ロマン語	TS	ツォンガ語
EL	ギリシャ語	KO	韓国（朝鮮）語	RN	キルンディ語	TT	タタール語
EO	エスペラント語	KS	カシミール語	RO	ルーマニア語	TW	トウィ語
ET	エストニア語	KU	クルド語	RU	ロシア語	UK	ウクライナ語
EU	バスク語	KY	キルギス語	RW	キニヤルワンダ語	UR	ウルドゥー語
FA	ペルシャ語	LA	ラテン語	SA	サンスクリット語	UZ	ウズベク語
FI	フィンランド語	LN	リンガラ語	SD	シンド語	VI	ベトナム語
FJ	フィジー語	LO	ラオス語	SG	サンド語	VO	ヴォラピュク語
FO	フェロー語	LT	リトアニア語	SH	セルボアクロアチア語	WO	ウォロフ語
FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SI	シンハラ語	XH	コーサ語
GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SK	スロバキア語	YO	ヨルバ語
						ZU	ズール語

映像設定画面

TVタイプ、映像ソース、スクリーンセーバー、MP3/JPEGファイルが混在したCD-R/RWディスクの再生ファイルの切換えなど、主に映像に関する設定を行う画面です。

TVタイプ

お使いのテレビに合わせて画面表示方法を選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）

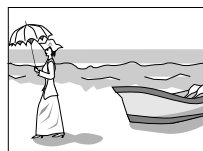
16：9ノーマル ⟷ 16：9オート ⟷ レターボックス ⟷ パンスキャン ⟷

- **16:9ノーマル[ワイドテレビ(縦横比16:9)用]：**
  画面サイズが16:9に固定されているワイドテレビと接続したとき、この設定にします。（4：3で収録されたDVDビデオを再生するとき、本機が出力信号の画面幅を自動調節します）

「16:9ノーマル」設定で4:3画面のDVDビデオを再生すると、画面幅を変換しているため画質が変わります。

- **16:9オート[ワイドテレビ(縦横比16:9)用]**
  普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。

- **レターボックス[通常のテレビ(縦横比4:3)用]：**
  上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ（縦横比4：3）に接続したとき、この設定にします。

- **パンスキャン[通常のテレビ(縦横比4:3)用]：**
  左右両端が切り取られる状態で映ります。上下に黒い隙間は映りません。通常のテレビ（縦横比4：3）に接続したとき、この設定にします。

お知らせ

- ディスクがパンスキャンに対応していないときは、パンスキャンに設定してもレターボックス表示になります。

映像ソース

ディスクに収録された映像の収録素材（ビデオ素材またはフィルム素材）に適した映像信号処理を行った映像信号の出力を選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）

ビデオ ⟷ フィルム ⟷ オート ⟷

- **ビデオ：**
  ディスクに収録された素材をビデオ素材として奇数フィールドと偶数フィールドを合成してから、信号処理を行い出力します。比較的動きの少ないビデオ素材のディスクの再生に適しています。
- **フィルム：**
  ディスクに収録された素材をフィルム素材として信号処理を行います。フィルム素材、またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材のディスクの再生に適しています。
- **オート：**
  ディスクの再生から素材のタイプ（フィルムまたはビデオ）を判定して、モードを切り換えます。フィルム素材とビデオ素材が混在しているディスクの再生に適しています。**通常はこの設定にします。**
  ・ディスクの中には「オート」モードで正しく再生されないものがあります。特定のDVDビデオで映像にスジ状のノイズが入ったり不鮮明なときは設定を変えてください。

スクリーンセーバー

画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバー（➡**29**ページ）を使うか、使わないかを選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）

オン ⟷ オフ

・**オン**：静止画が5分以上続くと、画面が暗くなります。
・**オフ**：スクリーンセーバーは機能しません。

MP3/JPEG

1枚のCD-R/CD-RWディスクにMP3とJPEGの両ファイルが含まれている場合、どちらのファイルを再生可能にするか選びます。

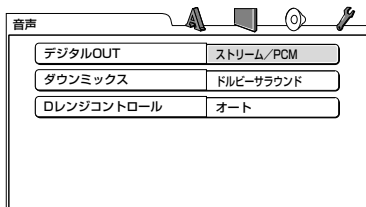
プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）

MP3 ⟷ JPEG

・**MP3**　：MP3ファイルを再生します。
・**JPEG**：JPEGファイルを再生します。

- 設定を変更したあとは、ディスクトレイを開閉してディスクを再度読み込ませてください。

DVDの初期設定を変更する（つづき）

音声設定画面

デジタル音声出力、ダウンミックス、音声ダイナミックレンジのコントロール機能など、音声に関する設定を行う画面です。

デジタルOUT（デジタル音声出力）

本機のDVDデジタル出力端子に接続する機器の種類によって、設定します。DVDデジタル出力端子に何もつながない場合は設定する必要はありません。
設定項目と出力信号の関係は、下の表をご覧ください。

プルダウンメニューの項目（ がお買い上げ時の設定）
PCMのみ ⬌ DOLBY DIGITAL/PCM ⬌
ストリーム/PCM ⬌

- **PCMのみ :**
  リニアＰＣＭのみ対応しているデジタル端子付きアンプやＭＤレコーダー、ＤＡＴデッキなどと接続するとき、この設定にします。
- **DOLBY DIGITAL/PCM :**
  ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- **ストリーム/PCM :**
  ＤＴＳデコーダー、ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。

お知らせ

- 著作権保護の設定がされていないDVDビデオの中には20、または24ビットで出力されるものがあります。

<table>
<tr><th rowspan="2">再生ディスク</th><th colspan="3">「デジタルOUT」設定</th></tr>
<tr><th>ストリーム/PCM</th><th>DOLBY DIGITAL/PCM</th><th>PCMのみ</th></tr>
<tr><td>48kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDビデオ
96kHzリニアPCMのDVDビデオ</td><td colspan="3">48kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>48/96/192kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDオーディオ</td><td colspan="3">48kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>44.1/88.2/176.4kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDオーディオ</td><td colspan="3">44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>DTSのDVDビデオ</td><td>DTSビットストリーム</td><td colspan="2">48kHz、16ビッドステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>ドルビーデジタルのDVDビデオ・DVDオーディオ</td><td colspan="2">ドルビーデジタルビットストリー ム</td><td>48kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>オーディオCD・ビデオCD・スーパービデオCD</td><td colspan="3">44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM/
48kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>DTSのオーディオCD</td><td>DTSビットストリーム</td><td colspan="2">44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>MP3のディスク</td><td colspan="3">出力しない</td></tr>
</table>

ダウンミックス

サラウンド音声で収録されたDVDビデオを正しく再生するため、本機のDVDデジタル出力端子に接続する機器に合わせて選びます。デジタルOUTを「PCMのみ」にしているとき設定します。（この設定はDVDビデオを再生するときのみ有効になります）

プルダウンメニューの項目（ がお買い上げ時の設定）
ドルビーサラウンド ⬌ ステレオ

- **ドルビーサラウンド :**
  ドルビープロロジックデコーダー内蔵のステレオアンプやレシーバーなどに接続するとき、この設定にします。
- **ステレオ :**
  通常のステレオアンプやレシーバーなどに接続するとき、この設定にします。

Dレンジコントロール

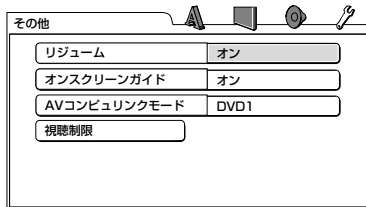
ドルビーデジタル収録されたDVDビデオを小音量で楽しむ場合、音声のダイナミックレンジ（用語集➡ **113**ページ）を圧縮します。

プルダウンメニューの項目（ がお買い上げ時の設定）
オート ⬌ オン

- **オート**：ダイナミックレンジを圧縮しないでお楽しみいただけます。
- **オン**　：通常はこの設定にします。

お知らせ

- この機能はドルビーデジタル収録されたディスク以外では働きません。

その他設定画面

リジューム、オンスクリーンガイド、AVコンピュリンクモード、および視聴制限の設定を行う画面です。

リジューム

リジューム機能（➡**30** ページ）を使うか、使わないかを選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
オン ⟺ オフ

- **オン（通常のリジューム）**
  リジューム機能が働きます。
- **オフ**
  リジューム機能が働きません。

オンスクリーンガイド

再生している映像に重ねてディスクの収録状態や本機の動作状態を示すマーク（ などど）や文字を表示するか、表示しないかを選びます。
- マークや文字の表示については **29** ページを参照してください。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
オン ⟺ オフ

- **オン**
  マークや文字が表示されます。
- **オフ**
  マークや文字が表示されません。

AVコンピュリンクモード

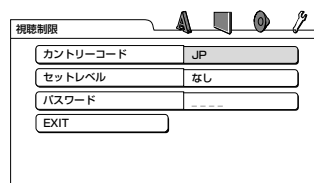
ビクターのテレビやAVアンプなどと連動させるとき、接続した機器の入力端子に合わせて設定します。（AVコンピュリンクの活用 ➡ **98** ページ）
- 接続する他の機器の取扱説明書も併せてお読みください。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
DVD1 ⟺ DVD2 ⟺ DVD3 ⟺

- DVD1
  テレビのビデオ3入力またはAVアンプのDVD入力に接続したとき、DVD1に設定します。
- DVD2
  テレビのビデオ1入力に接続したとき、DVD2に設定します。
- DVD3
  テレビのビデオ2入力に接続したとき、DVD3に設定します。

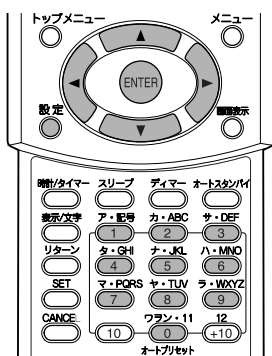
視聴制限

視聴制限を設定します。
この項目を選ぶと、視聴制限設定画面が表示されます。
- 設定方法については **94** ページをご覧ください。

視聴制限設定画面

DVDの視聴制限を変更する

DVDビデオ　DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

過激なシーンを含むDVDビデオの映画ソフトを再生する場合など、ディスクが対応していると視聴制限機能の設定に応じて過激シーンをカットしたり別のシーンに差し換えることができます。

はじめに設定する

準備

DVD を押してから ■ を押す

ソース(音源)をDVDにします。

1　設定 を押す

言語設定画面が表示されます。

2　カーソル ▶ (または ◀)を押してその他設定画面を選ぶ

3　カーソル ▼ (または ▲)を押して「視聴制限」に合わせ、ENTER を押す

視聴制限設定画面が表示されます。

- はじめて設定するときは、「カントリーコード」が選ばれます。

4　次の順にカーソル ▼ (または ▲)を使って設定項目を選び、ENTER を押す

カントリーコード：**96**ページの一覧表を参考に**カーソル▼** (または ▲)でカントリーコードを選び、ENTERを押します。

↓

セットレベル：視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。**カーソル▼**(または ▲)で数値(1〜8)または「なし」を選び、ENTERを押します。

↓

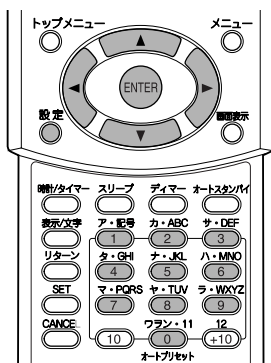
パスワード：数字ボタン(1〜9、0)を押して4ケタのパスワードを入力し、ENTERを押す。

↓

パスワードを設定すると、「EXIT」が選ばれます。

5　ENTER を押す

その他設定画面が表示されます。

設定を変更する

- 現在のパスワードを忘れてしまったときは、[8888」を入力してください。新しいパスワードを設定できるようになります。

準備 を押してから を押す

ソース(音源)をDVDにします。

1 設定 を押す

言語設定画面が表示されます。

2 カーソル▶(または◀)を押してその他設定画面を選ぶ

3 カーソル▼(または▲)を押して「視聴制限」に合わせ、ENTER を押す

視聴制限設定画面が表示されます。

- すでにパスワードを設定しているときは、「パスワード」が選ばれます(➡94ページ)。

4 設定したパスワードを数字ボタン(1 〜 9、0)を使って入力し、ENTER を押す

正しいパスワードが入力されたときは、が「カントリーコード」に移動します。

- パスワードの入力を3回間違えると、視聴制限の設定変更ができなくなります。このとき「EXIT」選ばれるので、ENTERを押してもう一度最初からやり直してください。

5 94ページの手順4を参考に、設定を変更する

カントリーコード：96ページの一覧表を参考にカーソル▼(または▲)でカントリーコードを選び、ENTERを押します。

⬇

セットレベル：視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。カーソル▼(または▲)で数値(1〜8)または「なし」を選び、ENTERを押します。

- カントリーコードを変更したときは、セットレベルも新しく設定する必要があります。

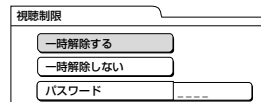
6 「パスワード」を選ばれているときに、数字ボタン(1 〜 9、0)を使って新しいパスワードを入力し、ENTER を押す

7 「EXIT」が選ばれているときに、ENTER を押す

その他設定画面が表示されます。

視聴制限を一時解除する

視聴制限を厳しく設定しているときは、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、視聴制限を一時解除することができます。

DVD ビデオを再生中に右の画面が表示されたら

1. カーソル▲(または▼)で「一時解除する」を選び、ENTERを押す
2. 設定したパスワードを数字ボタンで入力し、ENTERを押す

   正しいパスワードが入力されると、パレンタルロックが一時的に解除されます。
   間違って入力した場合は、「違います。やり直してください」と表示されます。もう一度正しいパスワードを入力してください。

カントリーコード一覧

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain

ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon

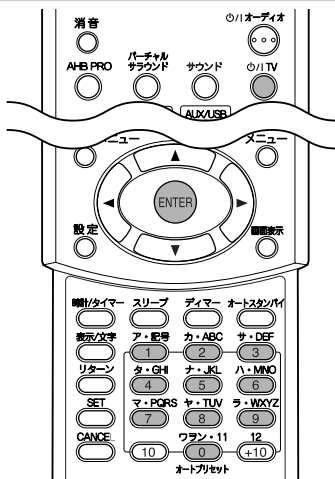
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands

SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

リモコンでテレビを操作する

本機のリモコンを使って、ビクター製テレビや他メーカーのテレビを操作することができます。
他メーカーのテレビを操作する場合は、そのメーカーに対応したコードを設定する必要があります。

- **ビクター製のテレビは、お買い上げ時の状態で操作することができます。**

テレビのメーカーコードを設定する

1 **リモコンのオーディオ/TVスイッチを「TV」側にする**

2 ⏻/I TV **を押す**

- ⏻/I TVは**手順3**が終わるまで押し続けます。

3 ENTER **を押してから、右上のメーカーのコード表を参考に、数字ボタン（ア・記号 1 ～ ラ・WXYZ 9 、ワヲン・11 0）を使ってコード番号を入力する**

- 複数のコードを持つメーカーの場合、機種によって動作するコード番号が異なります。順番に試してみて正しく動作するコード番号を選んでください。

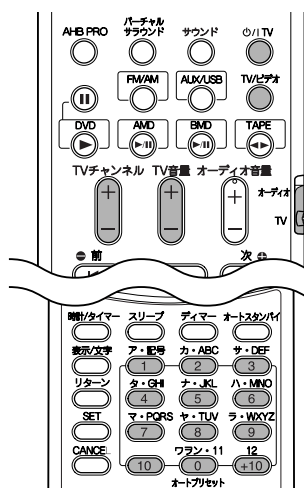
例：サンヨー[04]の場合、ワヲン・11 0 ➡ タ・GHI 4
　松下[23]の場合、カ・ABC 2 ➡ サ・DEF 3 と押す

4 ⏻/I TV **を離す**

リモコンのメーカーコードの変更は終わりです。

メーカーのコード番号表

メーカー名	コード番号
ビクター	01、02、03
サンヨー	04、05、06
シャープ	07、08
富士通ゼネラル	09、10
ソニー	11、12、13
東芝	14
NEC	15
パイオニア	16
日立	17、18
フナイ	19、20、21、22
松下	23、24、25、26
三菱	27
アイワ	28、29

テレビを操作する

- **テレビの操作が終わったら、オーディオ /TV スイッチは「オーディオ」側に戻してください。**
  戻さないと、数字ボタンで本機の操作ができません。

リモコンのオーディオ/TVスイッチを切換えなくてもできる操作

ボタン	操作
⏻/I TV	テレビの電源を「入/切」します。
TV音量	テレビの音量を調節します。
TVチャンネル	テレビのチャンネルを変えます。
TV/ビデオ	テレビの入力をビデオ入力に切換えます。

リモコンのオーディオ/TVスイッチを「TV」側にしてできる操作

数字ボタン	TV1～TV12を選びます。 **0**ボタンがTV11、 **+10**ボタンがTV12になります。

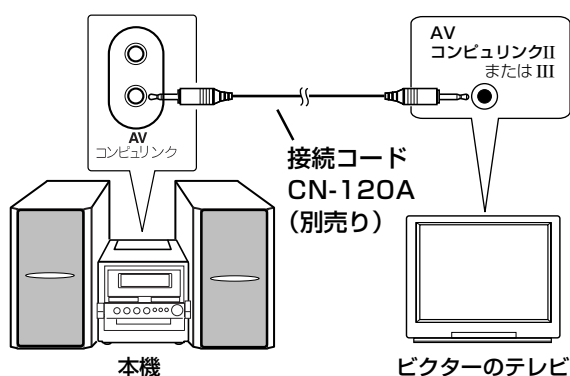
AVコンピュリンクの活用

テレビ、ビデオデッキ、ＤＶＤプレーヤー、ＡＶアンプなどいくつかの機器をつないで、再生するための接続をしても、操作はそれぞれ別々に行わなければならないわずらわしさがあります。ビクター製の機器の操作に連動してほかのビクター製機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものがAVコンピュリンク機能です。

接続と設定をする

モノラルミニプラグ付きの接続コードを使用し、ビクター製の各機器のＡ Ｖ コンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPU LINK端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。
この機能を使うときは、モノラルミニプラグ付きの接続コード:CN-120Aをお買い求めのうえご使用ください。

- AVコンピュリンクモードの設定（DVD1〜DVD3の切換え）は、「その他設定画面」（➡**93**ページ）で操作します。
- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

■テレビとのAVコンピュリンク接続

テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
ビデオ１のとき	DVD２
ビデオ2のとき	DVD３

- ビデオ３に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます。ただし、ビデオ３がDV／ムービー入力のときは、この端子にはAVコンピュリンクが働きません。

ご注意

- **D2映像出力をビクターのテレビにつなぐときは、AVコンピュリンクモードの設定を必ず「DVD1」にしてください。**

操作方法

本機を再生にするだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやＡＶアンプの入力を切換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

1. **テレビの主電源スイッチを「入」にする**

2. **本機にディスクを入れる**

3. **本機のDVD ▷/❚❚を押す**

次の動作が自動的に行われます。
- テレビの電源が「入」になります。
- テレビの入力切換が本機を接続している外部入力（ビデオ１、ビデオ２、またはビデオ３）になります。
  なお、本機の電源を「切」にしてもテレビの電源は「切」にはなりません。

パソコンからの音声が聞こえないとき

「パソコンからの音声信号が再生されるか確認する」(➡**61** ページ参照)の操作をして「Windows の起動」音が聞こえてこないときは、次のことを確認してみてください。
Windows®XP を例に説明します。

• [スタート] → [コントロールパネル] → [サウンド、音声、およびオーディオ ディバイス]→ [サウンドとオーディオデバイス] →[サウンド]を開き、「既定のデバイス」が「USBスピーカー」になっているか確認します。
「USB スピーカー」になっていないときは、▼をクリックしてプルダウンメニューの中から「USBスピーカー」を選びます。

参考： 他のサウンドカードから音声を出すときもここを変更します。

• [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [ボリュームコントロール] を開き、音量が最小になっていたり、「ミュート(M)」にクリックマークがついていないかを確認します。
音量が最小になっているときは音量を上げ、「ミュート(M)」にクリックマークが付いているときは、マークをクリックしてクリックマークをはずします。

故障と思う前に､次のことを確認してください

本機がパソコンに認識されない

➡ 本機のソース（音源）をUSBにしてから、USBケーブルで本機とパソコンをしっかり接続する。
➡ USBハブを使って接続しているときは、接続しているハブに問題がある場合があります。
ハブが正しく動作しているか確認する、または接続するポートを変えてみてください。

音が出ない、小さい

➡ [サウンドとオーディオデバイス] のボリュームコントロールの設定が違っている場合があります。既定するデバイス、「ミュート(M)」を確認してください。
➡ 本機の音量が適当になっているかを確認してください
➡ パソコンと本機の電源を切ってから**60**ページ「他の機器のの音声を聞く」の操作を再度行ってください。

音が途切れる

➡ 音声出力中、パソコンのCPU に負担のかかる作業をしていると、音が途切れることがあります。CPU に負担のかかる作業は控えてください。
➡ 音声の再生中に、他の機器のUSB ケーブルを抜き差しすると音が途切れることがあります。

雑音が多い

➡ 強い電磁波を発生するもの（テレビなど）の近くに置いていると雑音が多くなることがあります。強い電磁波を発生するものから十分に離して置いてください。

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープや DAT とは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

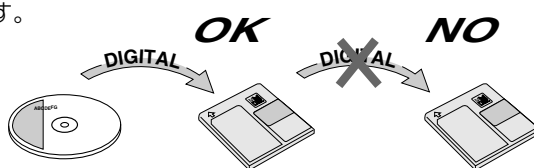
症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。（ 録音可能な最大トラック数は254曲まで）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて8秒以下（SP：標準モード時）の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP：標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル･コピー･マネージメント･システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

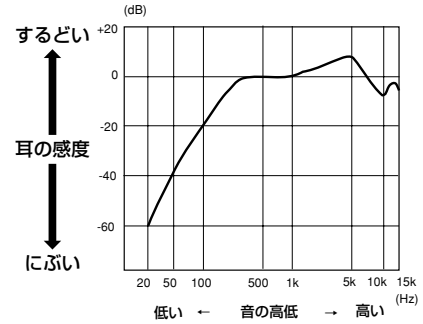
私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03－5353－0336(代)

ご注意
この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。

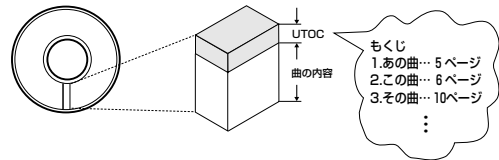
倍速録音に関して（HCMS）

録音用MD(ミニディスク)は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDまたはMDから一度倍速録音（等速を超える録音）した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲（MDの場合は、そのMD全曲）の二度目の録音はできません。
例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速および等速（ノーマルスピード）で録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で100曲以上録音することはできません。99曲までの録音ができます。

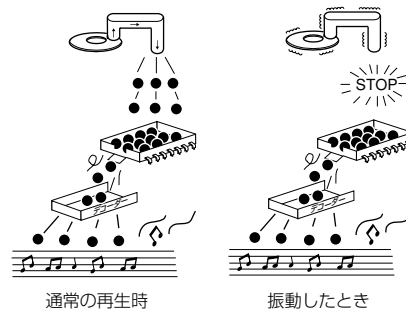
MDの技術解説

ATRAC (Adaptive（アダプティブ） TRansform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding（コーディング）)

MD(ミニディスク)は、従来のCDの約半分のサイズですがCDと同等の時間記録することができます。それは、新しく開発された「音声圧縮技術 (ATRAC)」により可能になりました。「音声圧縮技術(ATRAC)」では、聴感上聞こえない音の成分をカットすることでデータを小さく圧縮しています。 この技術により、記録するデータを元のデータの約 1/5 の量にすることができ、長時間のステレオ録音/再生を可能にしました。さらにATRAC3の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

UTOC (User（ユーザー） Table（テーブル） Of（オブ） Contents（コンテンツ）)

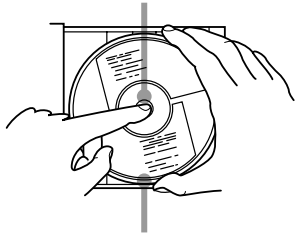
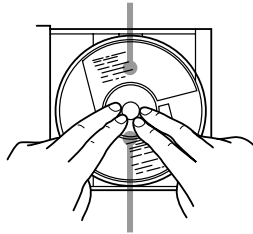
録音用MD(ミニディスク)には、曲の内容とは別に、「目次(UTOC)」データが収録されています。これには各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。
また、編集のときは、この「目次(UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

音飛びガードメモリー

MD(ミニディスク)を再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能があります。これを「音飛びガードメモリー」と呼び、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合、「音飛びガードメモリー」のデータが補完することによって、実際に聞こえる音が途切れたりしません。

通常の再生時　　振動したとき

ディスク、MD、テープの取り扱いについて

ディスクの取り扱いかた

・ケースからの出し入れ

① センターホルダーを押さえ

②演奏面（虹色に光っている面）に触れないように持って出す。

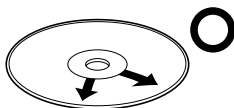
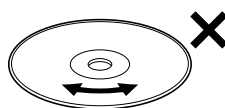
① 文字のある面を上にして…

② 上から押さえて入れる。

- ディスクにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- ディスクは曲げないでください。

- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

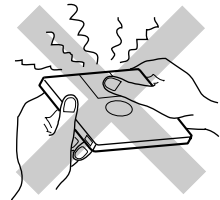
ディスクのお手入れ

再生する前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

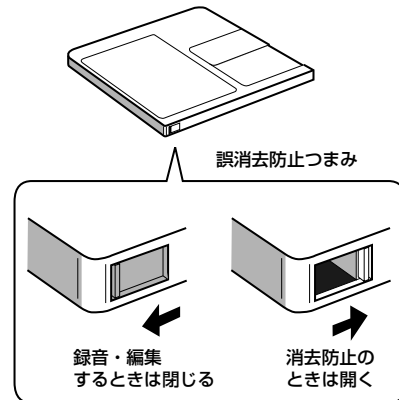
MD の取り扱いかた

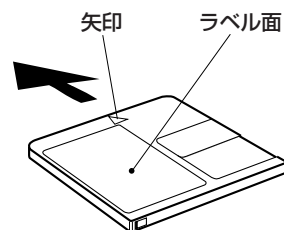
シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとディスクがこわれます。

定期的にお手入れを

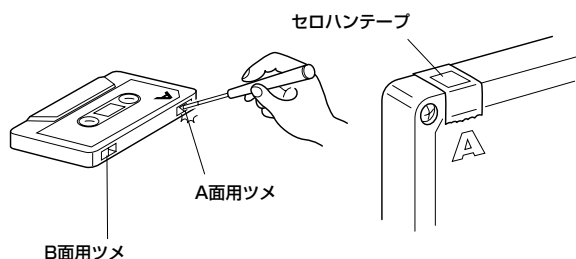
MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

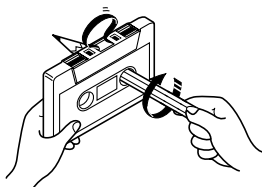
大切な録音を消さないために

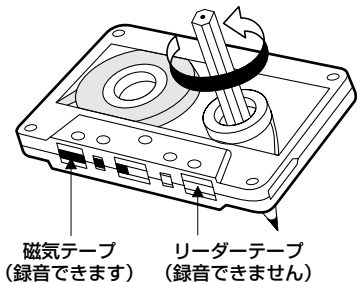
録音用 MD には、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

お知らせ

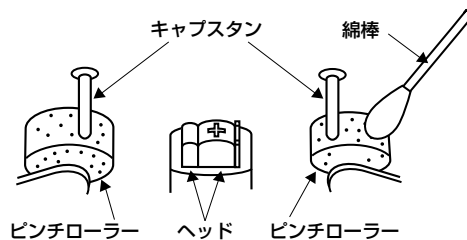
- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったまま MD を挿入すると、故障の原因となります。
- MD は ⇨ や ▷ などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

- ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

カセットテープの取り扱いかた

- テープにたるみがありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。
- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**
  長時間録音や再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。

リーダーテープについて

テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。

テープデッキのヘッド部の清掃

- **ヘッド部の清掃**
  音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

本体表面のお手入れ

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

ご注意

- **ハイポジション(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)に対応しておりませんので、使用しないでください。特性が異なるため、正しく録音されません。また、再生しても正しい音質にはなりません。**

MD/ディスクのメッセージ

MDのメッセージ	意　味	処　置
CANNOT ENTRY!	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(➡**80**ページ参照)。
CANNOT FORM!	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように曲を選んでください(➡**79**ページ参照)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を超えている。 (グループに関する情報は、タイトルの領域に記録されます)	それ以上のグループは作れません。 (不要なディスク名や曲名は消してください)
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲、または8秒以下の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT LISTEN	倍速録音中に音量を調節しようとした。	倍速録音中は、CDの音は聞けません。
CANNOT REC	ビデオCD/スーパービデオCDでPBC再生中に1トラック(曲)録音をしようとした。	PBCを「切」にして(➡**33**ページ参照)再生し、録音してください。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません。
READ ERROR	UTOC情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください(➡**102**ページ参照)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■（停止)を押していったん停止してから、⏏ B MD(取出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作し直してください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(➡**79**ページ参照)。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	接続したデジタル機器(BSデジタルチューナーなど)のリニアPCM以外のデジタル音声(AAC音声など)をMDに録音しようとした。	接続したデジタル機器のデジタル出力の設定をリニアPCMにしてください(詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください)。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	メッセージ表示後、自動でアナログ録音になります。
TRACK PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除してください。

ディスクのメッセージ	意　味	処　置
CANNOT PLAY	再生できないディスクまたは傷の多いディスクを再生しようとした。	ディスクを交換してください。
NO AUDIO	不法コピーディスクの可能性があります。(音が出ません)	ディスクをお買い上げの販売店で確認してください。
LR ONLY	マルチチャンネル音声でダウンミックスが禁止されているトラックを再生している。	正常な動作です。

故障かな？と思う前に

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
映像/音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページをご覧になり、正しく接続し直してください。	**14～19**
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	**11**
時刻表示が点滅している。	停電または、電源コードを抜いたため。	時計を合わせ直す。	**22**
ディスク/MDの再生が始まらない。	ディスク/MDが裏返しに入っている。	文字のある面が上になるように正しく入れる。	**28**
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1～2時間待ち、乾いてから使う	
特定な箇所が正常に再生できない。	ディスクに傷や汚れがある。 MDにエラーが発生した。	ディスク/MDをクリーニングするか、または交換する。 MDを録音し直す	**102**
入れたMDが出てきてしまう。	MDの入れ方が不完全なため。 すでにMDが入っている。	本体と平行にして、軽くMDを押して入れ直す。 MDを取り出してから操作する。	**51**
MD/テープ録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。 テープの誤消去防止用ツメをセロハンテープなどでふさぐ。	**102** **103**
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	**103**
雑音が多くて、放送がうまく受信できない。	アンテナの接続・設置が悪い。	アンテナの接続・設置をし直す。	**14**
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	•
タイマーがうまく働かない。	現在時刻が正しく合っていない。 タイマーが解除されている。	正しい時刻に設定し直す。 タイマー表示を確認して、設定し直す。	**22** **87**
リモコンが操作できない	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池（単3形）と交換する	**19**
電源を入れてもすぐに切れてしまう。	スピーカーコード（端子）がショートしてアンプに負担がかかりすぎている。	スピーカーコード（端子）がショートしていないか確認する。 それでも正しく動作しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	•

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは…**
本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

お願い
- 本機の故障または不測の事態により、録音･再生およびディスク/MDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

Q & A(よくあるご質問)

Q (ご質問)	A (回答)

ディスクについて

Q	A
海外で購入したDVD ビデオやビデオCDのディスクを再生することができますか?	DVDビデオの場合は、リージョン番号(ローカル番号)が「ALL 」、または「2」を含んでいて、映像方式がNTSCまたはPALであれば再生できます。 ビデオCDの場合は、映像方式がNTSCまたはPALであれば再生できます。 ディスクのジャケットをご確認ください。
リージョン番号(ローカル番号)がないDVD ビデオを再生することができますか?	リージョン番号(ローカル番号)はディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。

音声について

Q	A
Dolby Digital EXと印刷されたディスクは再生できますか?	ドルビーデジタルと再生互換があるため、再生できます。 ただし、本来の効果を得たい場合は、対応のサラウンドデコーダー／デコーダー内蔵のアンプやレシーバーに、本機のデジタル音声出力端子を用いてつなぐ必要があります。その際、本機の音声設定画面の中の[デジタルOUT]設定を「ストリーム／PCM」に設定してください。
DTS ESと印刷されたディスクは再生できますか?	再生できます。 ただし、本来の効果を得たい場合は、DTS ES対応のサラウンドデコーダー／デコーダー内蔵のアンプやレシーバーに、本機のDVDデジタル出力端子を用いてつなぐ必要があります。その際、本機の音声設定画面の中の[デジタルOUT]設定を「ストリーム／PCM」に設定してください。
THXと印刷されているディスクは、どういうディスクですか?本機で再生できますか?	再生できます。 「THX」は、米国ルーカスフィルム社が設けた、高品位な映像・音声収録、または再生における独自の部門及び基準の名称で、その基準に適合したディスクや機器を表すものであり、収録フォーマット自体をさすものではありません。
MP3とオーディオCDの両方のフォーマットが一枚のディスクに録音されているときは、両方とも再生できますか?	そのような場合は、データCDフォーマットで収録されているため、オーディオCDのトラックは再生できません。MP3のトラックのみ再生できます。
ドルビーデジタルのディスクには、5.1chサラウンドとドルビーサラウンドという2種類のサラウンド音声が収録されていることがありますが、どう違いますか?	いずれもアメリカ・ドルビー研究所が開発したサラウンド音声の規格です。 ドルビーサラウンドは、サラウンド成分(2ch)を、通常のアナログステレオ音声(左／右)に重ねて記録し、ドルビーサラウンド、およびドルピープロロジックデコーダーによって音声を分離・再生します。 ドルビーデジタルは、最大でフロント左、フロント右、センター、リア左、リア右、LFE(Low Frequency Effect:サブウーハーなどの低音信号用)の計6ch分の音声をデジタル化、圧縮した上で独立して記録し、ドルビーデジタルデコーダーによって再生します。 収録状況にもよりますが、一般的にはドルビーデジタルのほうがより優れた音場効果が得られます。

映像について

DVD ビデオやビデオ CD の映像に、細かいモザイクのようなものが出るのですが、これは故障ですか？	デジタル収録された動画特有のもの (ブロックノイズ) であり、本機の故障ではありません。

その他

本取扱説明書の操作通りに機能しません。	コンテンツ作成者の意図や構造上の制約等により、本機の操作を受け付けない場合があります。
DVDビデオの映像をビデオテープに録画することはできますか？	ほとんどのDVDビデオ はコピー禁止処理がされてるので、ビデオテープへの録画はできません。
本機で録画はできますか？	録画はできません。

保証とアフターサービス

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管しておいてください。

保　証　期　間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

マイクロコンポーネントMDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または**110～111**ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　　出張修理

105ページの**「故障かな?と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合が発生したディスクなどのメディアも、一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	マイクロコンポーネントMDシステム
型　　名	UX-W7DVD-S
	UX-W7DVD-M
	UX-W8DVD-S
お買い上げ	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

主な仕様 ―本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。―

■ MD/DVDレシーバー

(CA-UXW7DVD-M/CA-UXW7DVD-S/CA-UXW8DVD-S)

アンプ部

実用最大出力	20W+20W (JEITA/4Ω)
入力端子	
<アナログ>	AUX×1系統、 500mV/47kΩ:LEVEL1 250mV/47kΩ:LEVEL2
<デジタル>	デジタル光入力×1、 −23dBm〜−15dBm (光角型ジャック) (サンプリング周波数32kHz/44.1kHz/48kHzに対応)
<その他>	USB AUDIO×1、
出力端子	
<アナログ>	スピーカー×1系統、20W/4Ω 適合インピーダンス 4Ω〜16Ω ヘッドホン(×1)、15mW/32Ω 適合インピーダンス 16Ω〜1kΩ
<デジタル>	DVD/CDデジタル光出力×1 −23dBm〜−15dBm (光角型ジャック)
<その他>	AVコンピュリンク×2(φ3.5)
ビデオ出力部	映像出力×1 1.0V(p-p)/75Ω、同期負 S1/S2映像出力×1 Y出力:1.0V(p-p)/75Ω、同期負 C出力:0.286V(p-p)/75Ω D2映像出力×1 Y出力:1.0V(p-p)/75Ω CB/CR出力:0.7V(p-p)/75Ω
映像信号方式	JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式(インターレース方式/プログレッシブ方式選択可)

チューナー部

受信周波数	FM:76.00MHz〜108.00MHz AM:531kHz〜1,629kHz
アンテナ	FM:75Ω不平衡型 AM:ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式	3プログラム動作(ONCE/EVERYDAY切換可能)
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150分(オートディマー)
時刻表示	24時間表示

DVDプレーヤー部

再生可能ディスク	DVDビデオ、DVDオーディオ、オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD、CD-R/CD-RW(オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3/JPEGフォーマット)、DVD-R(ビデオフォーマット)、DVD-RW(ビデオフォーマット)

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間 (MD80使用)	録音モードSP :80分 録音モードLP2 :160分 録音モードLP4 :320分
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ

カセットデッキ部

形式	コンパクトカセットステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去(2ギャップフェライト) 録音・再生(ハードパーマロイ) }コンビネーション×1
早巻き時間	約145秒(C-60)

共通部

電源電圧	AC 100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	電源「入」時 60W 電源「待機」時 0.9W
最大外形寸法	幅189mm × 高さ170mm × 奥行365mm
質量	約 6.3kg

■ スピーカー:1本当たり

(SP-UXW7DVD-M/SP-UXW7DVD-S/SP-UXW8DVD-S)

形式	3ウェイバスレフ型、防磁形(JEITA)
使用スピーカー	低音用 : 11cm 丸形 ×1 中高音用 : 4cm 丸形 ×1 高音用 : 1.5cm 丸形 ×1
最大入力	20W(JIS)
定格インピーダンス	4Ω
再生周波数帯域	55Hz〜40kHz
出力音圧レベル	84dB/W・m
最大外形寸法	幅 125mm × 高さ 258mm × 奥行207mm
質量	約 2.3kg(1本)

■ マイクロコンポーネントMDシステム

(CA-UXW7DVD-M/CA-UXW7DVD-S /CA-UXW8DVD-S)

総 合

最大外形寸法	幅 439mm × 高さ 258mm × 奥行365mm
質量	約 10.9kg

付属品 :➡**8** ページ参照

- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

ビクターサービス窓口案内 （ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東6条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16 函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11-2
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟１Ｆ
	土浦S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル１Ｆ
	沼津S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.C.	(0742)35-0935	630-8115	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株) 松江S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売(株) 鳥取S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	781-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルサポートセンターです。

1203

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

用語集

英字・数字

B.S.P.
ＤＶＤオーディオの静止画像には、オーディオ再生に合わせて自動的に表示されるもののほかに、ユーザーが任意選択できる画像が収録されている場合があります。このような画像をB.S.P. (Browsable Still Picture)と呼びます。

DTS (Digital Theater System)
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ最大5.1chです。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

D端子
映像信号（Y、C_B、C_R）と、映像信号のフォーマットを識別する制御信号を一つのコネクタで接続できる端子です。
映像フォーマットの対応度に応じていくつかの規格があり、本機はD2 端子を備えており、D1〜D4 端子付きのデジタルテレビに接続することができます。

Dレンジコントロール
ドルビーデジタルで収録されたＤＶＤビデオの場合、大音量シーンでテレビの音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聞き取ることができる機能です。

JPEG（Joint Photographic coding Experts Group）
静止画情報圧縮フォーマットの一つで、インターネットやデジタルカメラなどに広く利用されています。

MLP（Meridian Lossless Packing）
DVDオーディオに採用されているマルチチャンネル音声圧縮方式の名称です。圧縮比率は約1/2の可逆データ圧縮方式で完全に元のデータに復元できる圧縮方式です。高音質での再生を可能にしています。

MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）
音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。このＭＰ３フォーマットで記録したCD-R/CD-RWディスクを、本取扱説明書では「MP3 ディスク」と呼んでいます。

MPEGオーディオ
サラウンド方式の一つで、音声データを圧縮し、最大7.1ch まで対応しています。

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ／ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式（PAL あるいはSECAM ）を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD （バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。PBC 対応ビデオCD に記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。また、高精細な静止画が収録されているビデオＣＤでは、動画の4 倍以上の解像度で静止画像を再生します。

S映像信号
映像信号形式の一つで、信号を明るさの要素（輝度: Ｙ ）と色（C）の要素に分けて伝送するため、鮮明で色のにじみが少ない映像が楽しめます。これに、テレビ側でフルモード（縦長の映像）を自動判別信号を加えたのがS1映像信号です。

VFP（ビデオファインプロセッサー）機能
映像の微妙なチューニング（調整）を可能にする当社独自の機能です。ソフトやお部屋の状態など、お好みに応じ映像の明るさやコントラスト、中間の明るさが選べるガンマ補正などの項目が調節できます。これまで難しかった映画フィルムの質感にも迫る、なめらかで階調が深い映像表現の追求も可能にしました。

あ

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの横：縦の比は4：3、ワイドテレビ、およびHDテレビの横：縦の比は16：9の比率をもっています。

インターレーススキャン方式（飛び越し走査）
従来の映像方式で、主にテレビで使われます。

か

グループ
ＤＶＤオーディオの構成単位。一般的にＤＶＤオーディオはいくつかの「グループ」で構成され、各グループ内には複数のトラックがあります。DVDビデオにおける「タイトル」、「チャプター」がそれぞれDVDオーディオにおける「グループ」、「トラック」に該当します。

コンポーネント
ビデオ信号方式の一つで、光の3 原色の信号（R/G/B）や、それを規準により効率よく変換された映像信号（色差信号: Ｙ/ C_B/C_R）をさします。各々別々の信号線で伝送するため、高画質で伝送することができます。

さ

サラウンド
視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し、臨場感あふれる立体音場を作りだすシステムをいいます。

サンプリング周波数
アナログ音声をデジタル信号に変換する場合、もとになるアナログ信号を、1秒間に何回という割合で細かく区切ります。この過程を「サンプリング」といい、サンプリングに使われる周波数をさします。

視聴制限
年齢の若い視聴者に対して好ましくない内容を含んだDVDビデオの場合、あらかじめソフトに視聴可能なレベルが設定されています。このレベルに応じてプレーヤー側のレベルを設定し、見せたくないシーンなどを再生できなくしたり、別のシーンに変えたりすることができるようにする機能のことをいいます。

スクリーンセーバー
長い時間、静止画を移しているとテレビ画面が焼き付きをおこし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。

た

タイトル
DVDビデオの構成単位で、カテゴリやジャンル別での大きなくくりを指します。一般にDVDビデオは、いくつかの「タイトル」に区切られています。

ダイナミックレンジ
音声レベルの1番大きい部分と1番小さいレベルの差をいいます。

ダウンミックス
サラウンド方式(3チャンネル以上)で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

チャプター
DVDビデオの各タイトル内を、個別のシーンなどの小さなくくり(チャプター)で区切った単位です。

トラック
CDやMP3ディスクの記録単位で、主に一つの楽曲をさします。

ドルビーサラウンド
サラウンド方式の一つ。フロント·サラウンド計4ch分の音声信号を、いったん2chで記録し、専用のデコーダーを通し再生時にはもとの4chに戻します。2ch記録のためステレオ機器につないでも違和感のない再生が可能な方式です。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つ。最大フロント3ch、サラウンド2ch、およびサブウーハー0.1ch の5.1chまで対応しています。

は

パケットライト方式
データをCD-R/RWに記録する方法の一つで、ディスクの空き容量に応じてトラックをさらに分割して記録します。本機では、この方式で記録されたCD-R/RWディスクは再生できません。

パンスキャン
映画などの横長の画像をアスペクト比4:3のテレビに映し出す方法の一つ。横長画面の左右両端が切りとられた状態で映ります。

ビットストリーム
ドルビーデジタルなどのように、圧縮されたデジタル音声信号のこと。一般的には各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータをさします。

プログレッシブスキャン方式(順次走査)
DVDビデオなどで使われている映像方式で、インターレーススキャン方式よりも、ちらつきのない高品位の映像をお楽しみいただけます。

ま

メニュー
DVD ビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

ら

リージョン番号(再生可能地域管理)
あらかじめ設定された地域(リージョン) についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。世界各国を6 つの地域に分け、これに番号(リージョン番号)をつけ識別します。ディスクに設定されたリージョン番号と、DVDプレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

リジューム再生
一度再生を中断したあと、中断した場所から再び再生を開始することをいいます。

リニアPCM 音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式。

レターボックス
映画などの横長の画像、アスペクト比 4:3 のテレビに欠けることなく映し出す方法。画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出します。画面が文字通りレターボックス(郵便受け)に似ていることから名付けられています。

索引

数字・英字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ラ

別売りのオプション品

• RCA ピンコード	: CN-180G (1 m)
• 光デジタルケーブル	: XN-110SA
• S ビデオコード	: VC-S110E
• コンポーネントビデオコード	: VX-DS110（D プラグ～ D プラグ）
	: VX-DS210 (Dプラグ～ピンプラグ×3)
• USB ケーブル	: VX-U110（1m）
• DVD レンズクリーナー	: CL-DVDLW
	: CL-DVDLA
• MD レンズクリーナー	: CL-MLA
• アンテナコネクター	: VZ-71A（75 Ω /300 Ω）
• FM フィーダーアンテナ	: CN-511A（300 Ω） （アンテナコネクター：VZ-71A と一緒に使います。）

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
110～111ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は ☎ (03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

1203TNMNATJEM